

# 土浦市民満足度調査 報告書

平成 25 年度

土浦市

# 目次

I.	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の方法	1
3	回収状況	1
4	留意点	1
II.	調査結果	2
1	回答者の属性	2
(1)	性別	2
(2)	年齢	2
(3)	居住地区	3
(4)	居住歴	3
(5)	職業	4
(6)	通勤・通学先	4
(7)	家族構成	5
(8)	住宅	5
2	土浦市の暮らしやすさ	6
(1)	土浦市の住み心地	6
(2)	土浦市の住み心地について感じていること	8
(3)	定住意向	19
(4)	土浦市への愛着心	21
3	施策の満足度・重要度	23
(1)	分野別の施策の現状評価について	25
(2)	施策の満足度・重要度（全体）	30
(3)	施策の満足度・重要度【前回調査との比較】	32
(4)	施策の満足度・重要度（地区別）	34
(5)	施策の満足度・重要度（年齢別）	50

Ⅲ. 土浦市と新治村の合併について	74
(1) 合併についての印象	74
(2) 合併してよかったと思うこと	75
(3) 合併してよくなかったと思うこと	77
(4) 合併による市民サービスの変化	78
(5) 合併による市政への関心の変化	80
(6) 合併の必要性	81
Ⅳ. 市役所窓口の利用について	83
(1) 普段利用している窓口	83
(2) 窓口の利用回数	84
(3) 窓口を利用する際の用件	85
Ⅴ. 土浦市のイメージアップについて	87
(1) 土浦市のイメージキャラクターについて	87
(2) 土浦市の資源	89
(3) 土浦市の強み	91
(4) 土浦市のイメージ	93
Ⅵ. 今後のまちづくり	94
(1) 土浦市にあったらいいと思う施設、充実してほしい施設	94
(2) 土浦市に住んでいてよかったと思ったエピソード	95
(3) 土浦市の市民サービスについて	96
(4) まちづくりに対する意見	97

# I. 調査概要

## 1 調査の目的

「土浦市民満足度調査」は「土浦市総合計画」に基づく各種施策について、市民の意向を把握するために2年に1度を基本的なスパンとして実施しています。また、調査結果は総合計画の策定の基礎資料に活用しています。

今回の調査では、各種施策の満足度・重要度とともに、①土浦市と新治村の合併、②市役所窓口の利用状況、③土浦市のイメージアップ、④今後のまちづくり、の4点について市民の意見を把握し、今後の市政運営に活用します。

## 2 調査の内容

調査項目	住み心地、施策の満足度・重要度、合併について、市役所の窓口について、イメージアップについて、まちづくりについて
調査期間	平成25年8月30日（金）～平成25年9月30日（月）
調査対象者	市内在住の満20歳以上の男女
調査対象数	3,000人
抽出方法	住民基本台帳に基づき無作為に抽出
調査方法	郵送による配布及び回収

## 3 回収状況

実配布数	有効回収数	有効回収数	前回調査（H23） 回収率
2,987	1,369	45.8%	42.5%

## 4 留意点

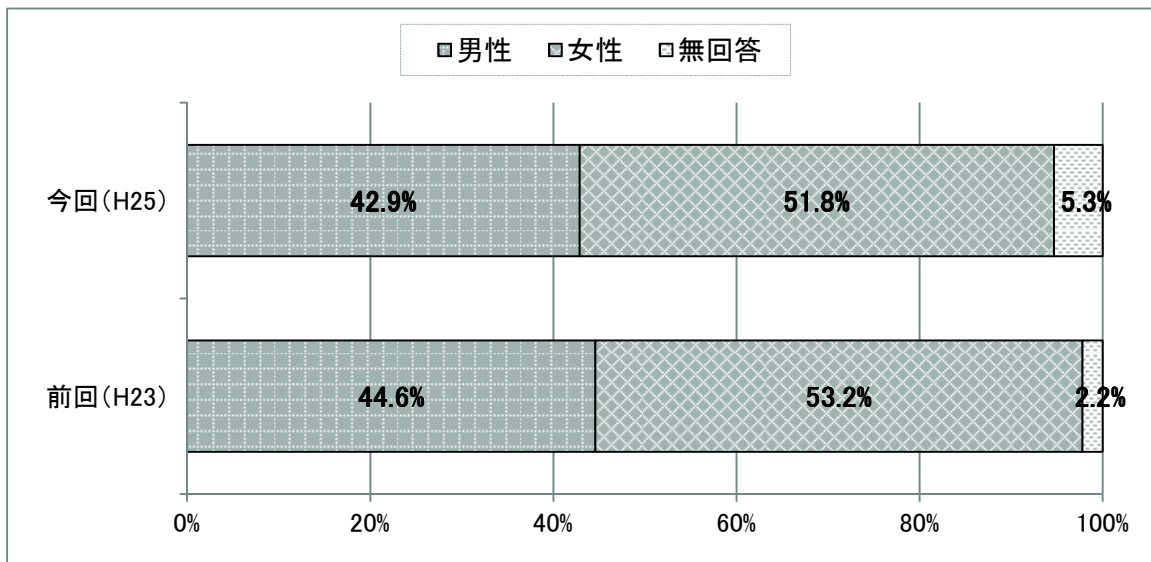
- ・図中の「N」は各設問の回答者数を示します。
- ・調査結果の比率は、百分率（%）の小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、比率の合計が100%にならない場合があります。

## Ⅱ. 調査結果

### 1 回答者の属性

#### (1) 性別

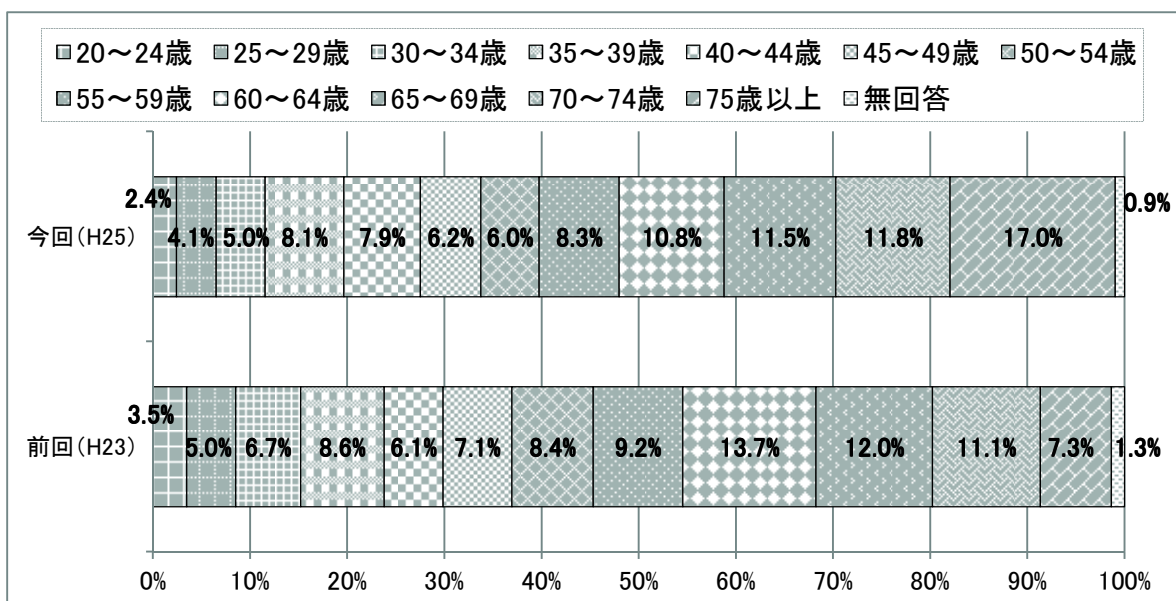
**F1 あなたの性別は、どちらですか。** (H25:N=1,369、H23:N=1,269)



前回と同様、女性の回答者率が高い。また、無回答の比率が増加している。

#### (2) 年齢

**F2 あなたの年齢は、おいくつですか。** (H25:N=1,369、H23:N=1,269)

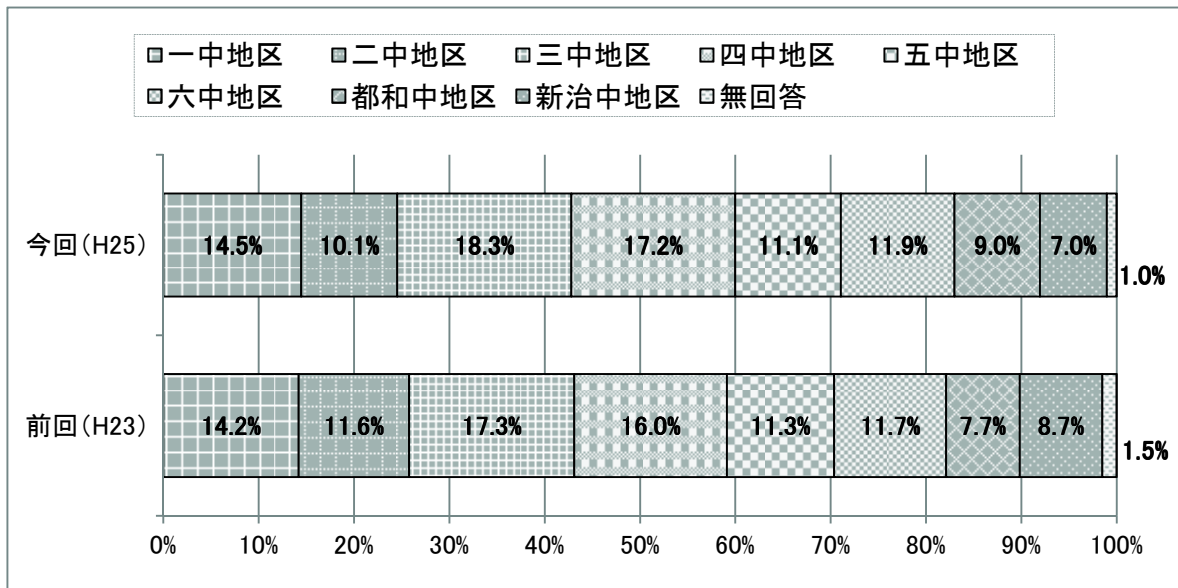


年齢は75歳以上が最も多い。

一方、20～24歳、25～29歳、30～34歳の比率は低下している。

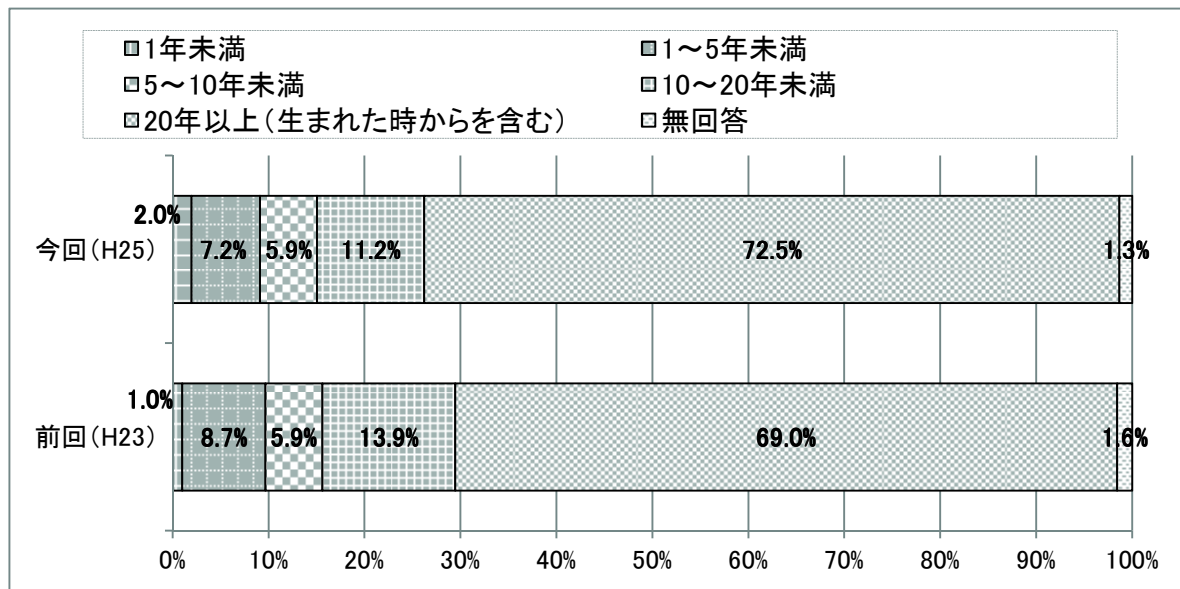
(3) 居住地区

F3 あなたのお住まいの地区(中学校区)は。(H25:N=1,369、H23:N=1,269)



(4) 居住歴

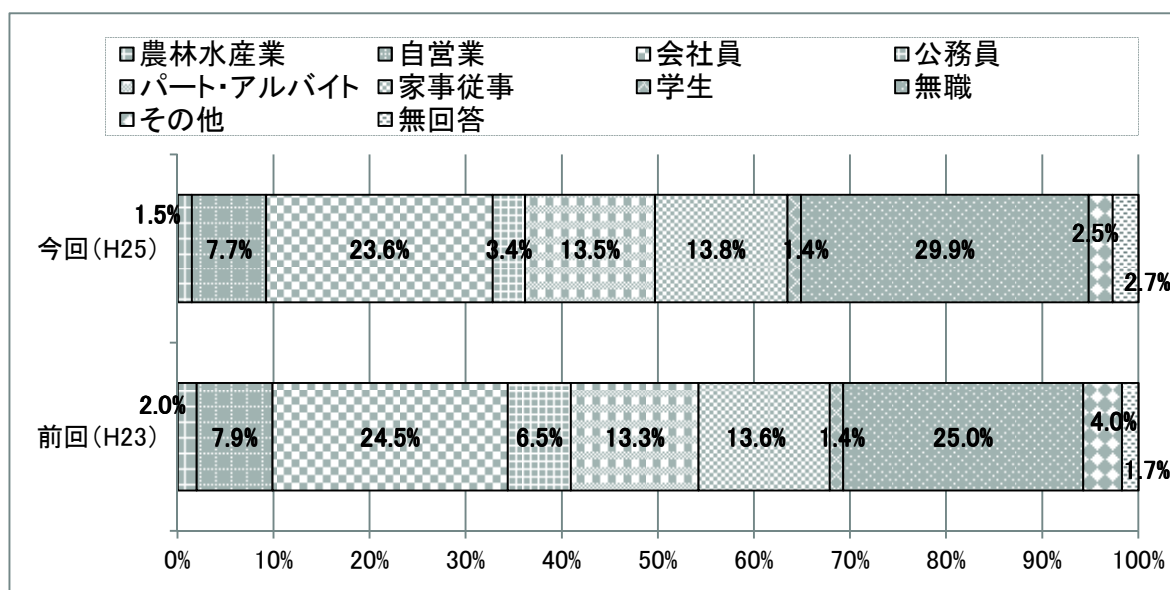
F4 土浦市(旧新治村含む)にお住まいの期間は。(H25:N=1,369、H23:N=1,269)



「20年以上(生まれた時からを含む)」が72.5%と最も多く、前回の69.0%より3.5%ポイント高くなっている。

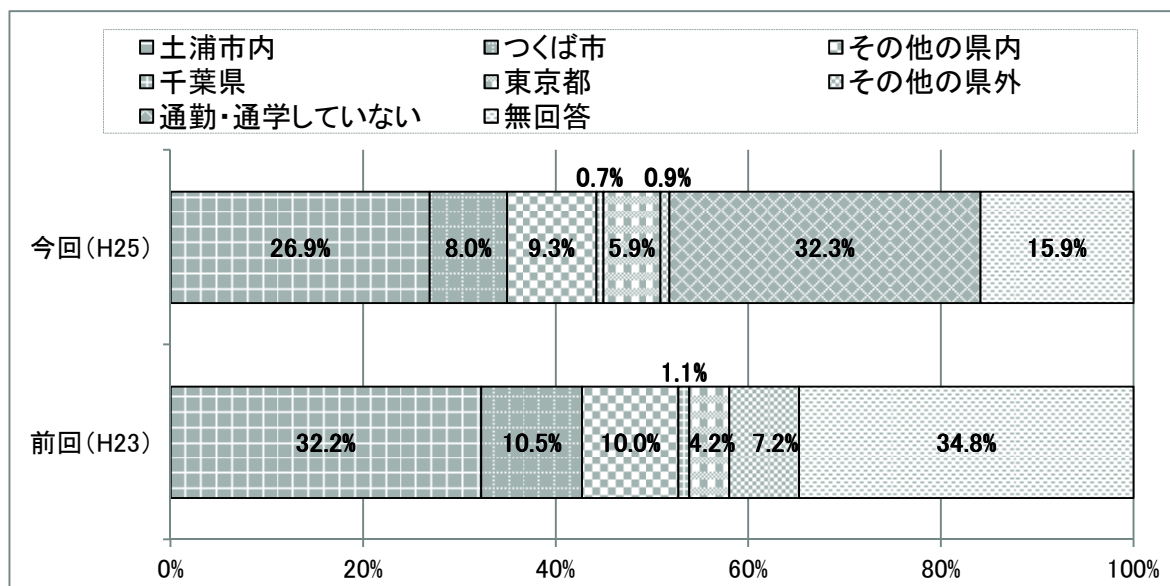
(5) 職業

F5 あなたの職業(兼業の方は主たる方)は。(H25:N=1,369、H23:N=1,269)



(6) 通勤・通学先

F6 あなたの勤務先、通学先は。(H25:N=1,369、H23:N=1,269)

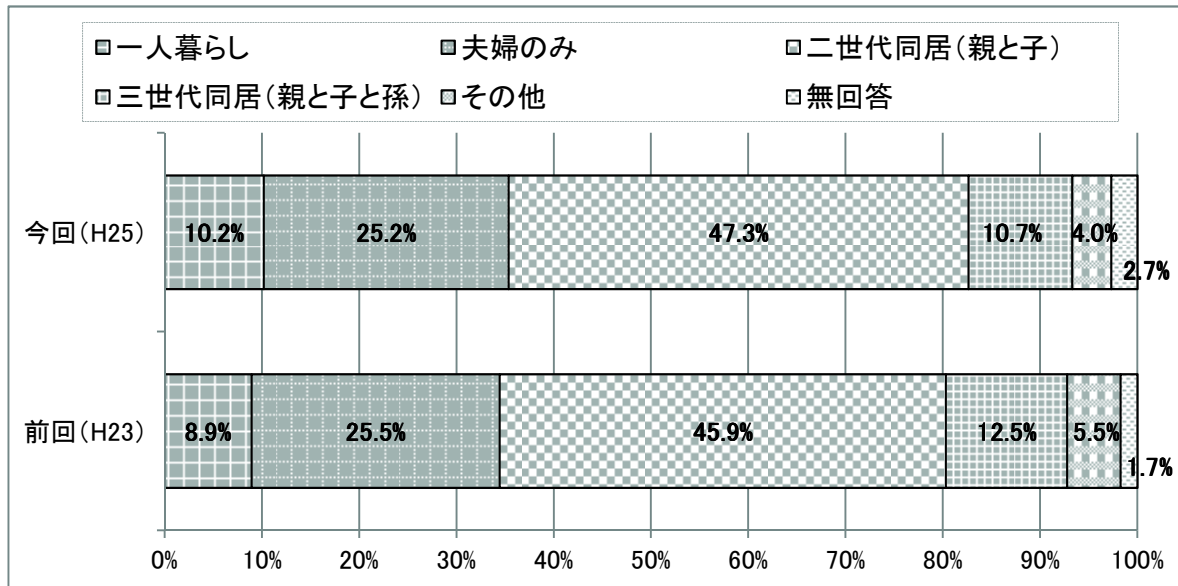


今回、新たに「通勤・通学していない」という選択肢を加えたが、結果として「通勤・通学していない」が最も多くなった。

また、前回と比較して、東京都へ通勤・通学している人は増加しているが、他の通勤・通学先の割合は全て減少している。

(7) 家族構成

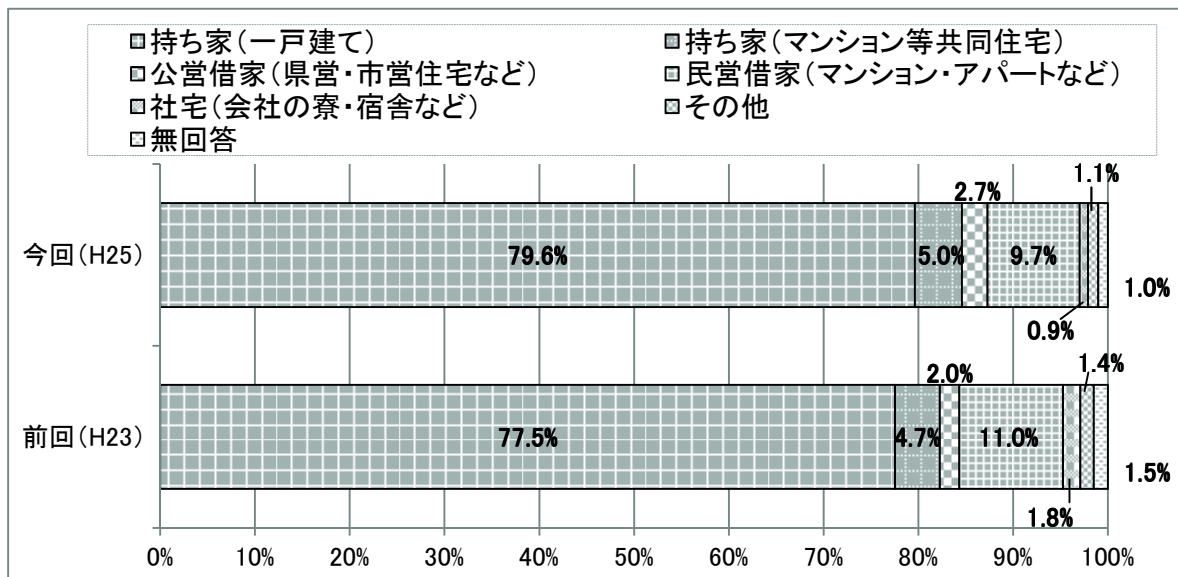
F7 あなたの家族構成は。(H25:N=1,369、H23:N=1,269)



家族構成は、「二世世代同居」が47.3%と約半数を占める。三世世代同居が減少し、一人暮らしが増加している。

(8) 住宅

F8 あなたの家は。(H25:N=1,369、H23:N=1,269)



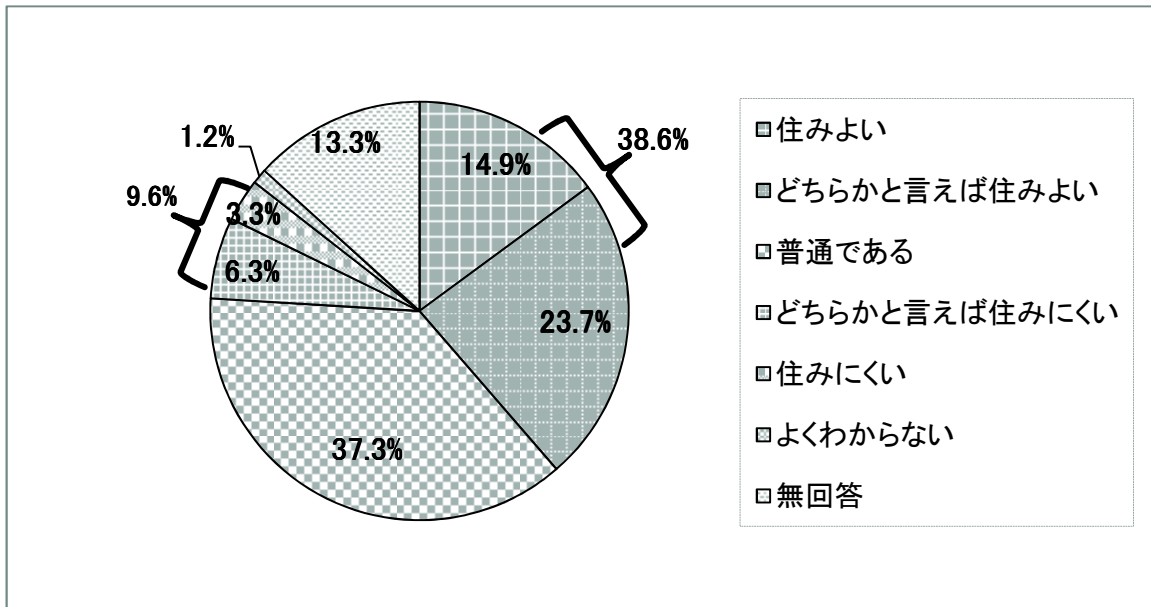
持ち家が79.6%を占めている。



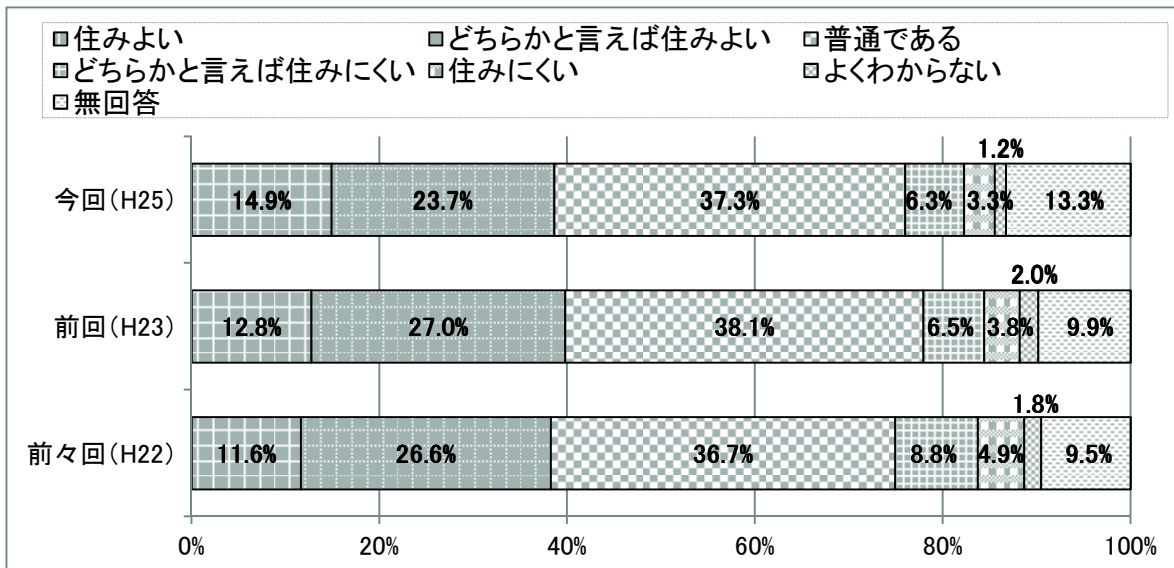
## 2 土浦市の暮らしやすさ

### (1) 土浦市の住み心地

#### 問 1 土浦市の住み心地についてどのように感じていますか。(N=1,369)



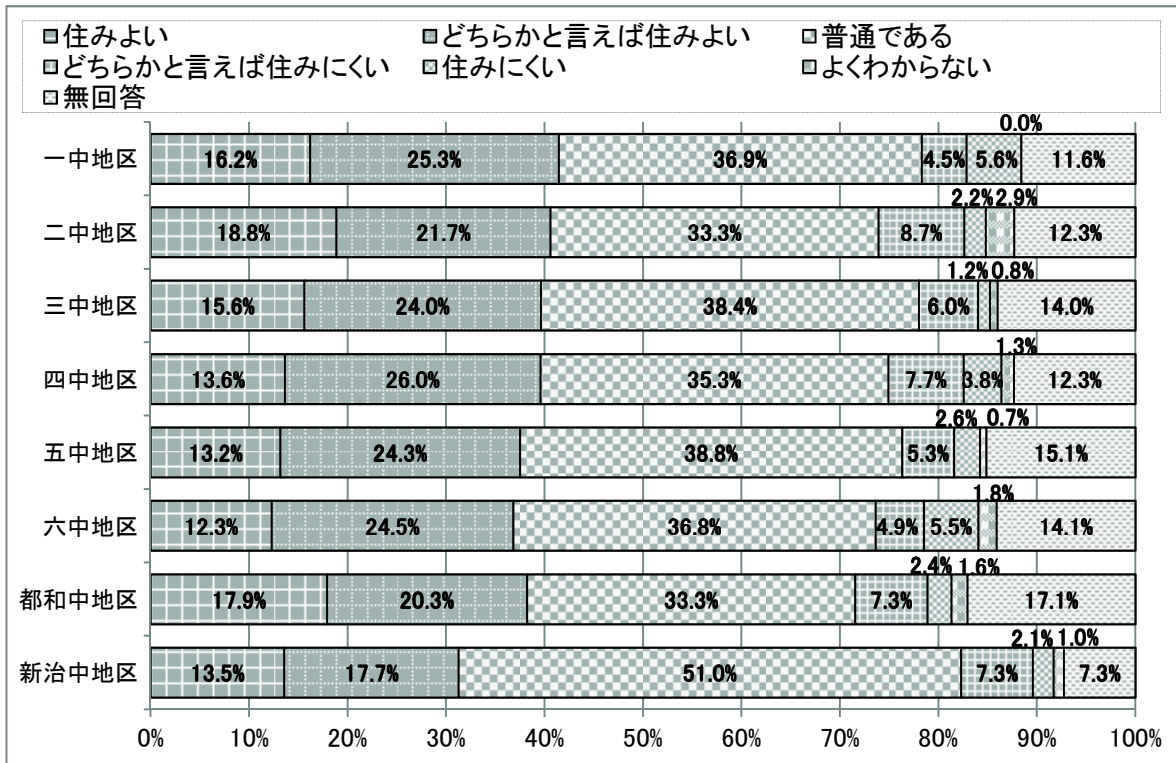
(H25 : N=1,369, H23 : N=1,269, H22 : N=1,375)



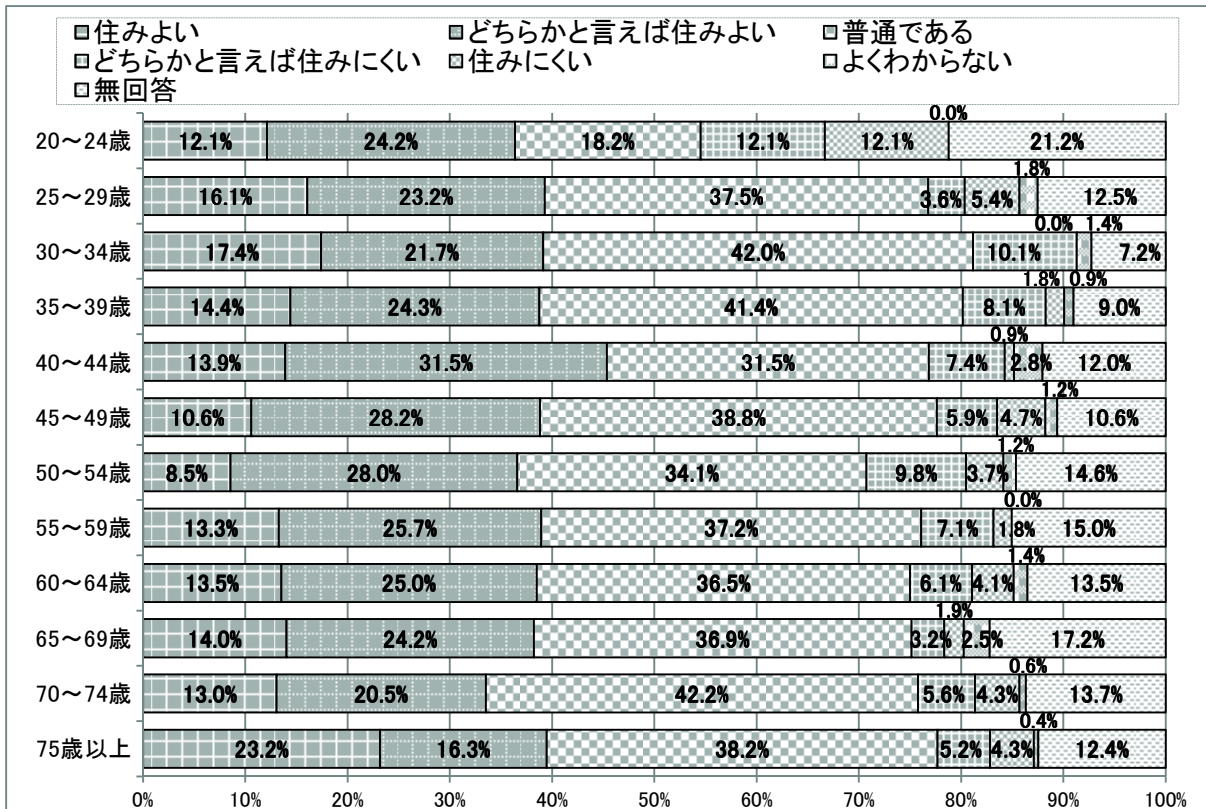
土浦市の住み心地については、「住みよい」が14.9%、「どちらかといえば住みよい」が23.7%で、合わせて「住みよい」が38.6%となっており、前回の39.8%と比較して、1.2ポイント減少した。

一方、「住みにくい」が3.3%、「どちらかといえば住みにくい」が6.3%で、合わせて「住みにくい」が9.6%となっており、前回の10.3%と比較して、0.7ポイント減少した。

①地区別 (N=1,355)

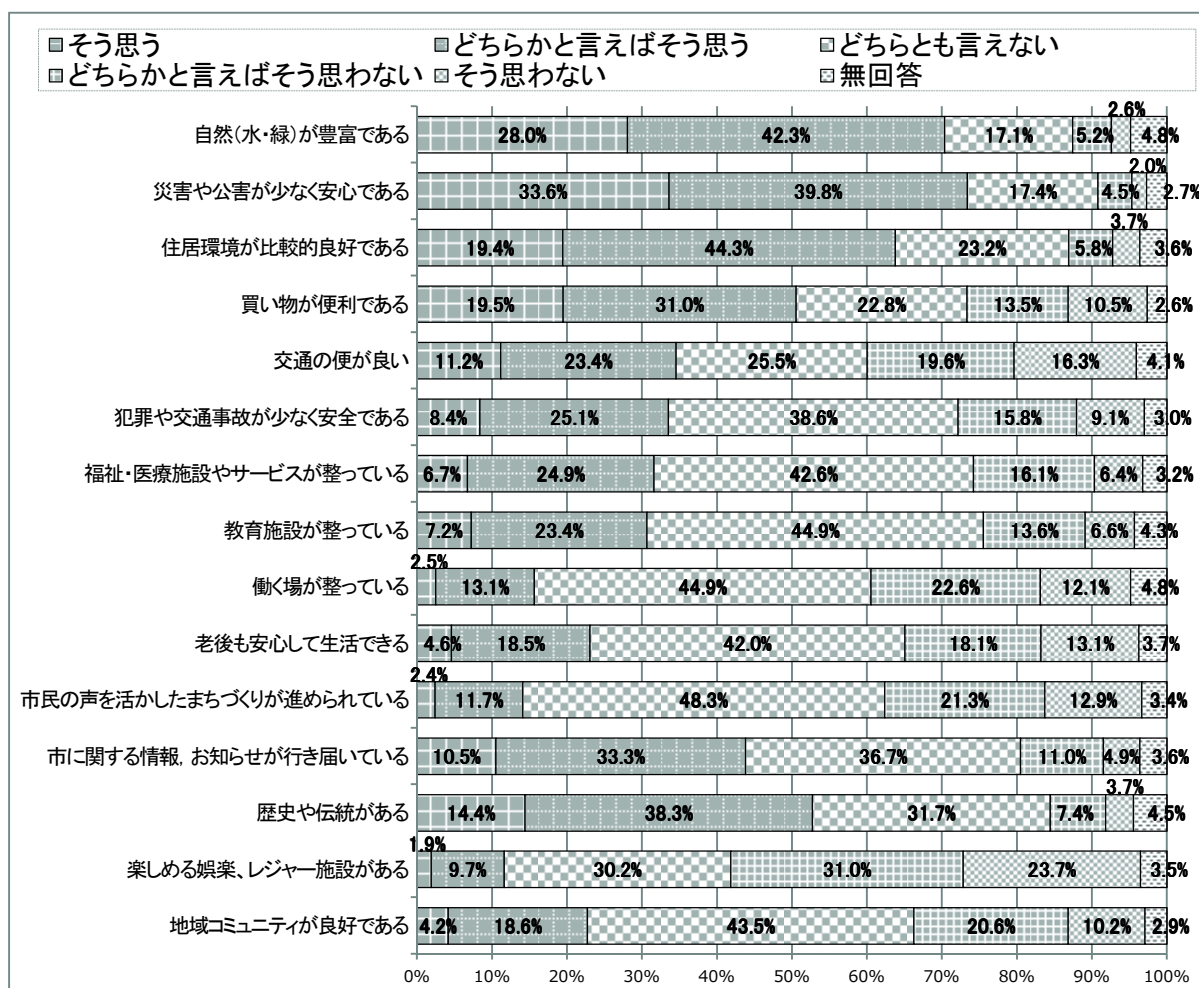


① 年齢別 (N=1,356)



(2) 土浦市の住み心地について感じていること

問 2 あなたは、土浦市の住み心地について、次の項目については日頃どのよう  
に感じていますか。(N=1,369)

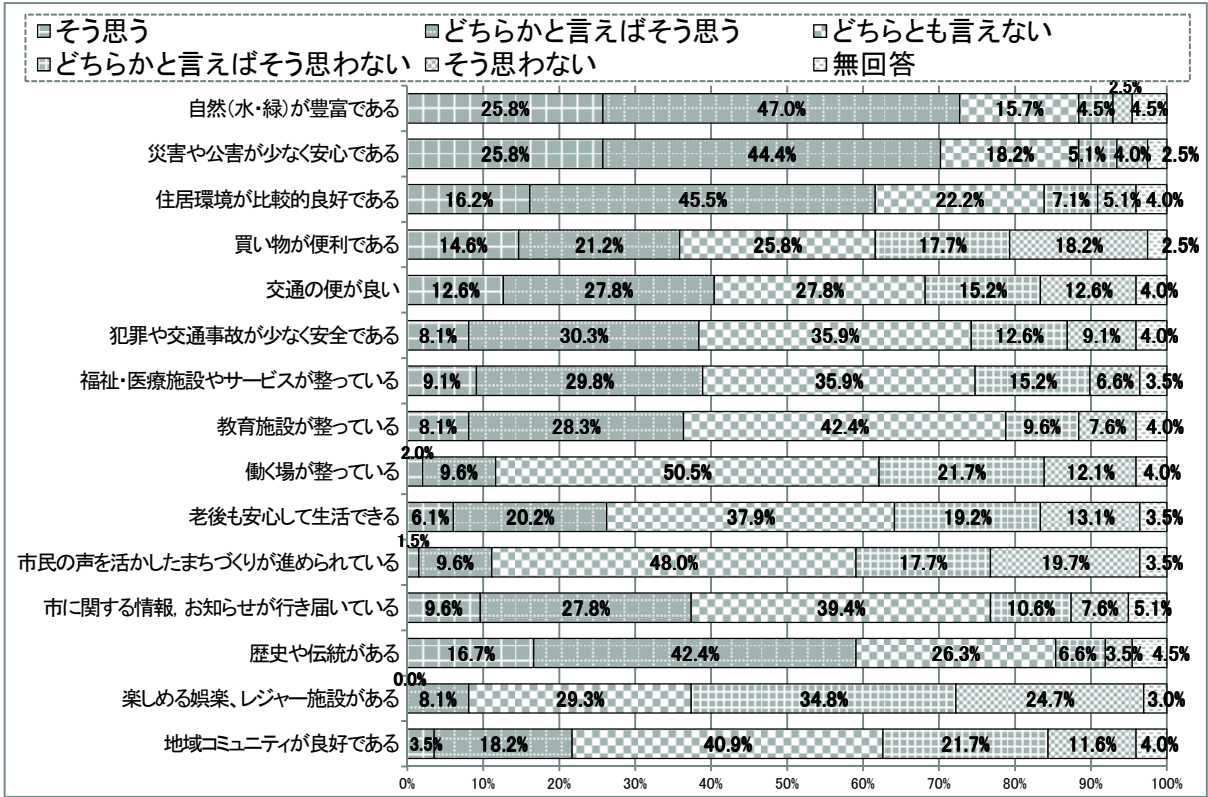


土浦市の住み心地について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が最も多かった項目は、「災害や公害が少なく安心である」(73.4%)であり、次いで「自然(水・緑)が豊富である」(70.3%)となっている。他には、「住居環境が比較的良好である」(63.7%)、「歴史や伝統がある」(52.7%)、「買い物が便利である」(50.5%)が5割を超えている。

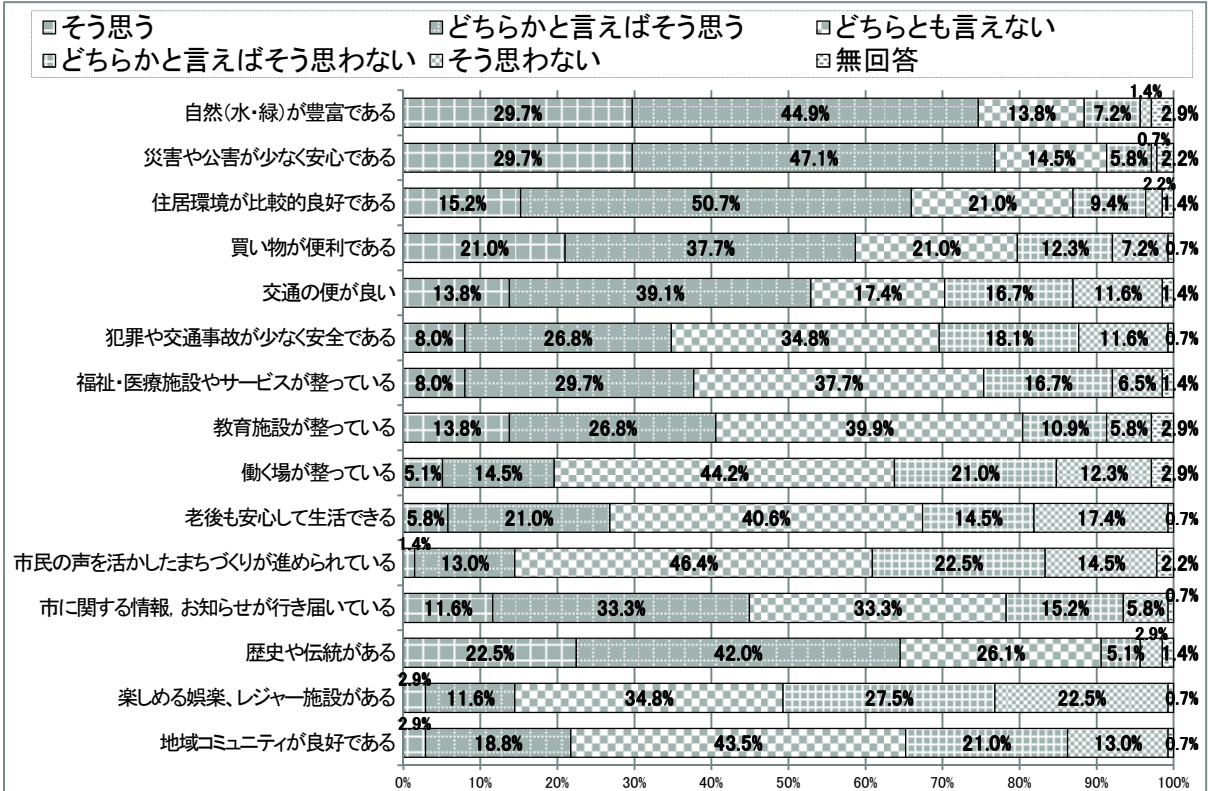
一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が最も多かった項目は、「楽しめる施設、レジャー施設がある」(54.7%)となっている。

① 地区別

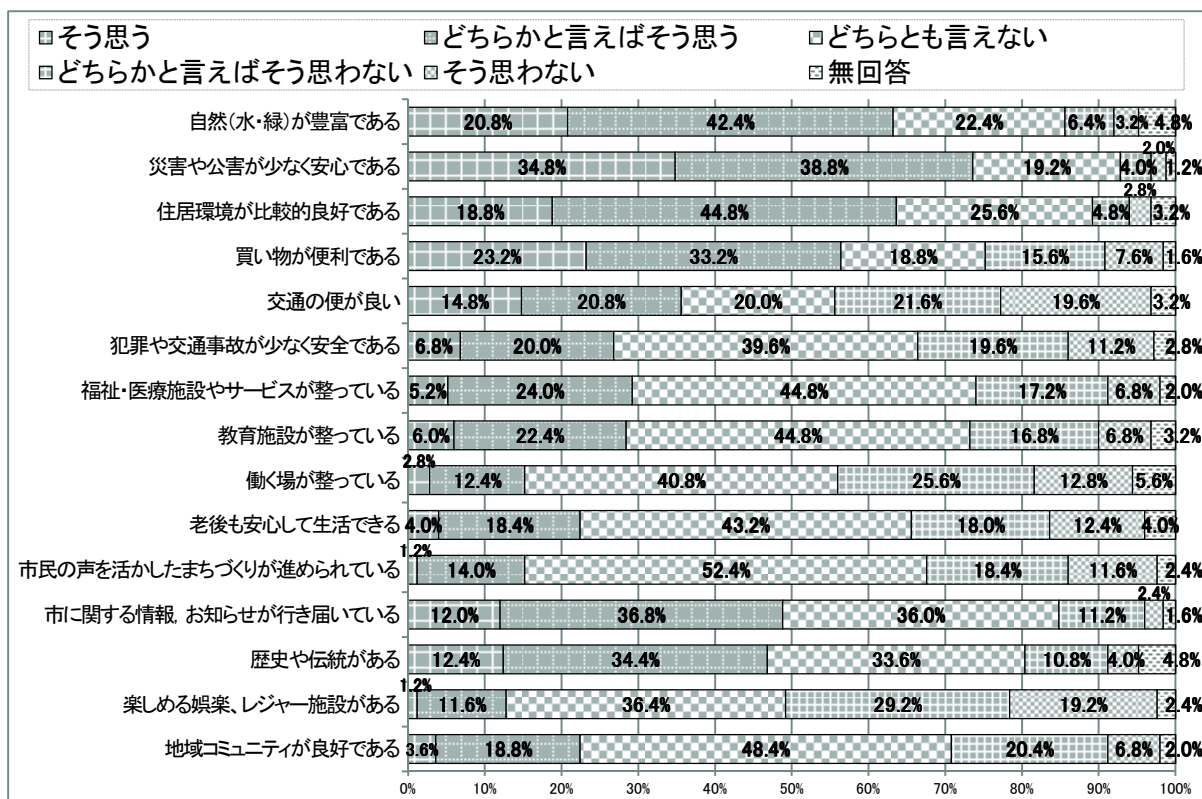
【一中地区 (N=198)】



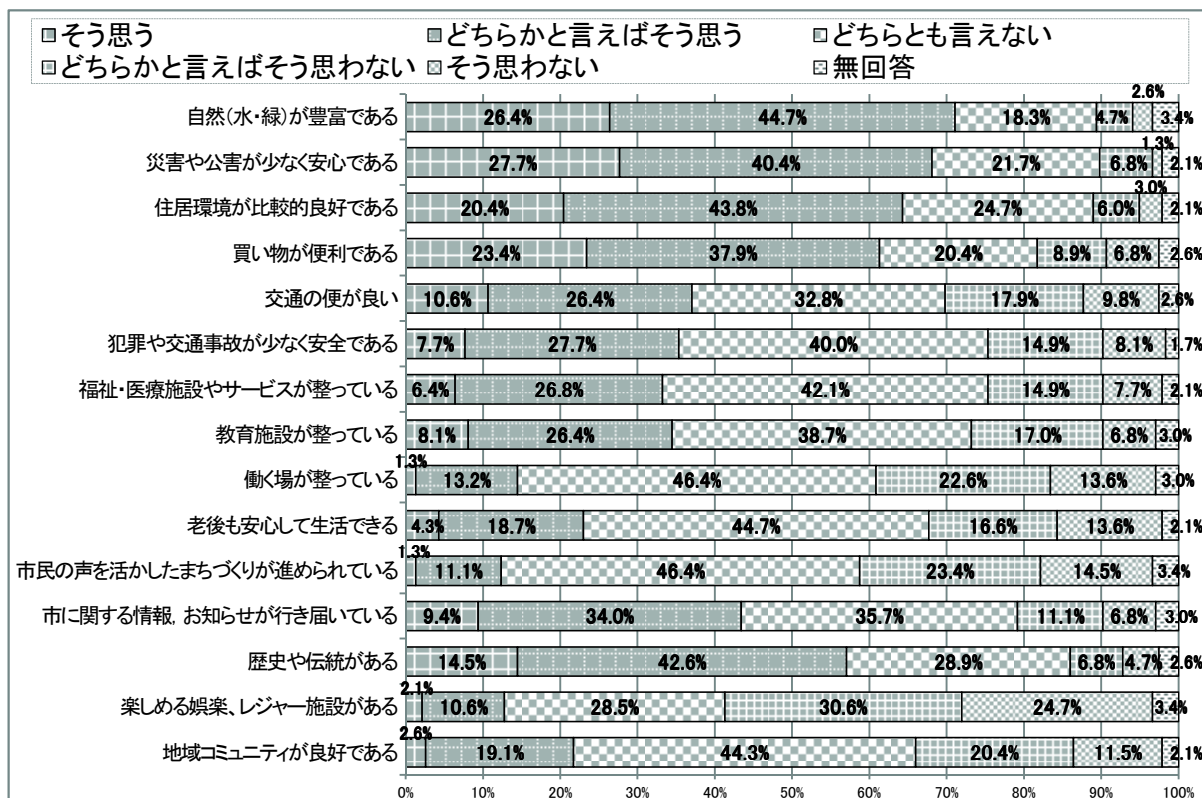
【二中地区 (N=138)】



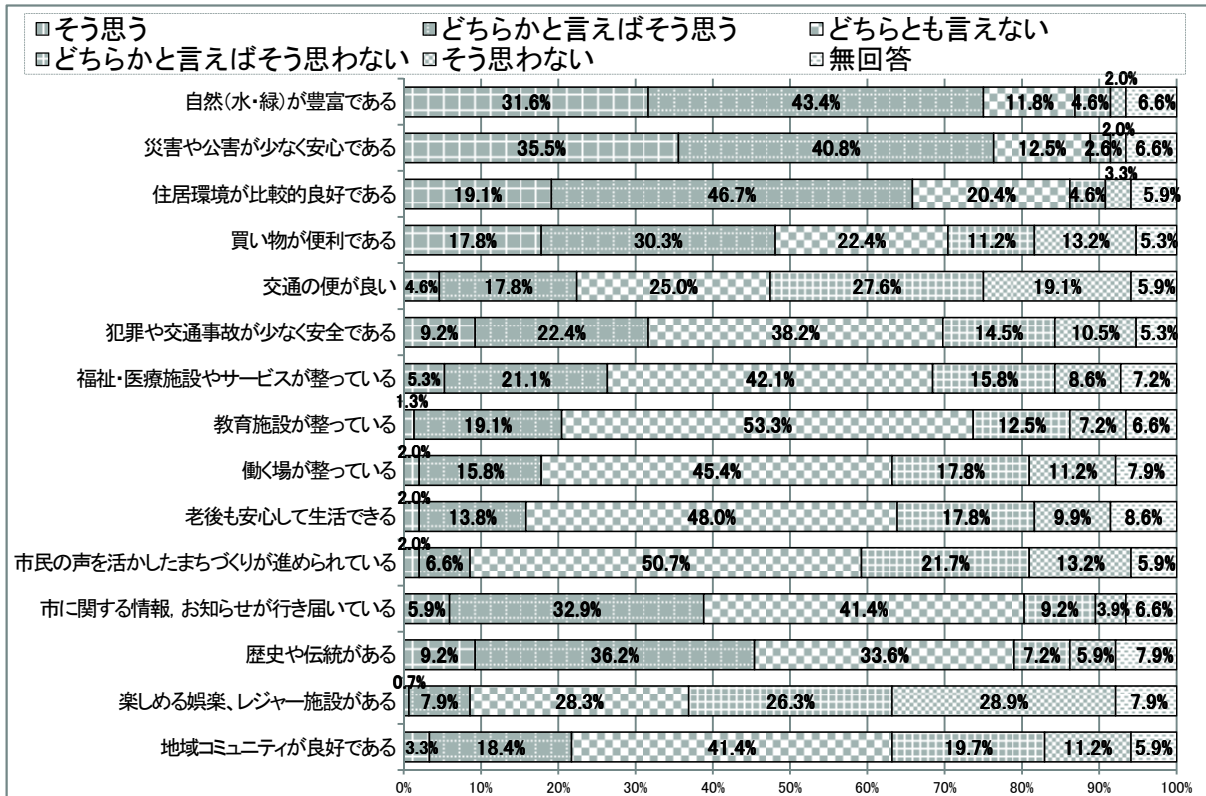
【三中地区 (N=250)】



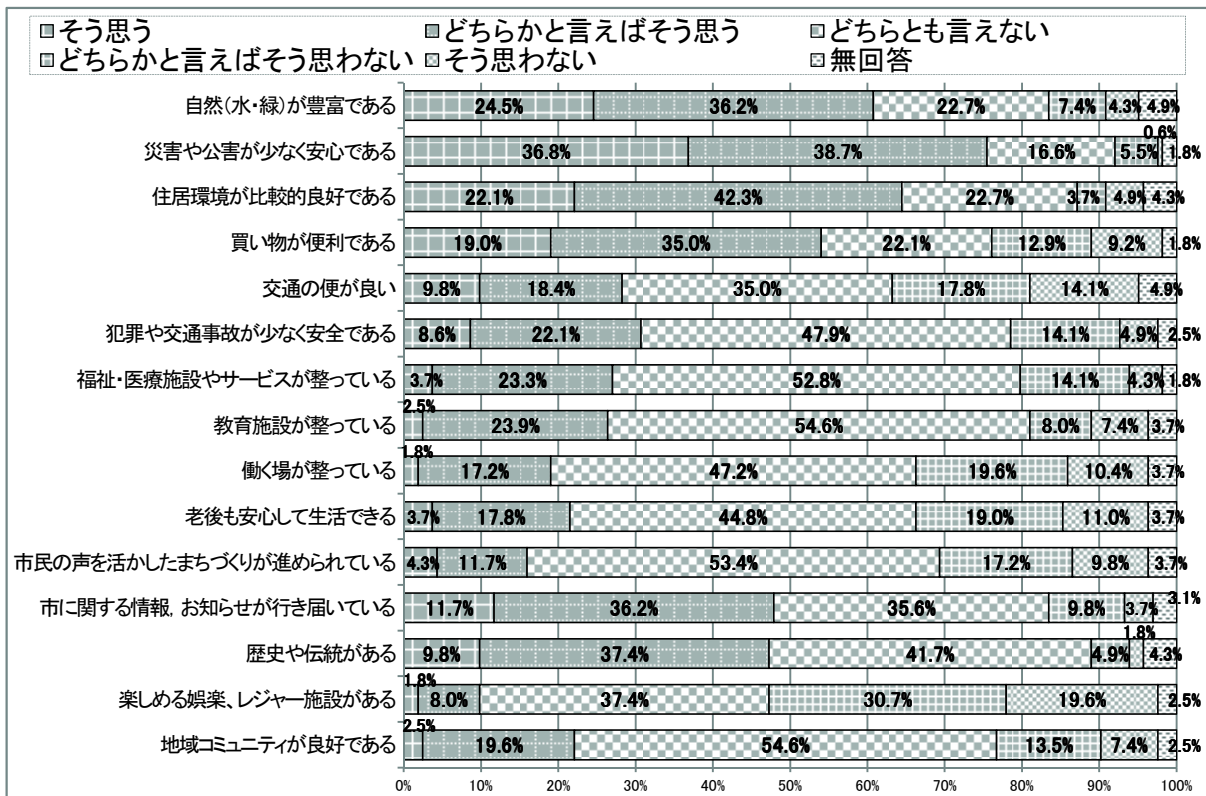
【四中地区 (N=235)】



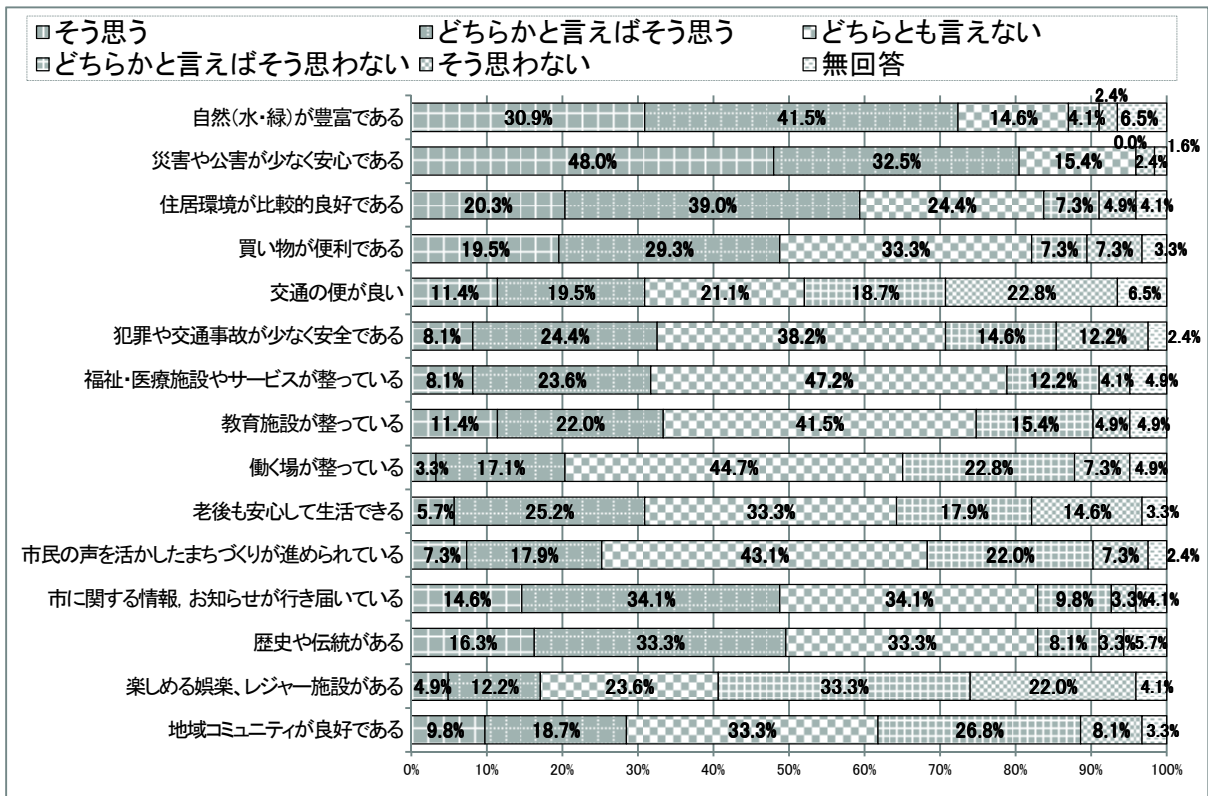
【五中地区 (N=152)】



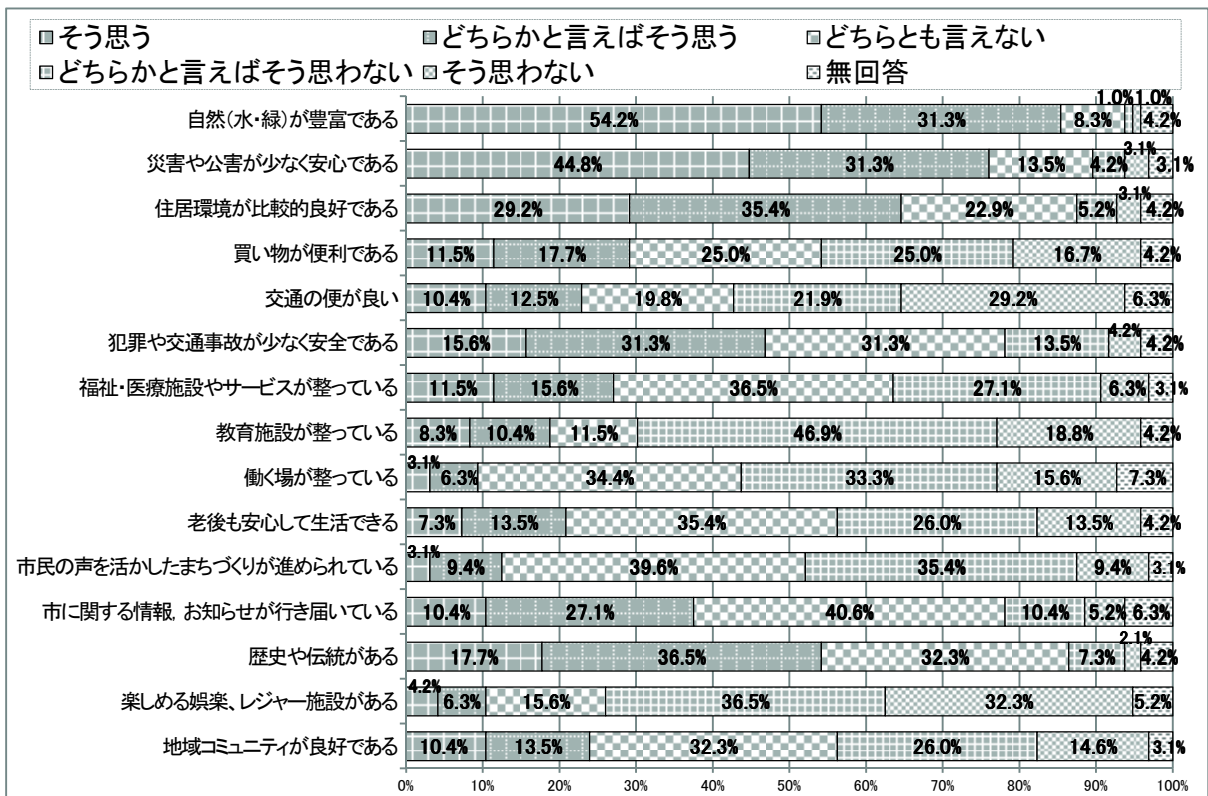
【六中地区 (N=163)】



【都和中地区 (N=123)】

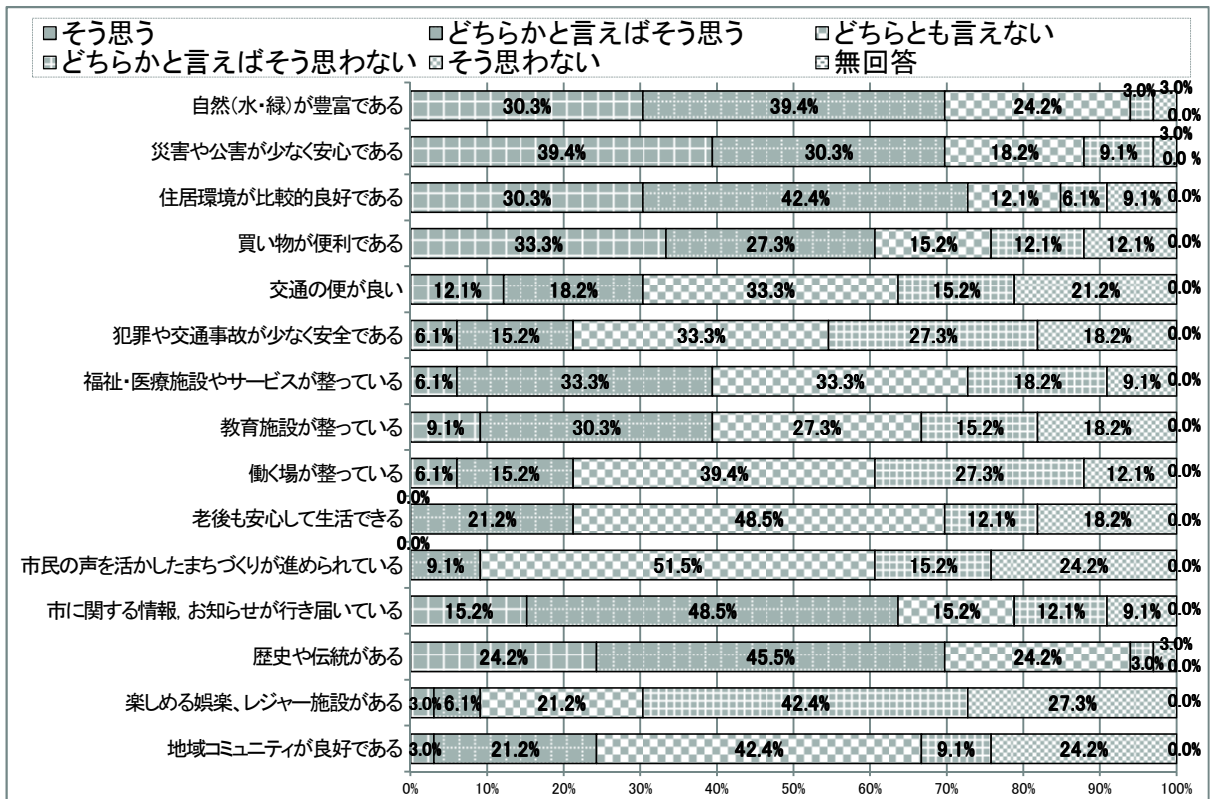


【新治中地区 (N=96)】

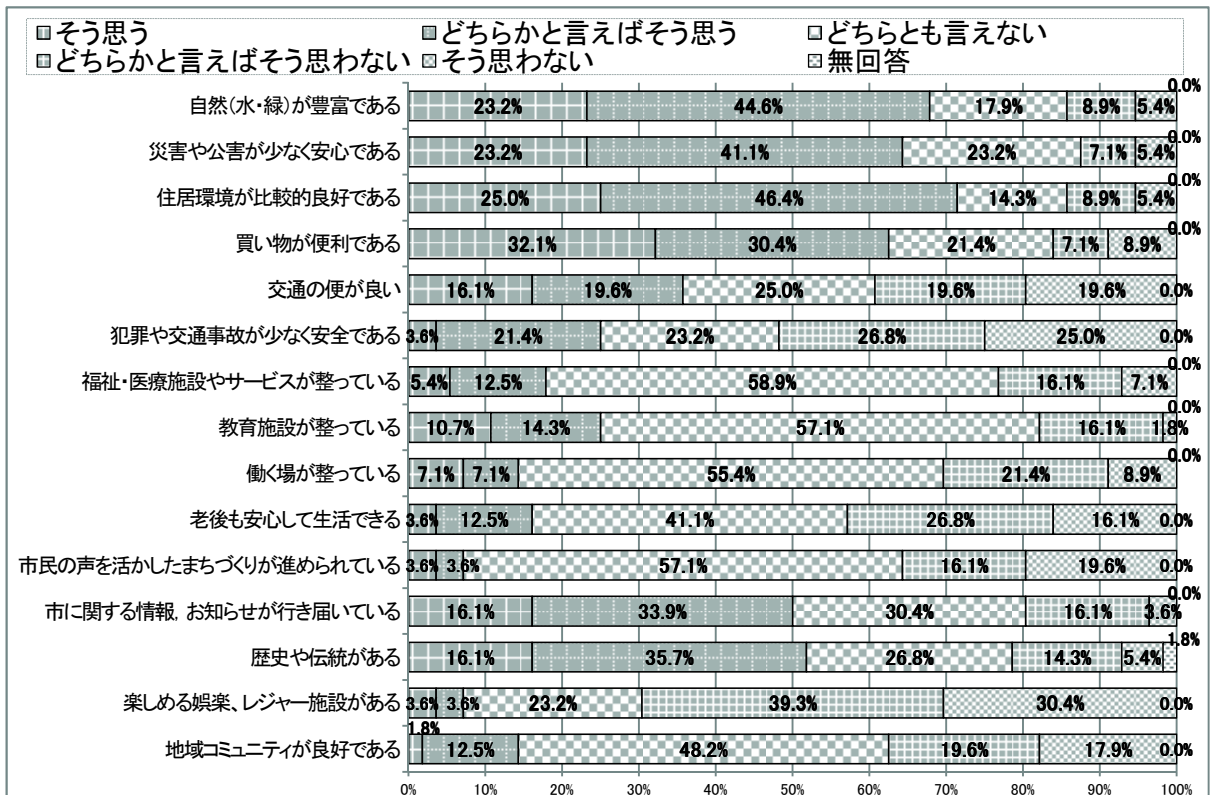


② 年齢別

【20～24 歳 (N=33)】

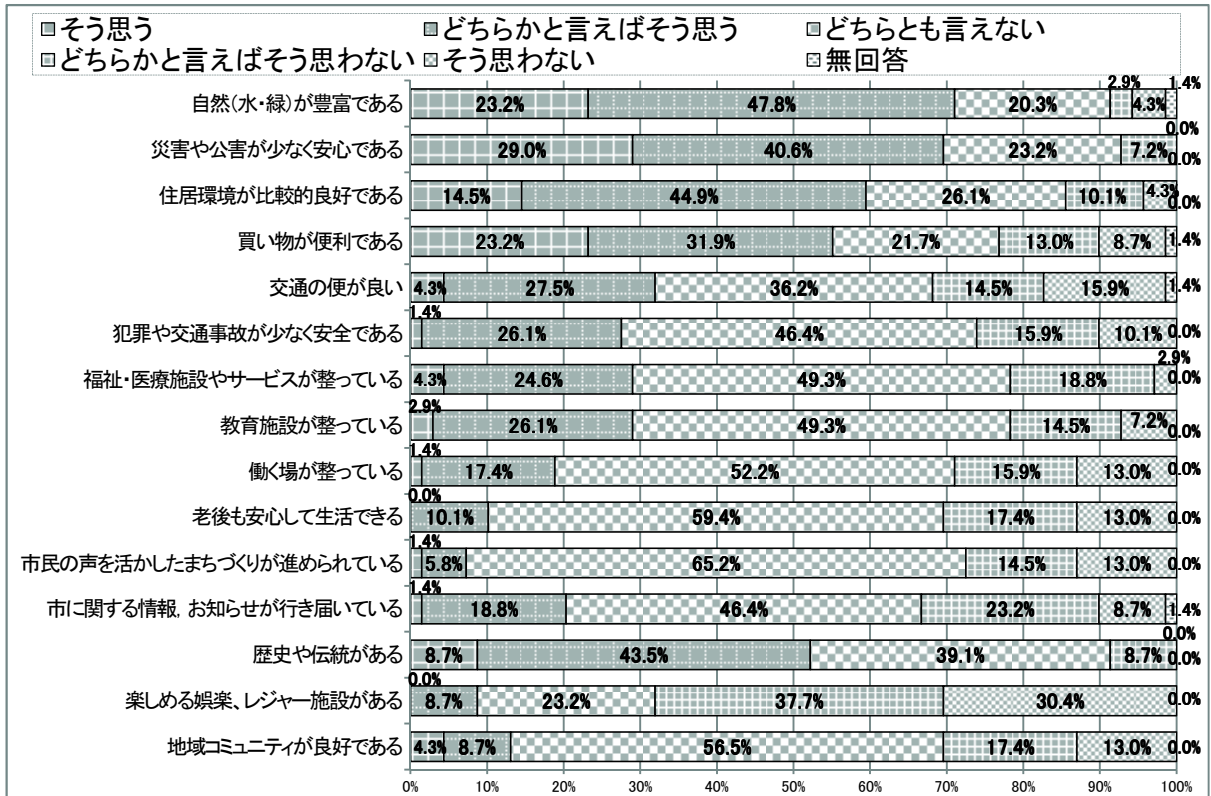


【25～29 歳 (N=56)】

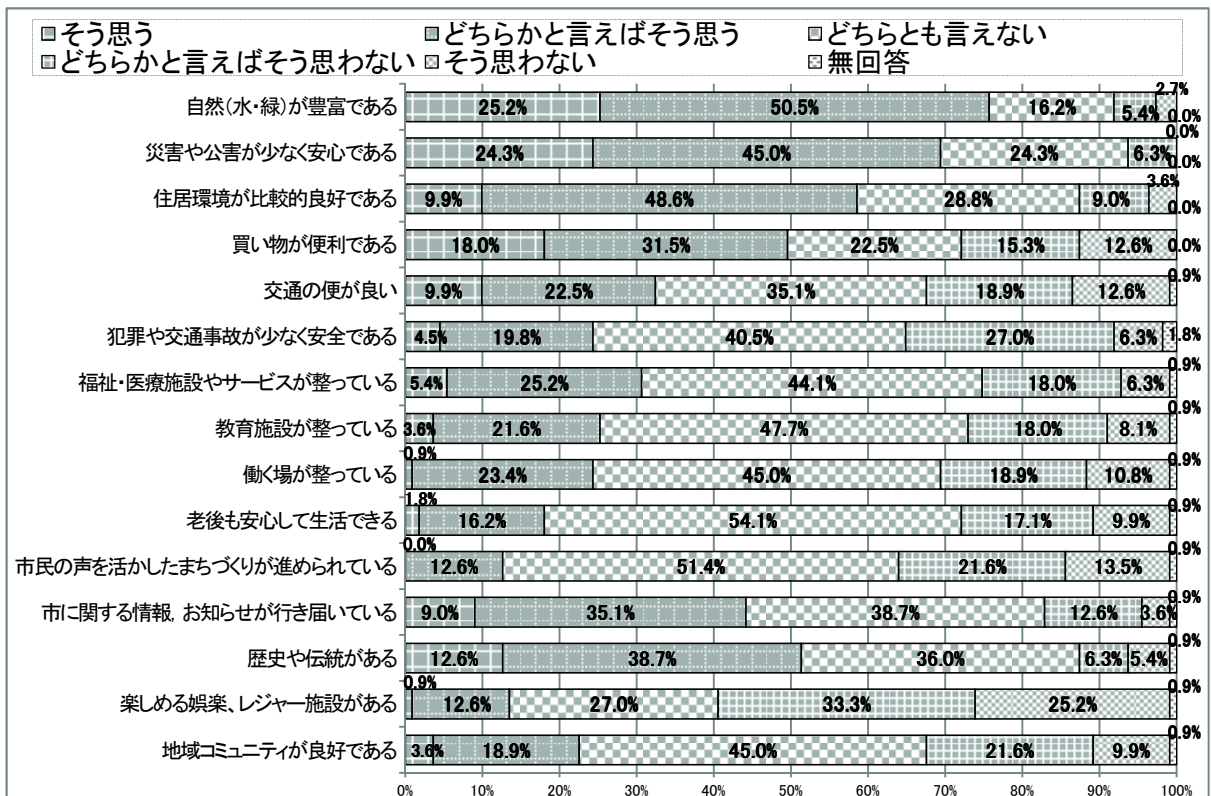




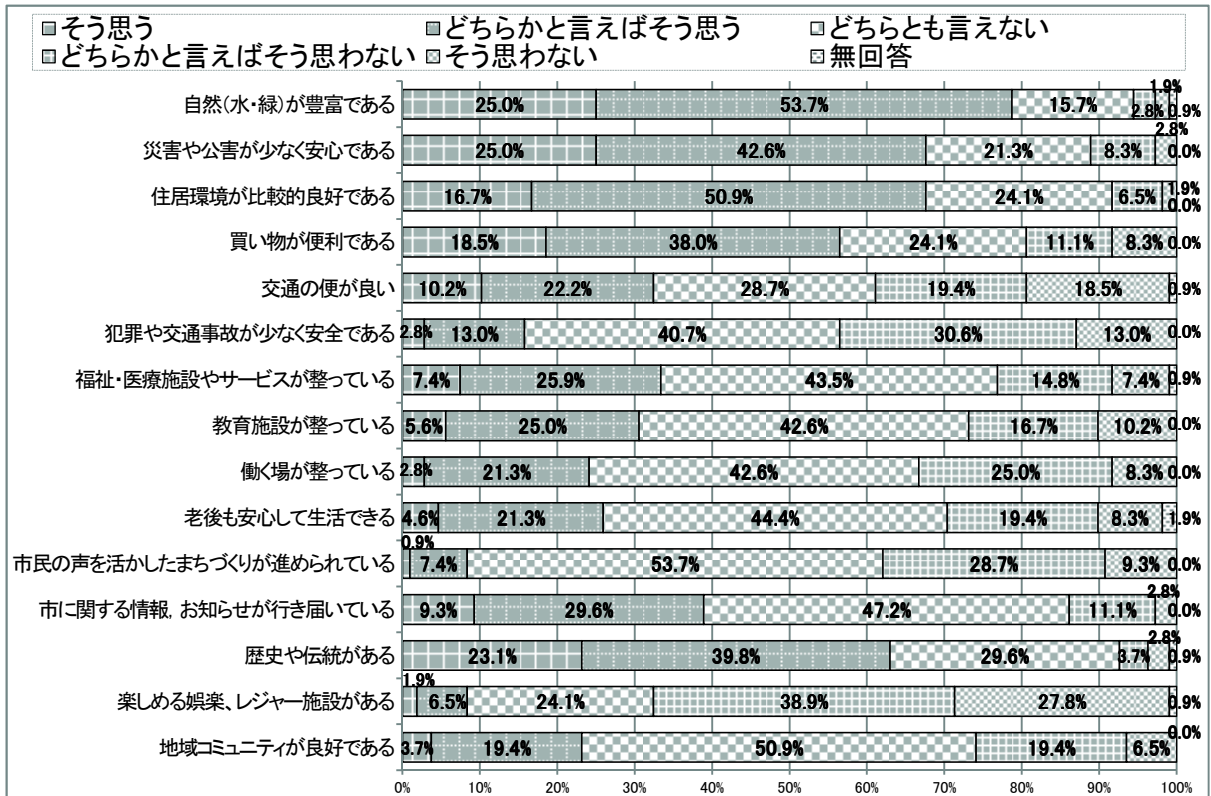
【30～34 歳 (N=69)】



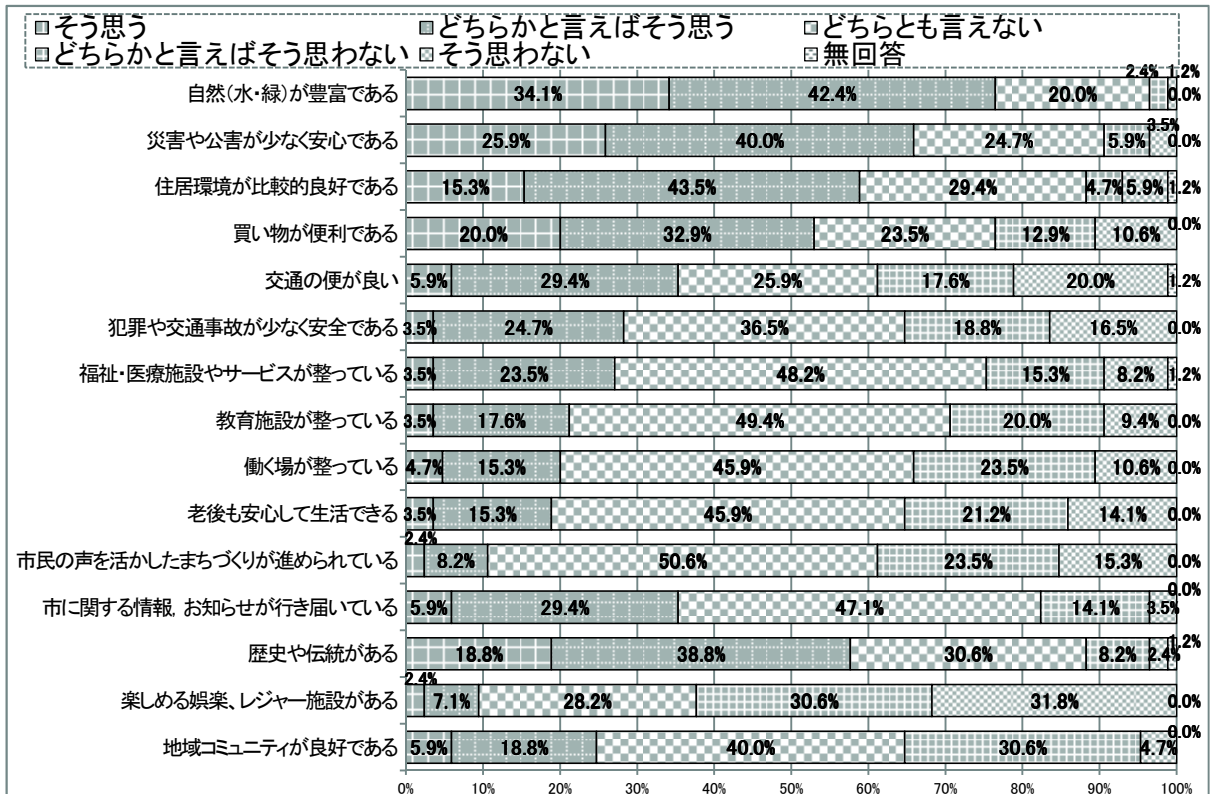
【35～39 歳 (N=111)】



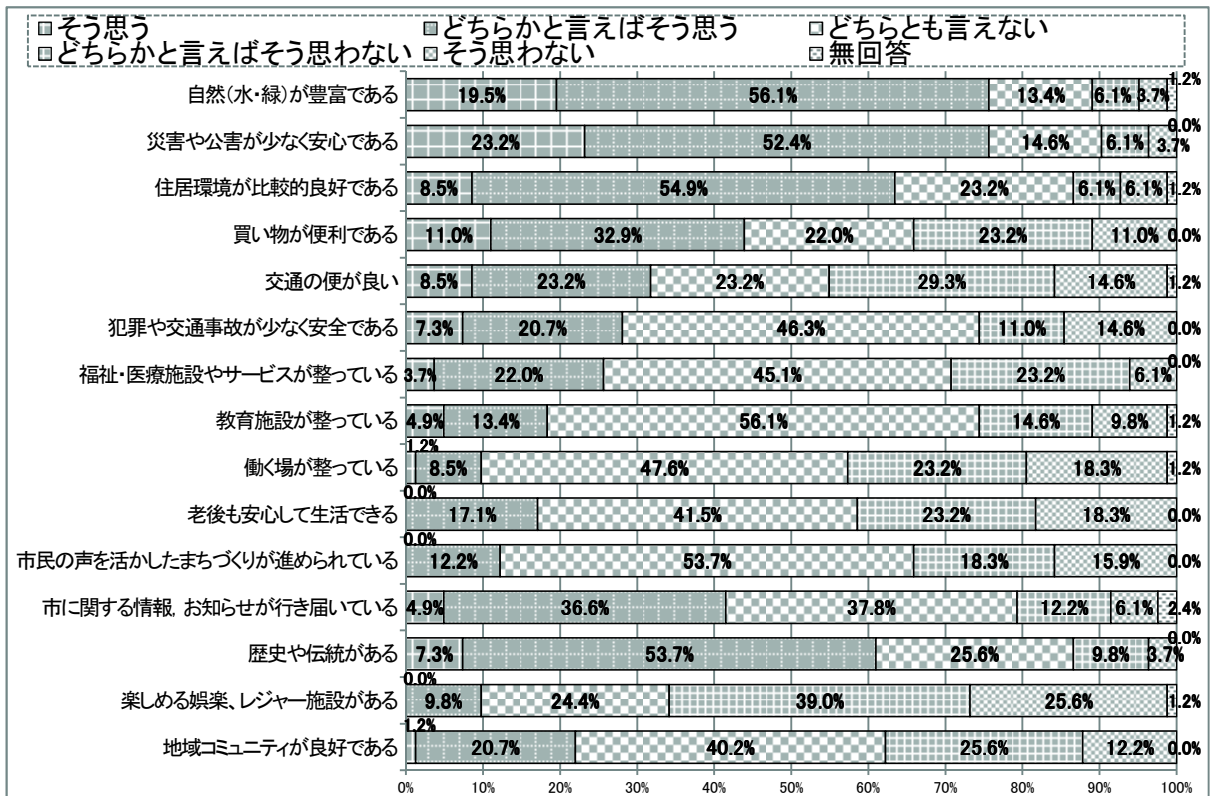
【40～44 歳 (N = 108)】



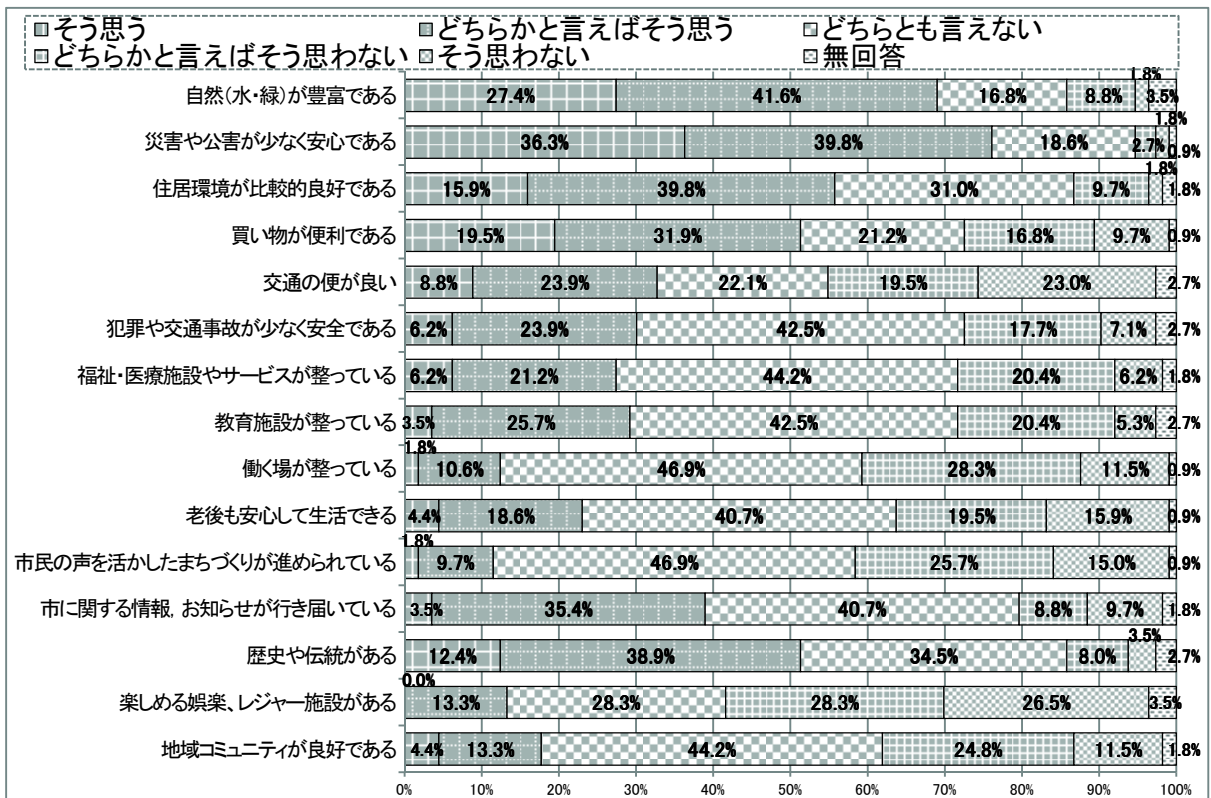
【45～49 歳 (N = 85)】



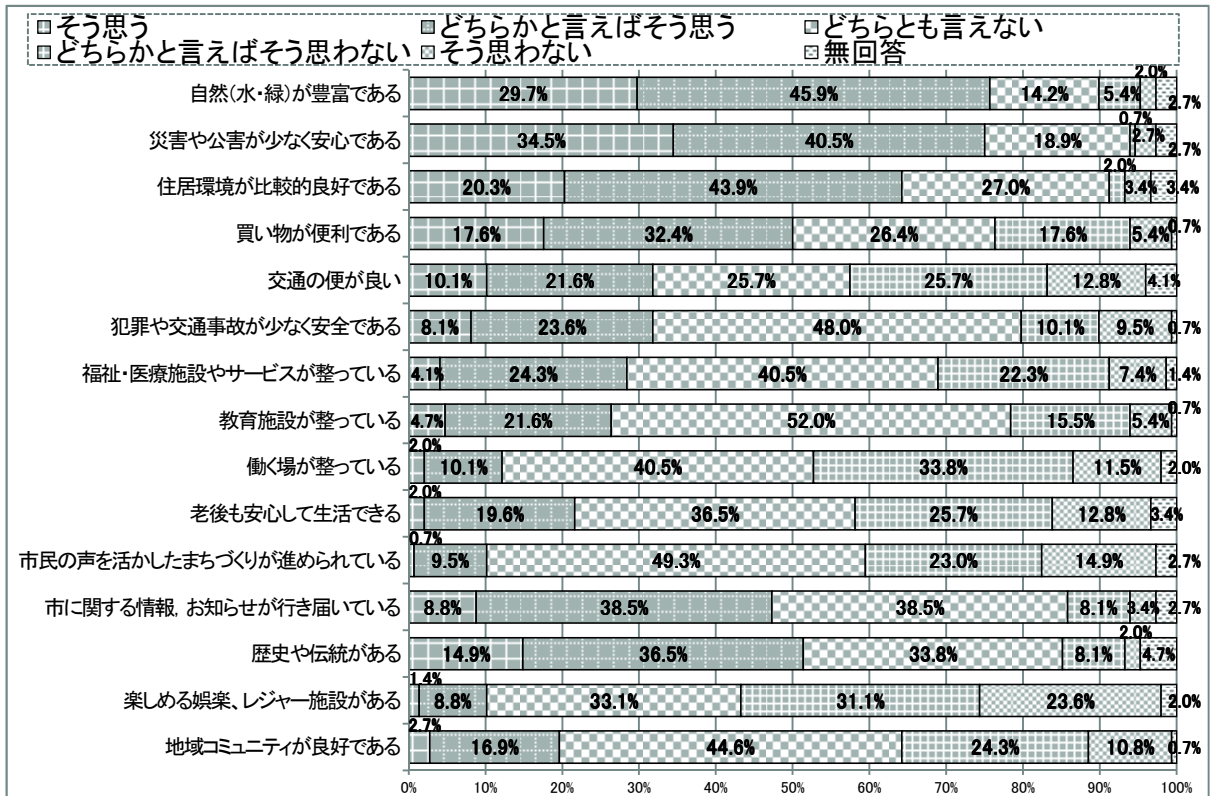
【50～54 歳 (N=82)】



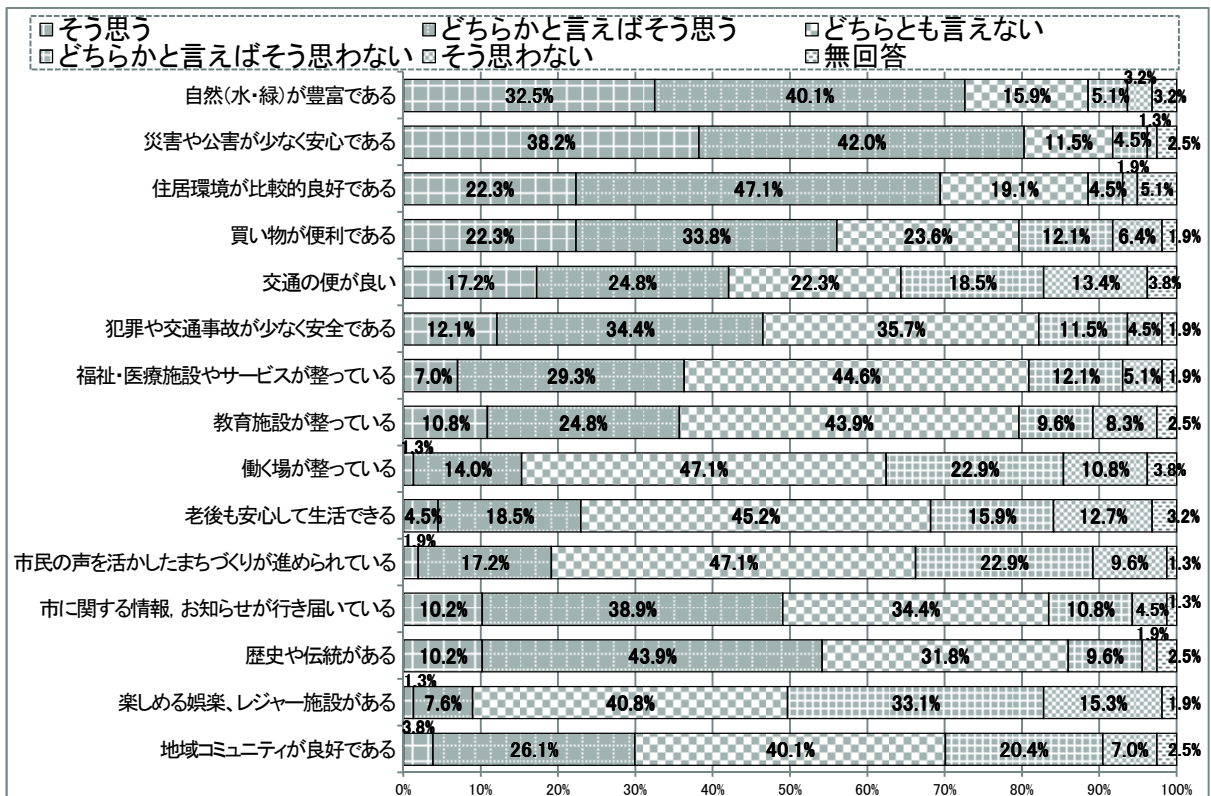
【55～59 歳 (N=113)】



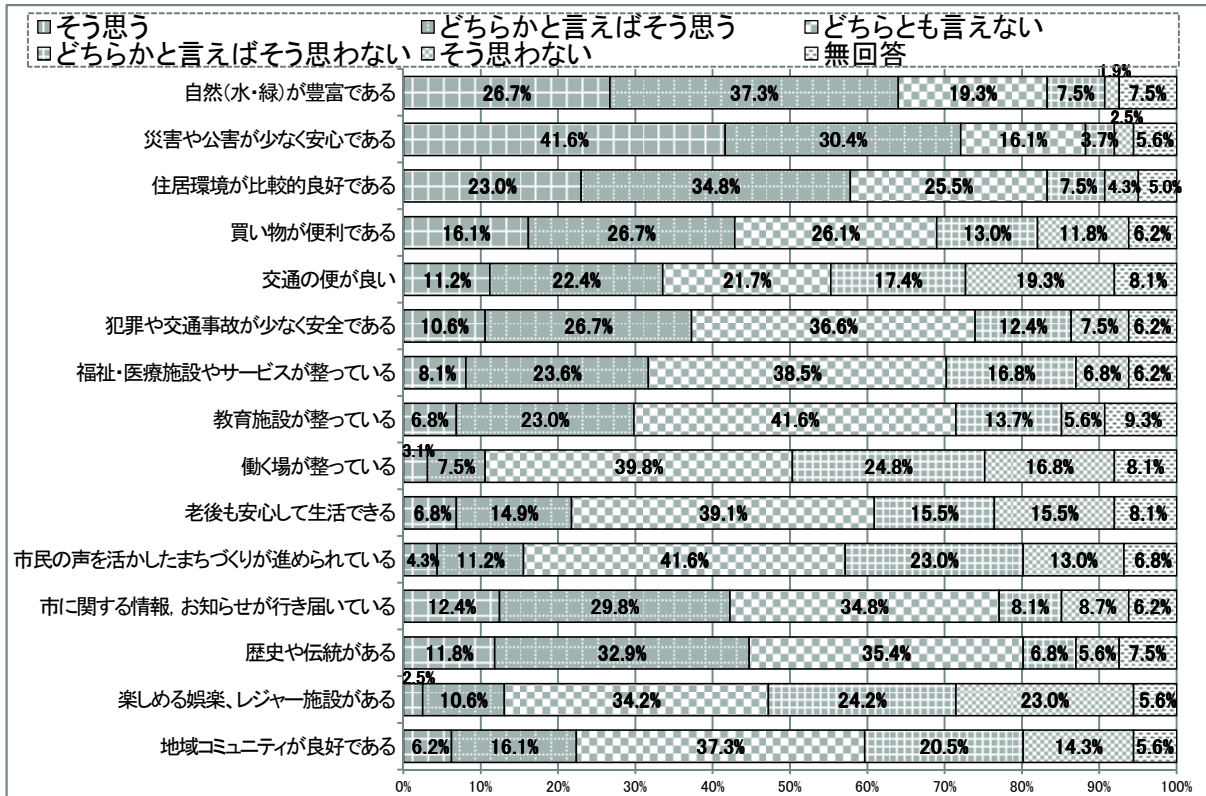
【60～64 歳 (N = 148)】



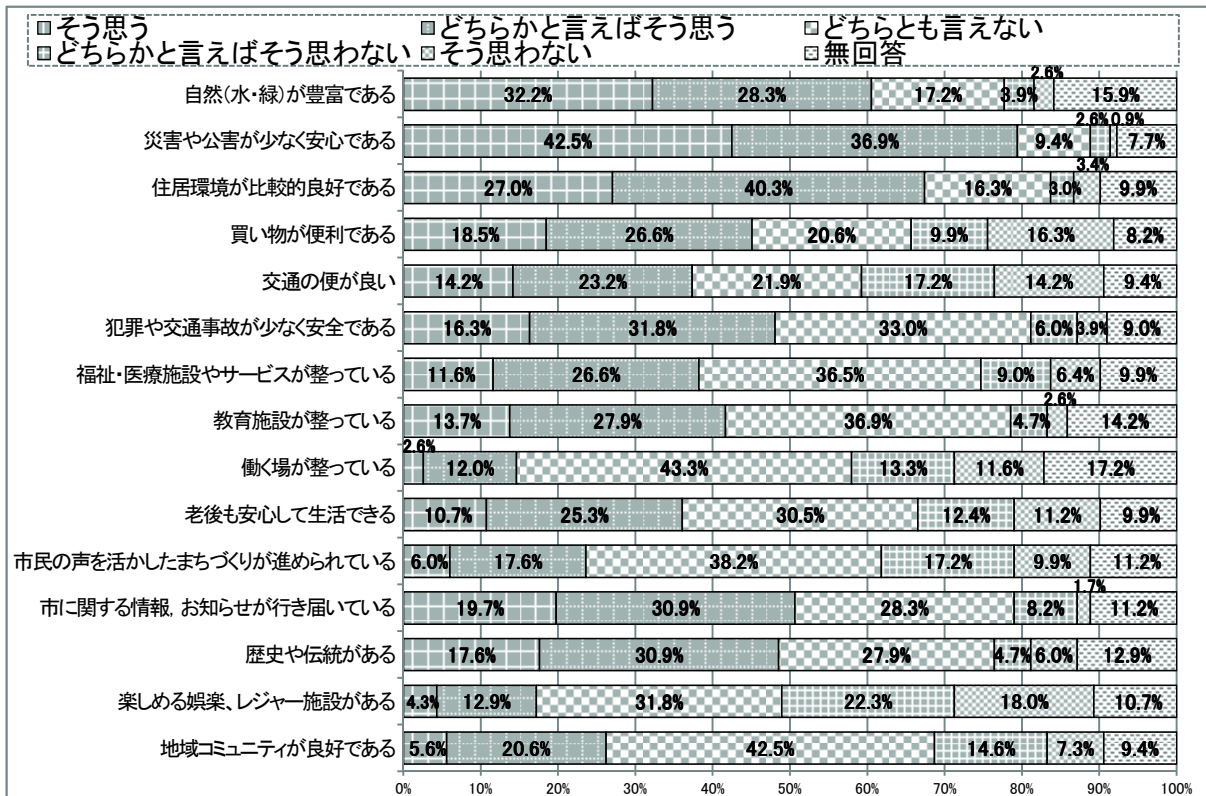
【65～69 歳 (N = 157)】



【70～74 歳 (N = 161)】

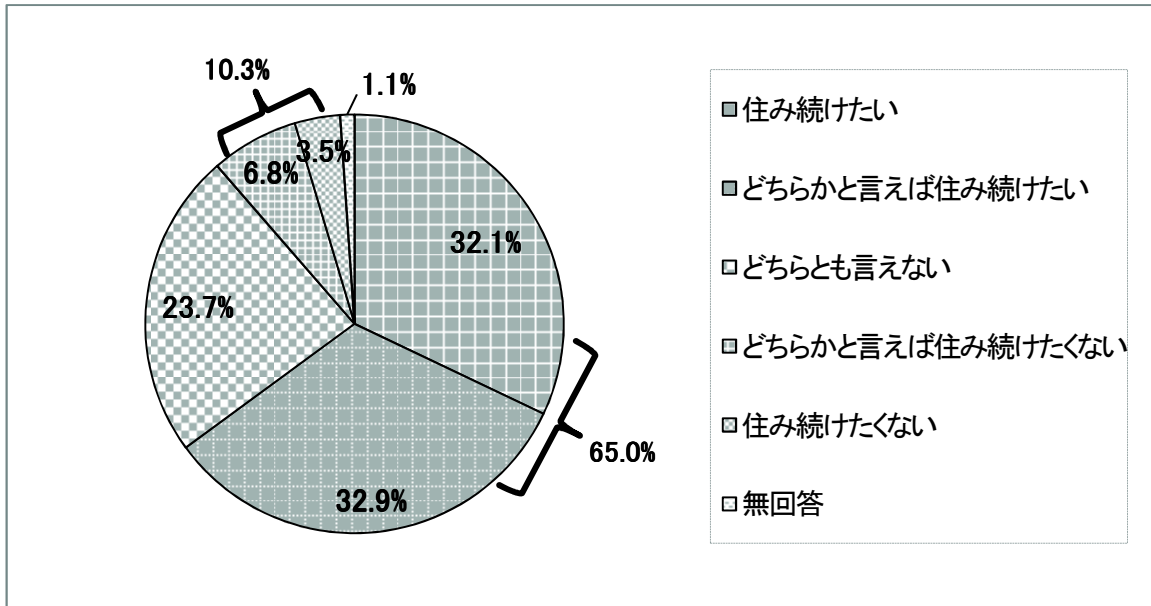


【75 歳以上 (N = 233)】

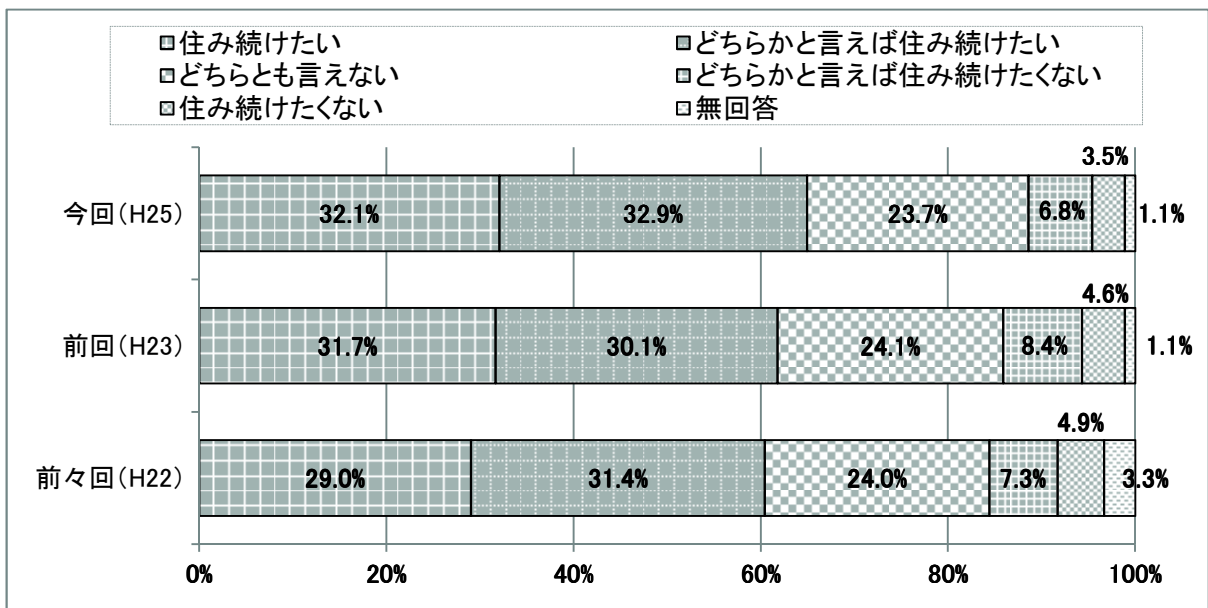


(3) 定住意向

問3 あなたは、今住んでいる場所にこれからも住み続けたいと思いますか。(N=1,369)

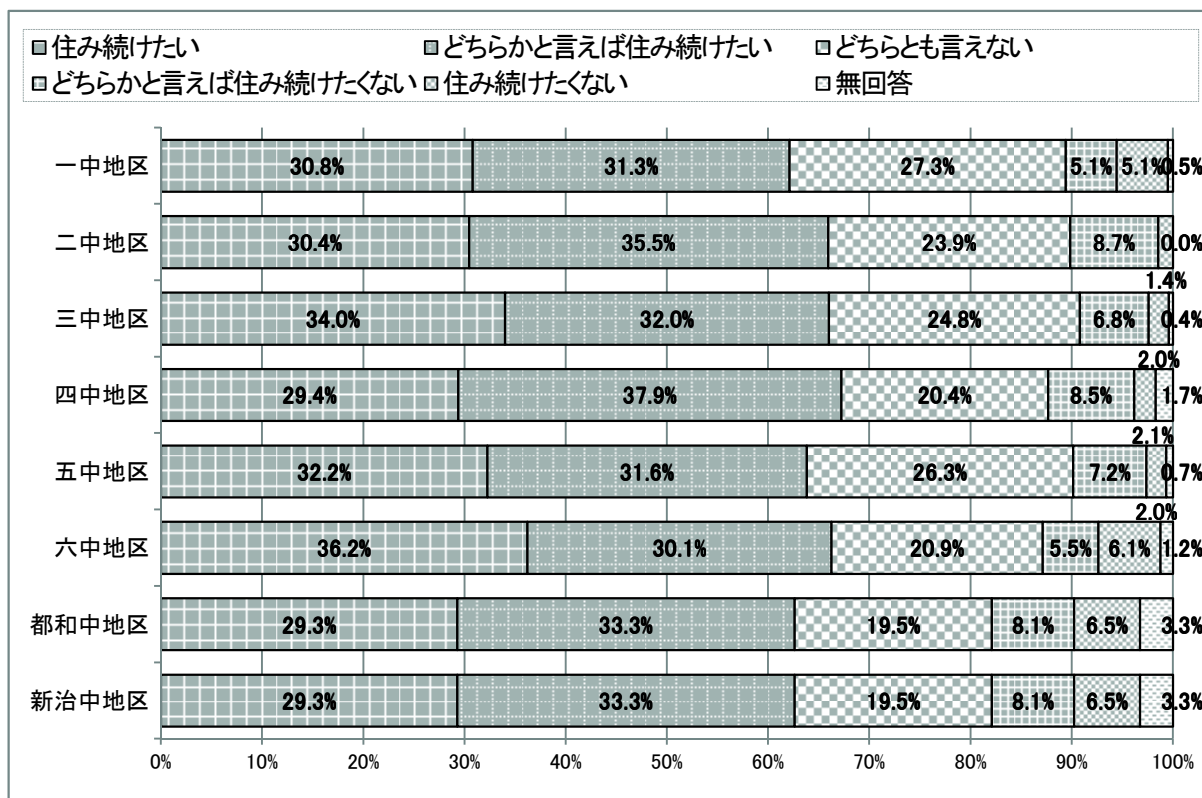


(H25:N=1,369, H23:N=1,269, H22:N=1,375)

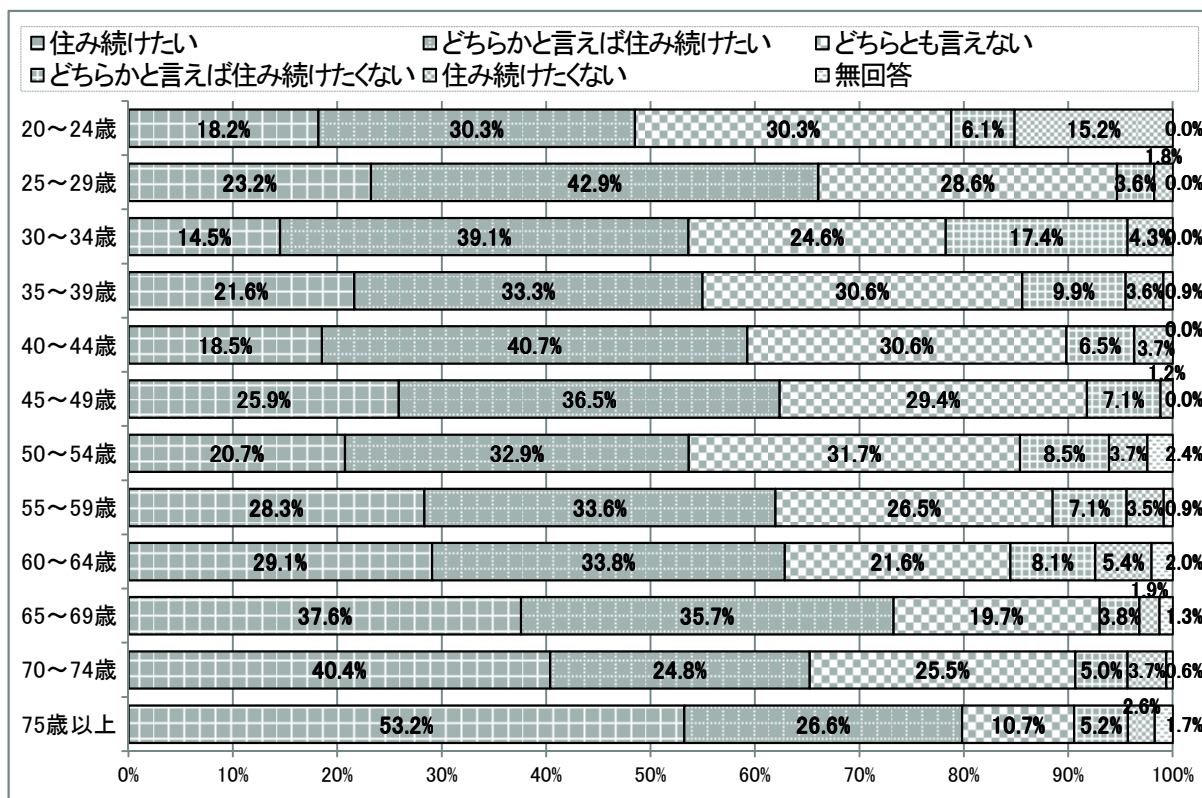


今後の定住意向については、「住み続けたい」が32.1%、「どちらかといえば住み続けたい」が32.9%で、合わせて“住み続けたい”が65.0%となっており、前回の61.8%と比較して3.2ポイント増加した。

① 地区別 (N = 1,355)

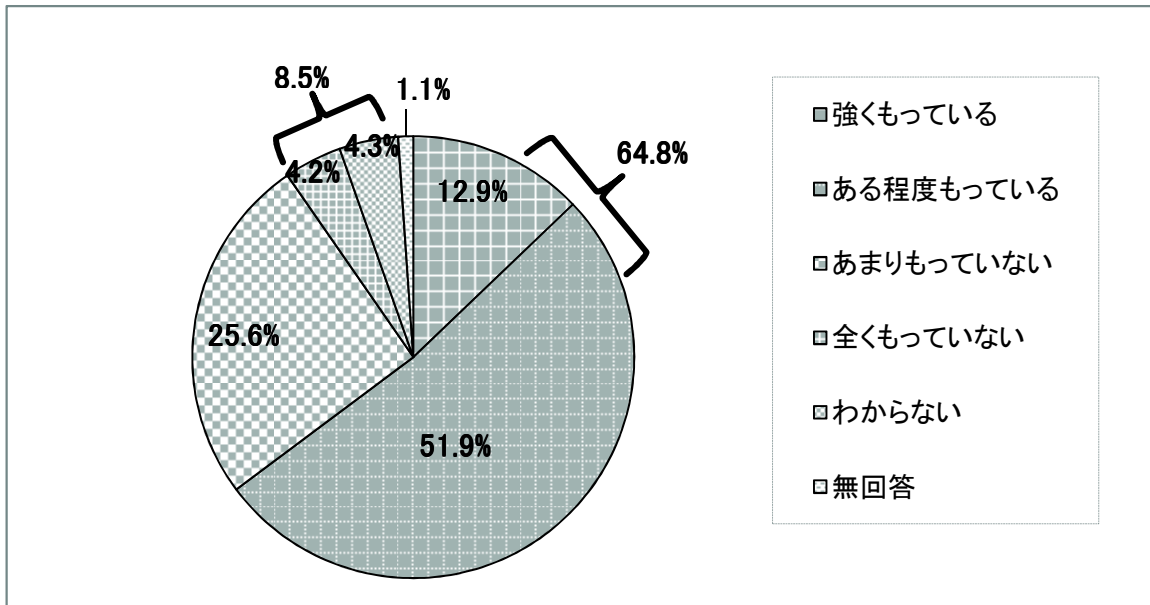


② 年齢別 (N = 1,356)

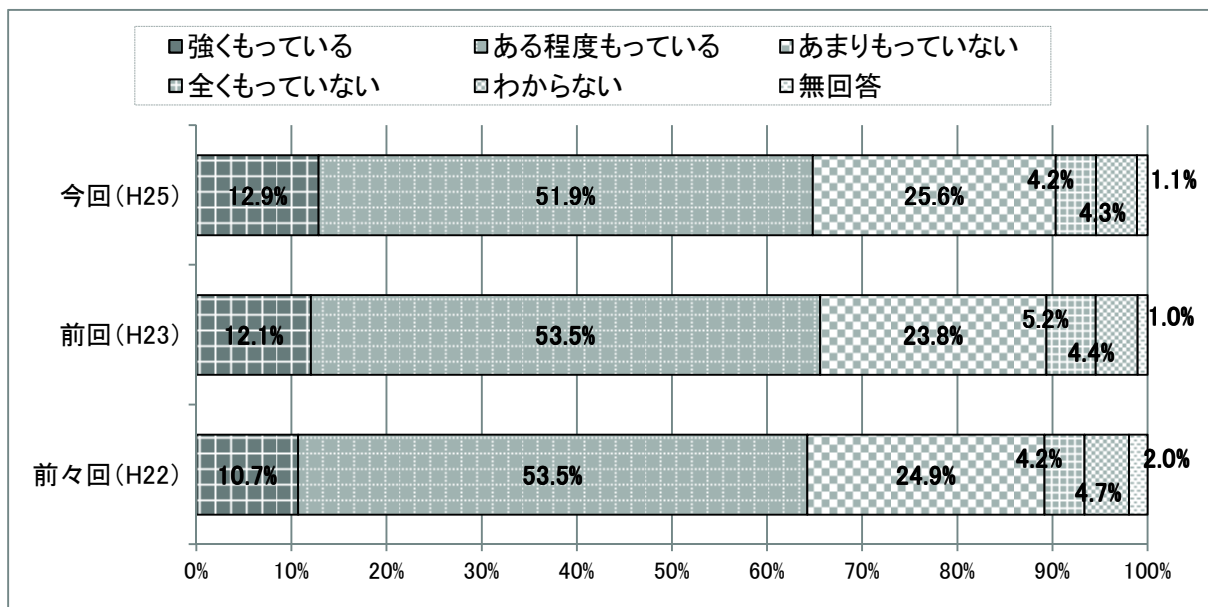


(4) 土浦市への愛着心

問 4 あなたは、土浦市に「わがまち」といった愛着をもっていますか。(N=1,369)



H25=1,369 H23=1,269 H22=1,375

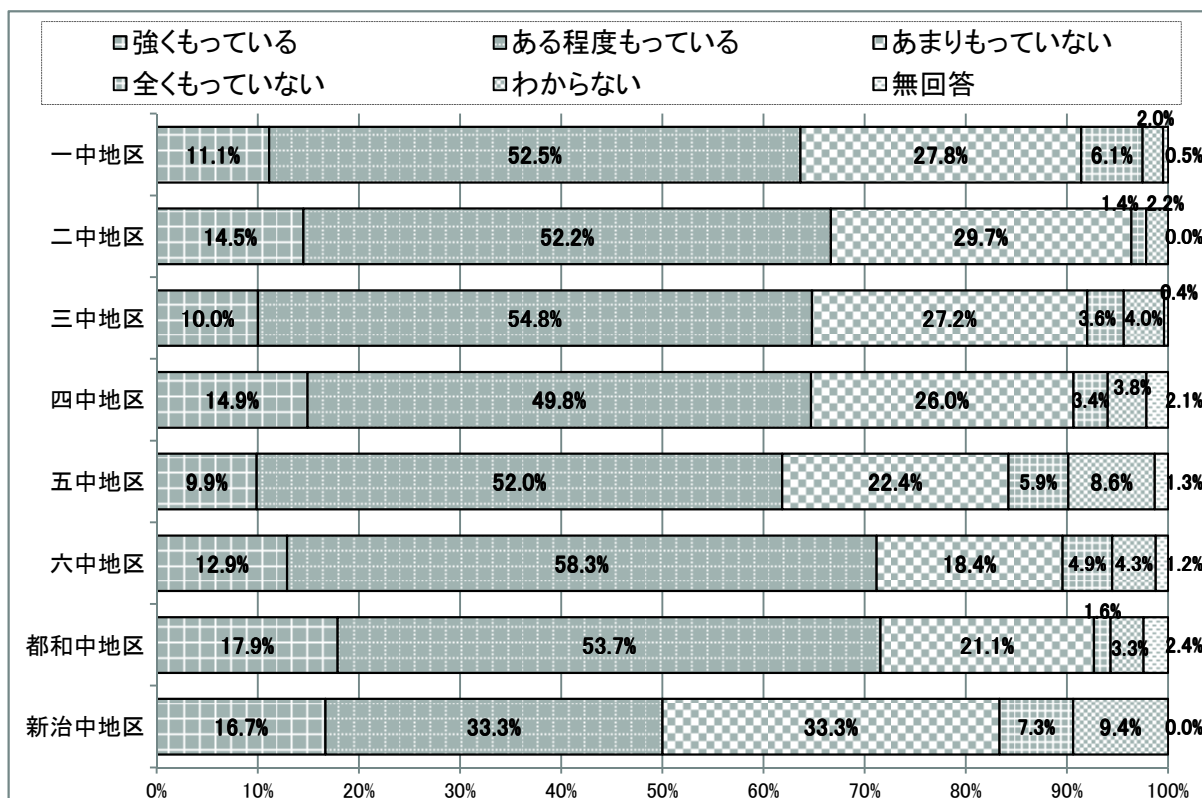


土浦市に“わがまち”といった愛着をもっているかについては、「強くもっている」が12.9%、「ある程度もっている」が51.9%で、合わせて“愛着をもっている”が64.8%となっており、前回の65.6%と比較して、0.8ポイント低くなった。

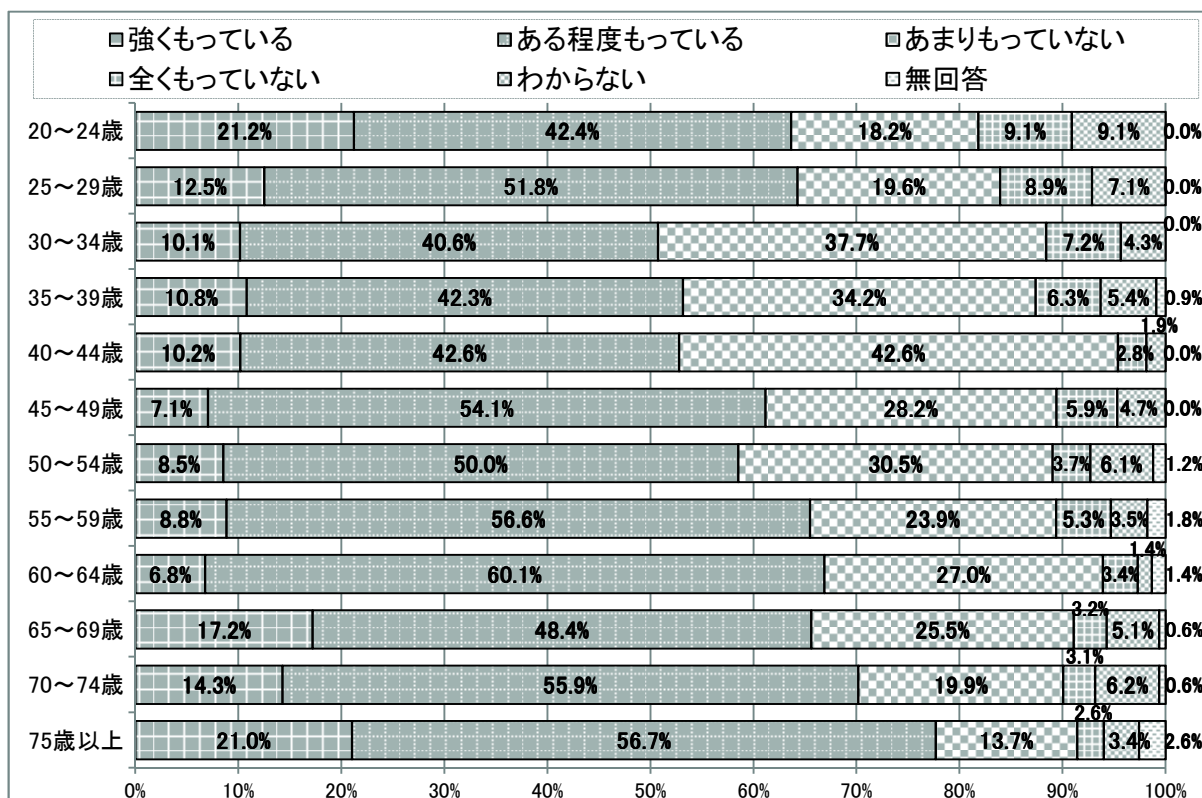
年齢別では、高齢になるほど愛着の度合いが高くなっていったが、今回の調査では20歳代の愛着度が高くなった。



①地区別 (N = 1,355)



① 年齢別 (N = 1,356)



### 3 施策の満足度・重要度

**問5** 以下に示す項目について、あなたはどのように感じていますか。項目ごとに、**①満足度、②重要度のあてはまる番号を1つずつ選び、「○」で囲んでください。**

次頁の図は、本市の各種施策（55項目）の「現在の満足度」と「今後の重要度」の回答結果からそれぞれの加重平均を求め、横軸に満足度、縦軸に重要度をとり、散布図として表したものである。

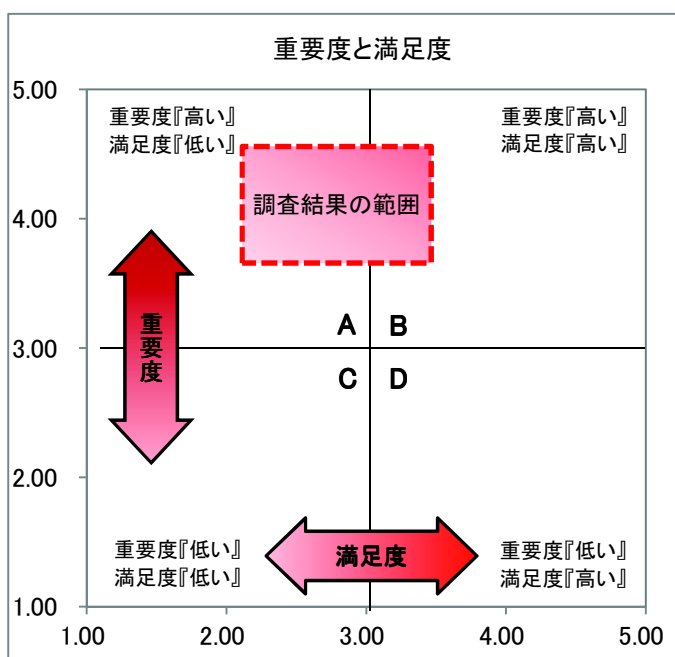
加重平均値の算出は、「満足している（重要である）」を5ポイント、「やや満足している（やや重要）」を4ポイント、「どちらともいえない」を3ポイント、「やや不満である（あまり重要でない）」を2ポイント、「不満である（重要ではない）」を1ポイントとして、それぞれに回答数を掛けた数値の合計を回答実数で割って求めている。

#### ★施策の満足度・重要度の見かた

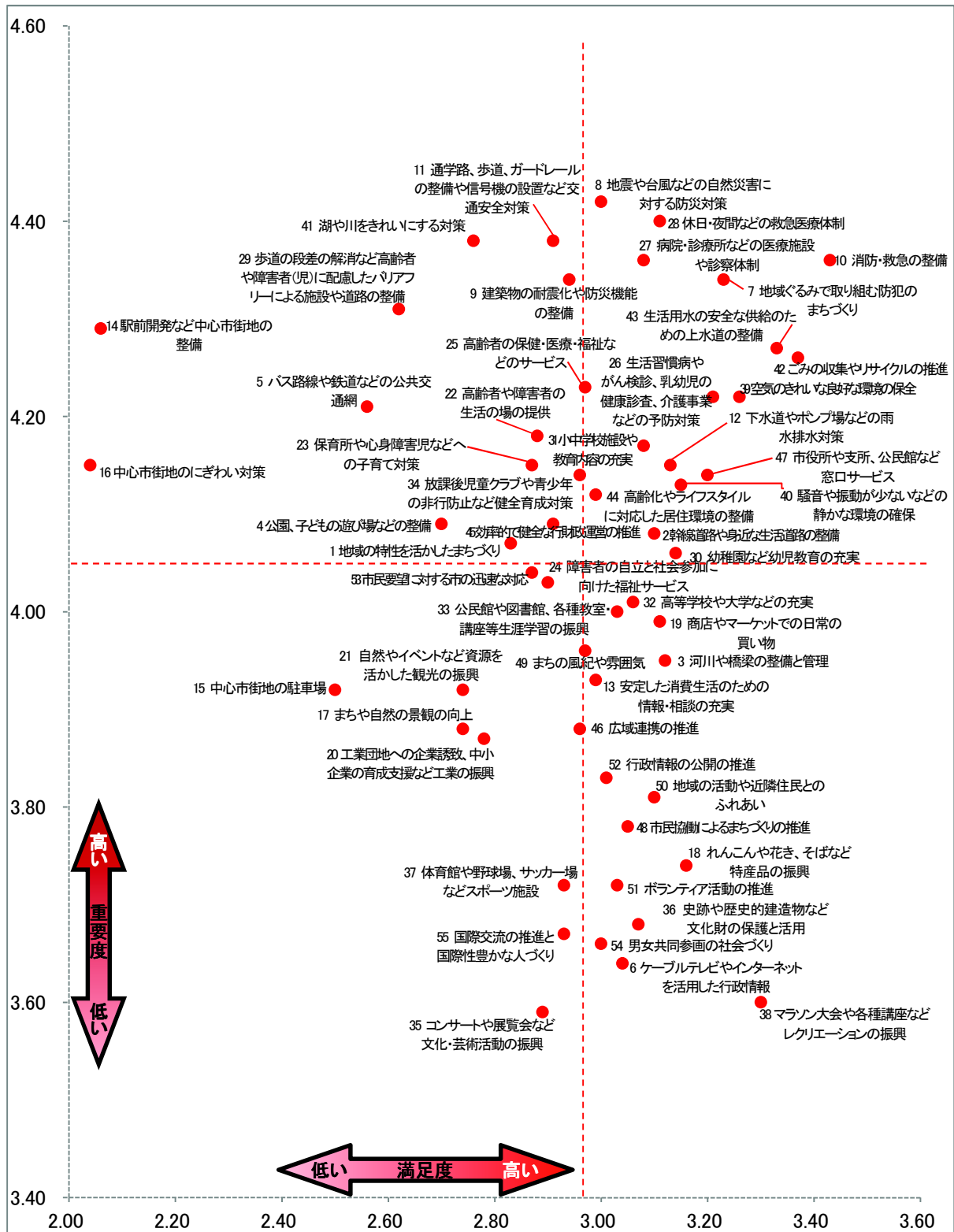
散布図は、おおまかに4つの領域に分けて見ることができる。

回答者全員が満足又は重要と回答していれば5.0となり、逆に全員が不満又は重要でないと回答していれば1.0となる。

今回の調査結果では、満足度が2.0から3.4の間、重要度が3.6から4.4の間に、それぞれ分布しており、その範囲は右図に示すとおりである。



このうち、重要度が高く、満足度が低い施策は「A 優先的に推進すべき事業」と判断できる。また、重要度が高く、満足度が高い事業は「B 現状を維持する事業」、重要度が低く、満足度が低い事業は「C 重要性を幅広く検討した上で推進する事業」、そして重要度が低く、満足度が高い事業は「D 場合によっては縮小も検討する事業」となり、優先順位はA→C→B→Dに位置付けられる。



満足度・重要度共に高いのは、「休日・夜間などの救急医療体制」、「消防・救急の整備」、「病院・診療所などの医療施設・診療体制」、「地域ぐるみで取り組む防犯のまちづくり」である。

また、満足度・重要度共に低いのは、「中心市街地の駐車場」である。

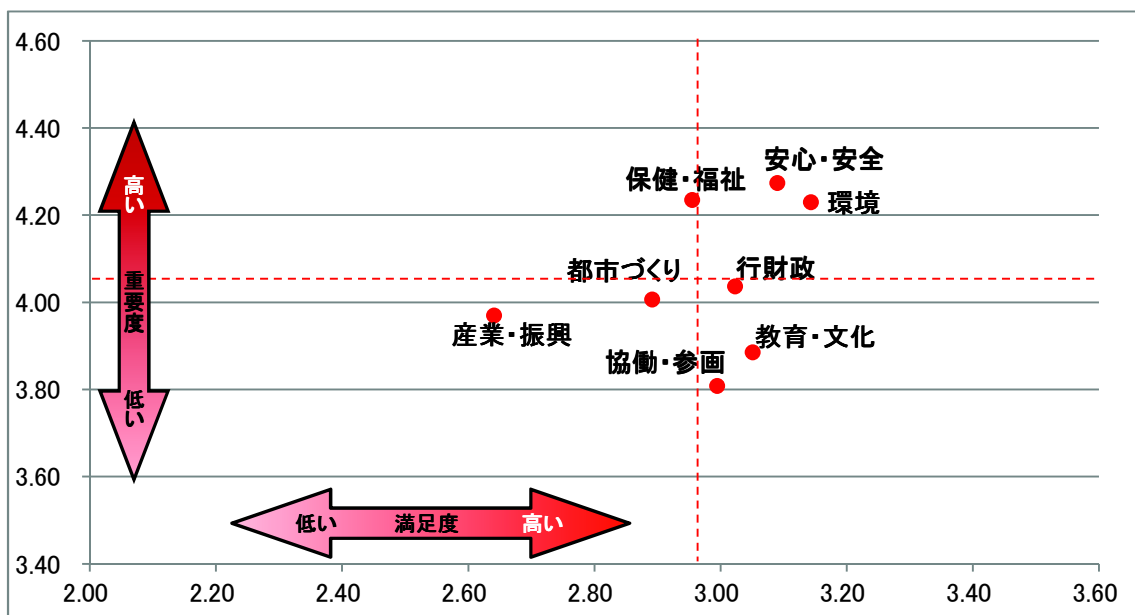
### (1) 分野別の施策の現状評価について

各種施策を『都市づくり』、『安心・安全』、『産業・振興』、『保健・福祉』、『教育・文化』、『環境』、『行財政』、『協働・参画』の8つの分野に分け、それぞれの満足度・重要度の分布をみた。

#### ① 8分野の満足度・重要度

各分野を構成する施策の平均を求め、分野別の満足度と重要度の散布状況を示した。

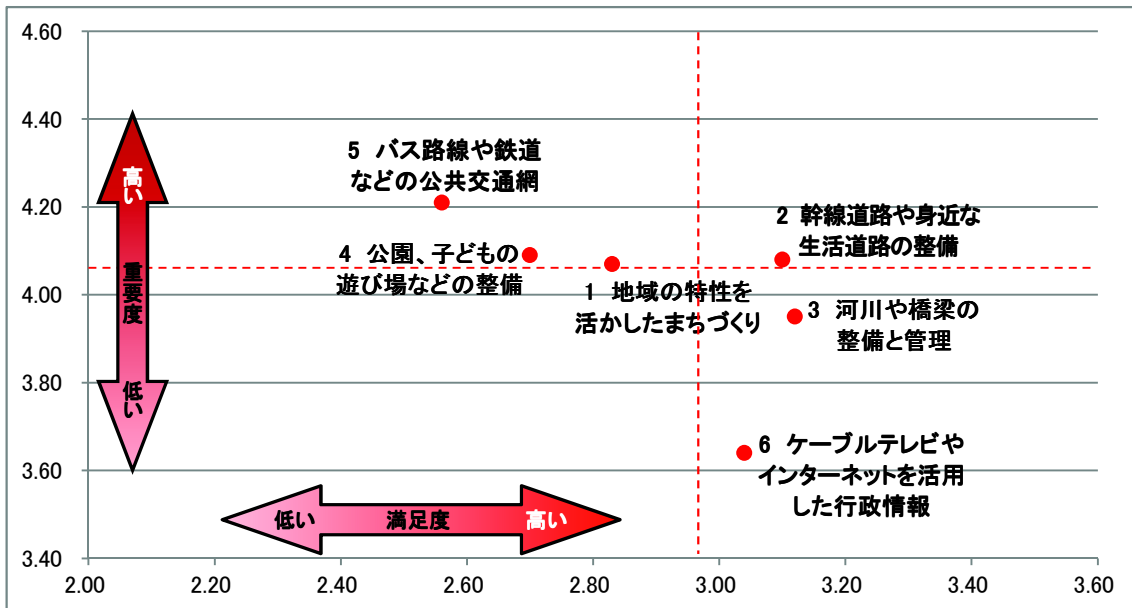
#### ◆分野別



満足度・重要度ともに「安心・安全」、「環境」が高いゾーンに位置している。「保健・福祉」は重要度が高いが、満足度が平均をわずかに下回っている。

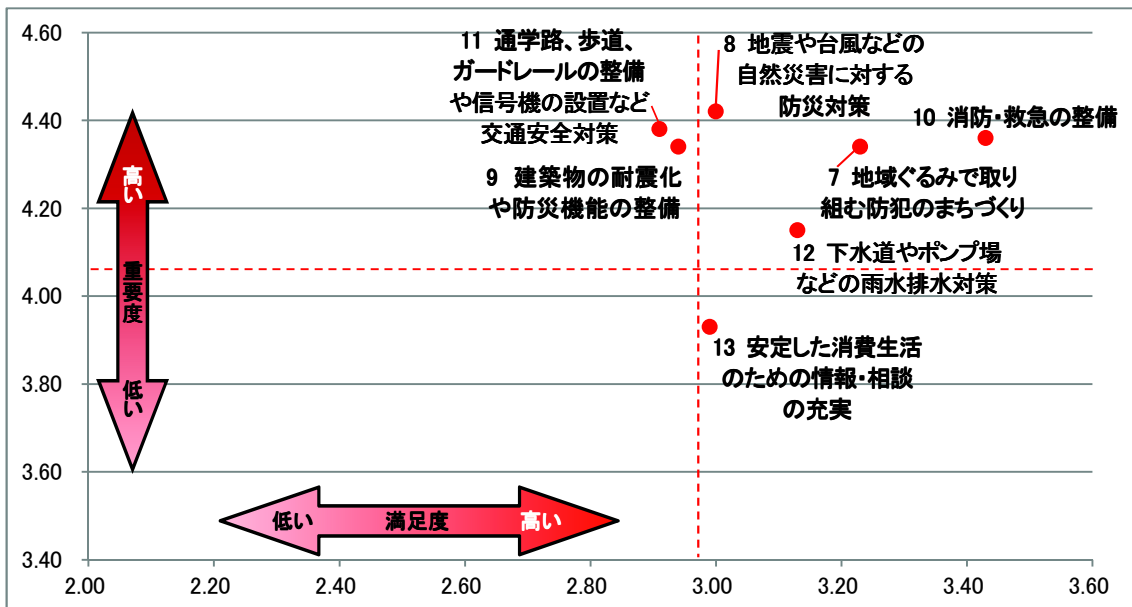
続いて、各分野における各種施策（55項目）の満足度・重要度をみた。

## ◆都市づくり



満足度・重要度共に高いのは、「幹線道路や身近な生活道路の整備」である。「バス路線や鉄道などの公共交通網」は重要度が高いが、満足度は低い。

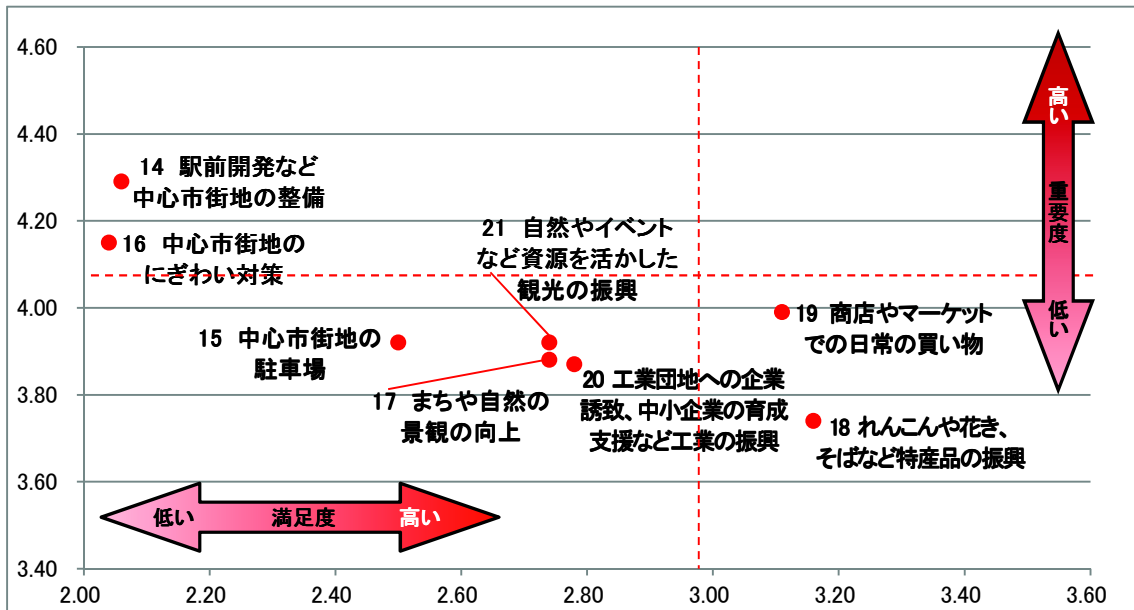
## ◆安心・安全



満足度・重要度共に高いのは、「消防・救急の整備」、「地域ぐるみで取り組む防犯のまちづくり」である。

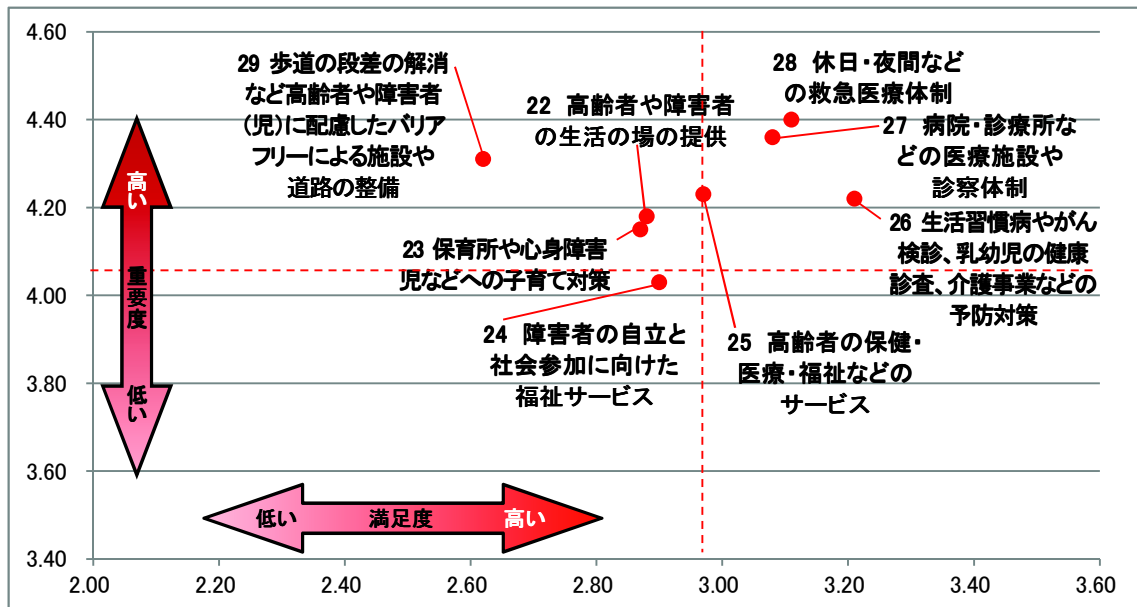
「通学路、歩道、ガードレールの整備や信号機の設置など交通安全対策」、「建築物の耐震化や防災機能の整備」に関しては、重要度は高いが、満足度は低い。

◆産業・振興



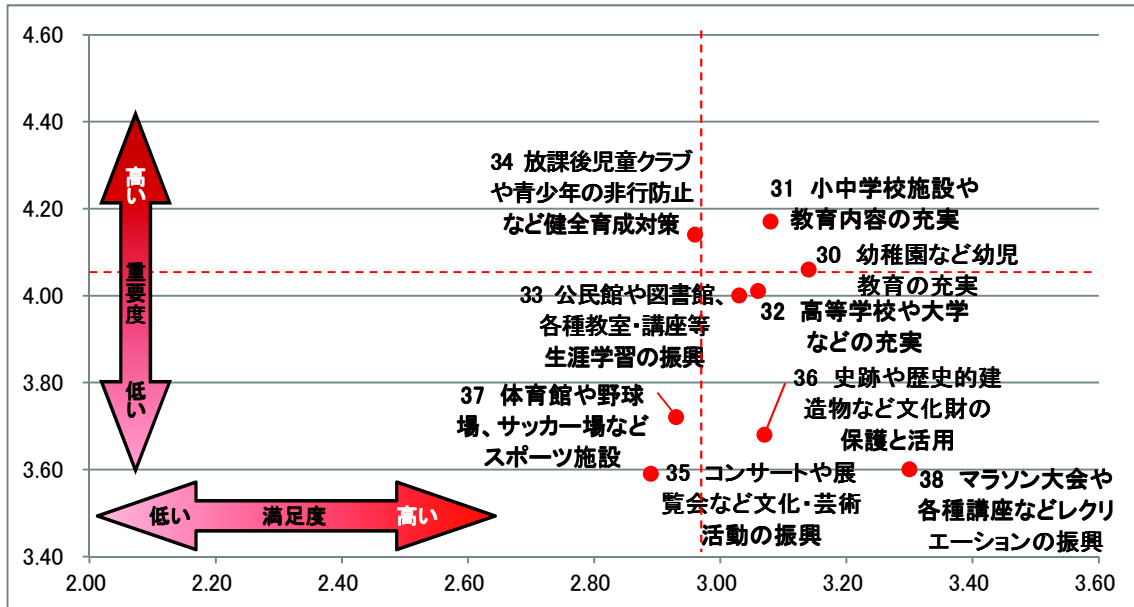
満足度が高いのは「れんこんや花き、そばなど特産品の振興」であるが、重要度は低い。「駅前開発など中心市街地の整備」や「中心市街地のにぎわい対策」に関しては、重要度は高いが、満足度は低い。

◆保健・福祉



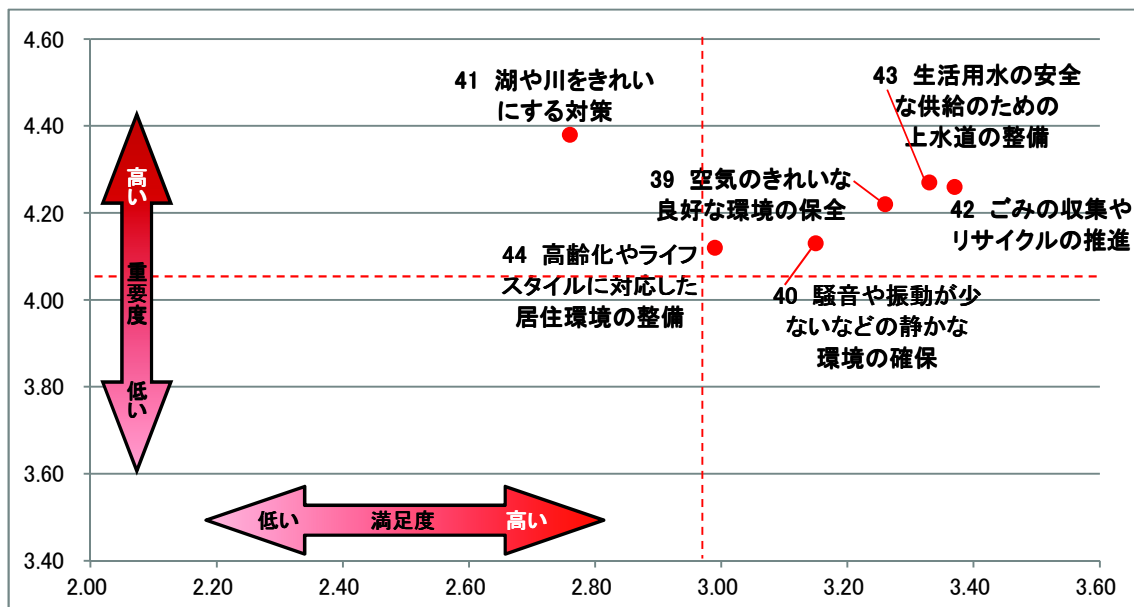
重要度、満足度ともに高いのは「休日・夜間などの救急医療体制」、「病院・診療所などの医療施設や診察体制」である。「バリアフリーによる施設や道路の整備」に関しては、重要度は高いが、満足度は低い。

## ◆教育・文化



満足度・重要度共に高いのは、「小中学校施設や教育内容の充実」である。また、「放課後児童クラブやなどの健全育成対策」に関しては、重要度は高いが、満足度は低い。「スポーツ施設」及び「文化芸術の振興」は満足度・重要度共に低い。

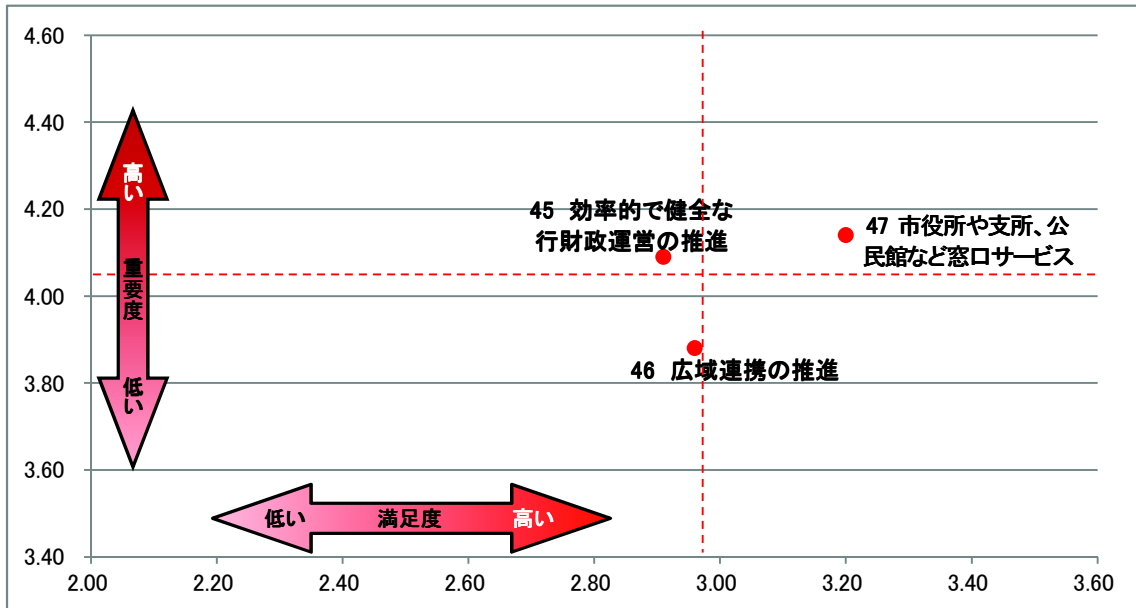
## ◆環境



満足度・重要度共に高いのは、「生活用水の安全な供給のための上水道の整備」、「ごみの収集やリサイクルの推進」である。「湖や川をきれいにする対策」は重要度が高いが、満足度は低い。

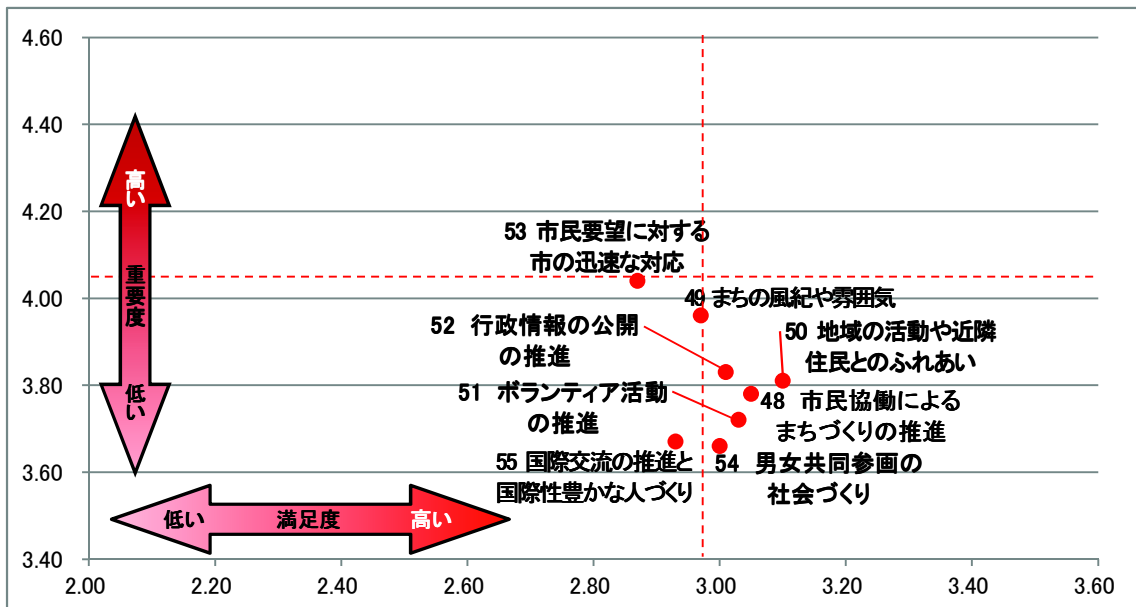
環境分野の施策は概ね満足度・重要度共に高い領域にある。

◆行財政



満足度・重要度共に高いのは、「市役所や支所、公民館など窓口サービス」である。「効率的で健全な行財政運営の推進」に関しては、重要度は高いが、満足度は低い。また、「広域連携の推進」は満足度・重要度共に低い。

◆協働・参画



満足度が高いのは、「地域の活動や近隣住民とのふれあい」である。

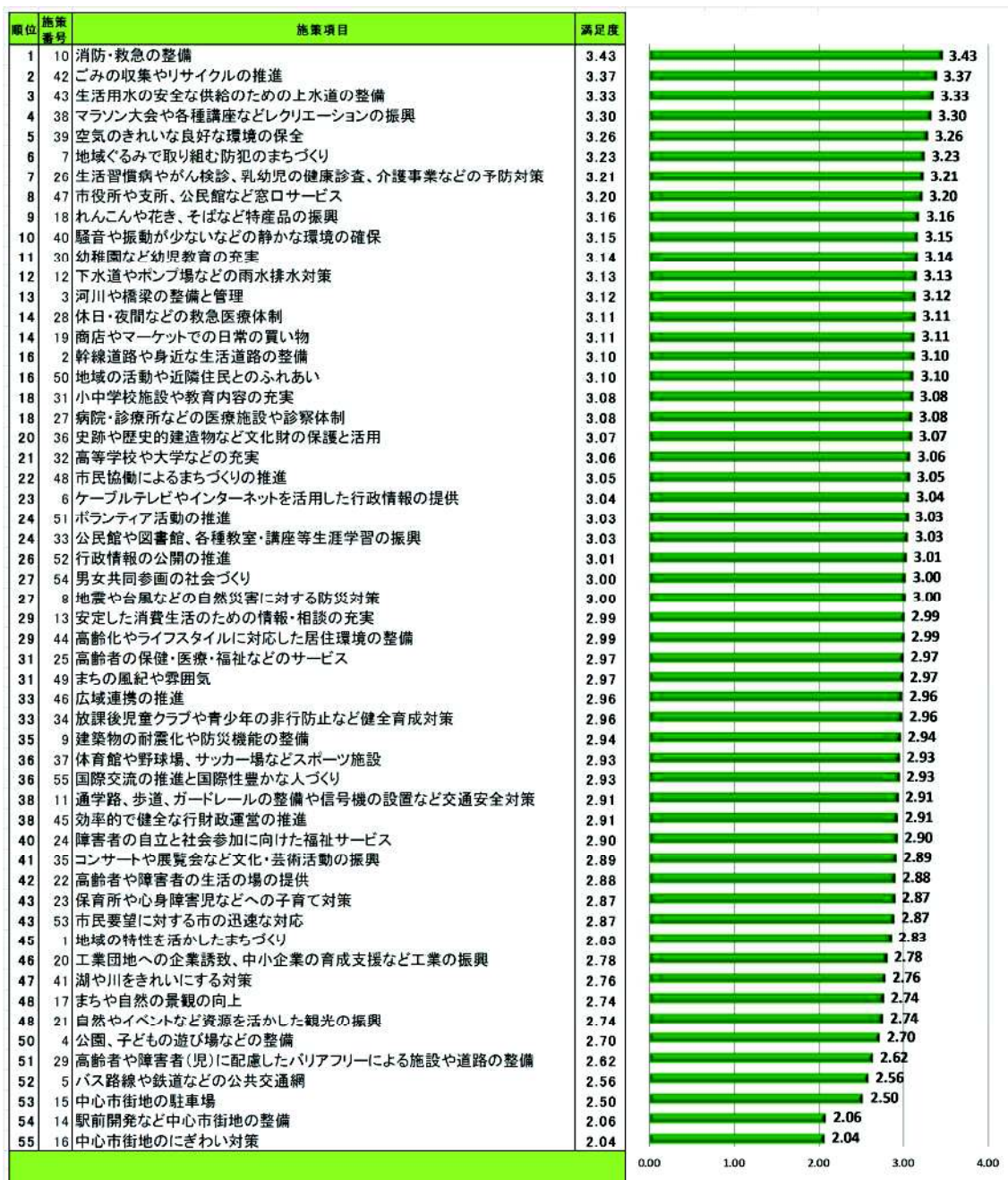
また、「市民要望に対する市の迅速な対応」は重要度が高い。

協働・参画分野の施策は、全体的に満足度は高いが、重要度は低い。



## (2) 施策の満足度・重要度（全体）

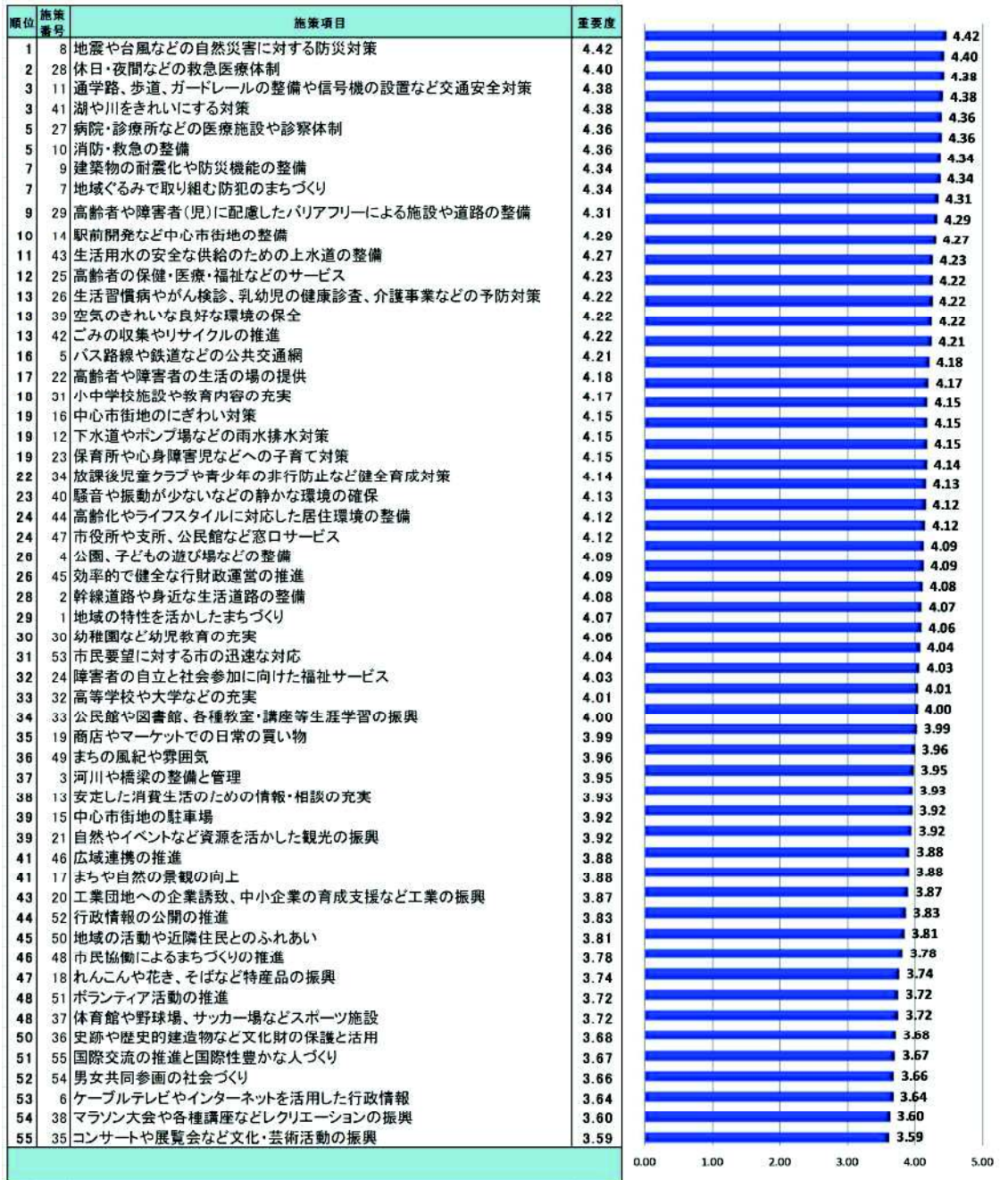
### ① 満足度（全体）



施策の満足度は「消防・救急の整備」が3.43ポイントで最も高く、「ごみの収集やリサイクルの推進」が3.37ポイントと続く。前回の調査と比較すると、「消防・救急の整備」は0.03ポイント低くなり、「ごみの収集やリサイクルの推進」は0.03ポイント高くなった。

また、「空気のきれいな良好な環境の保全」は前回調査の10位から5位となり、「騒音や振動が少ないなどの静かな環境の確保」は前回調査の22位から10位となった。

## ② 重要度（全体）



施策の重要度は「地震や台風などの自然災害に対する防災対策」が4.42ポイントで最も高く、「休日・夜間などの救急医療体制」が4.40ポイントと続く。前回の調査と比較すると、「地震や台風などの自然災害に対する防災対策」が0.08ポイント、また、「休日・夜間などの救急医療体制」が0.05ポイント低くなった。

また、「通学路、歩道、ガードレールの整備や信号機の設置など交通安全対策」は前回調査の7位から3位となり、「ごみの収集やリサイクルの推進」は前回調査の10位から15位となった。

### (3) 施策の満足度・重要度【前回調査との比較】

#### ① 満足度

分野	順位	施策番号	施策項目	平成25年	平成23年	差	
都市づくり	45	1	地域の特性を活かしたまちづくり	2.83	2.78	0.05	○
	16	2	幹線道路や身近な生活道路の整備	3.10	3.10	0.00	-
	13	3	河川や橋梁の整備と管理	3.12	3.16	-0.04	▽
	50	4	公園、子どもの遊び場などの整備	2.70	2.69	0.01	○
	52	5	バス路線や鉄道などの公共交通網	2.56	2.60	-0.04	▽
	23	6	ケーブルテレビやインターネットを活用した行政情報の提供	3.04	3.06	-0.02	▽
安心・安全	6	7	地域ぐるみで取り組む防犯のまちづくり	3.23	3.21	0.02	○
	27	8	地震や台風などの自然災害に対する防災対策	3.00	2.94	0.06	○
	35	9	建築物の耐震化や防災機能の整備	2.94	2.87	0.07	○
	1	10	消防・救急の整備	3.43	3.46	-0.03	▽
	38	11	通学路、歩道、ガードレールの整備や信号機の設置など交通安全対策	2.91	2.87	0.04	○
	12	12	下水道やポンプ場などの雨水排水対策	3.13	3.08	0.05	○
	29	13	安定した消費生活のための情報・相談の充実	2.99	2.99	0.00	-
産業・振興	54	14	駅前開発など中心市街地の整備	2.06	2.18	-0.12	▼
	53	15	中心市街地の駐車場	2.50	2.51	-0.01	▽
	55	16	中心市街地のにぎわい対策	2.04	2.01	0.03	○
	48	17	まちや自然の景観の向上	2.74	2.73	0.01	○
	9	18	れんこんや花き、そばなど特産品の振興	3.16	3.21	-0.05	▽
	14	19	商店やマーケットでの日常の買い物	3.11	3.07	0.04	○
	46	20	工業団地への企業誘致、中小企業の育成支援など工業の振興	2.78	2.78	0.00	-
48	21	自然やイベントなど資源を活かした観光の振興	2.74	2.76	-0.02	▽	
保健・福祉	42	22	高齢者や障害者の生活の場の提供	2.88	2.86	0.02	○
	43	23	保育所や心身障害児などへの子育て対策	2.87	2.90	-0.03	▽
	40	24	障害者の自立と社会参加に向けた福祉サービス	2.90	2.91	-0.01	▽
	31	25	高齢者の保健・医療・福祉などのサービス	2.97	2.95	0.02	○
	7	26	生活習慣病やがん検診、乳幼児の健康診査、介護事業などの予防対策	3.21	3.15	0.06	○
	18	27	病院・診療所などの医療施設や診察体制	3.08	3.14	-0.06	▽
	14	28	休日・夜間などの救急医療体制	3.11	3.15	-0.04	▽
51	29	高齢者や障害者(児)に配慮したバリアフリーによる施設や道路の整備	2.62	2.58	0.04	○	
教育・文化	11	30	幼稚園など幼児教育の充実	3.14	3.16	-0.02	▽
	18	31	小中学校施設や教育内容の充実	3.08	3.06	0.02	○
	21	32	高等学校や大学などの充実	3.06	3.06	0.00	-
	24	33	公民館や図書館、各種教室・講座等生涯学習の振興	3.03	2.99	0.04	○
	33	34	放課後児童クラブや青少年の非行防止など健全育成対策	2.96	2.93	0.03	○
	41	35	コンサートや展覧会など文化・芸術活動の振興	2.89	2.86	0.03	○
	20	36	史跡や歴史的建造物など文化財の保護と活用	3.07	3.11	-0.04	▽
	36	37	体育館や野球場、サッカー場などスポーツ施設	2.93	2.90	0.03	○
4	38	マラソン大会や各種講座などレクリエーションの振興	3.30	3.32	-0.02	▽	
環境	5	39	空気のきれいな良好な環境の保全	3.26	3.15	0.11	◎
	10	40	騒音や振動が少ないなどの静かな環境の確保	3.15	3.05	0.10	◎
	47	41	湖や川をきれいにする対策	2.76	2.66	0.10	◎
	2	42	ごみの収集やリサイクルの推進	3.37	3.34	0.03	○
	3	43	生活用水の安全な供給のための上水道の整備	3.33	3.25	0.08	○
	29	44	高齢化やライフスタイルに対応した居住環境の整備	2.99	2.94	0.05	○
行財政	38	45	効率的で健全な行財政運営の推進	2.91	2.86	0.05	○
	33	46	広域連携の推進	2.96	2.91	0.05	○
	8	47	市役所や支所、公民館など窓口サービス	3.20	3.18	0.02	○
協働・参画	22	48	市民協働によるまちづくりの推進	3.05	3.02	0.03	○
	31	49	まちの風紀や雰囲気	2.97	2.93	0.04	○
	16	50	地域の活動や近隣住民とのふれあい	3.10	3.10	0.00	-
	24	51	ボランティア活動の推進	3.03	3.03	0.00	-
	26	52	行政情報の公開の推進	3.01	2.99	0.02	○
	43	53	市民要望に対する市の迅速な対応	2.87	2.81	0.06	○
	27	54	男女共同参画の社会づくり	3.00	3.01	-0.01	▽
36	55	国際交流の推進と国際性豊かな人づくり	2.93	2.95	-0.02	▽	

◎…0.1ポイント以上のプラス(3施策) ○…0.1未満のプラス(29施策) ▼…0.1以上のマイナス(1施策)  
 ▼…0.1未満のマイナス(16施策) —…横ばい(6施策)

前回の調査と比較すると、満足度については、「空気のきれいな良好な環境の保全」、「騒音や振動が少ないなどの静かな環境の確保」、「湖や川をきれいにする対策」が0.1ポイント以上高なった。

また、「駅前開発など中心市街地の整備」が0.1ポイント以上低くなった。

② 重要度

分野	順位	施策番号	施策項目	平成25年	平成23年	差	
都市づくり	29	1	地域の特性を活かしたまちづくり	4.07	4.17	-0.10	▼
	28	2	幹線道路や身近な生活道路の整備	4.08	4.09	-0.01	▼
	37	3	河川や橋梁の整備と管理	3.95	3.99	-0.04	▼
	26	4	公園、子どもの遊び場などの整備	4.09	4.14	-0.05	▼
	16	5	バス路線や鉄道などの公共交通網	4.21	4.27	-0.06	▼
	53	6	ケーブルテレビやインターネットを活用した行政情報	3.64	3.80	-0.16	▼
安心・安全	7	7	地域ぐるみで取り組む防犯のまちづくり	4.34	4.38	-0.04	▼
	1	8	地震や台風などの自然災害に対する防災対策	4.42	4.50	-0.08	▼
	7	9	建築物の耐震化や防災機能の整備	4.34	4.45	-0.11	▼
	5	10	消防・救急の整備	4.36	4.43	-0.07	▼
	3	11	通学路、歩道、ガードレールの整備や信号機の設置など交通安全対策	4.38	4.42	-0.04	▼
	19	12	下水道やポンプ場などの雨水排水対策	4.15	4.21	-0.06	▼
38	13	安定した消費生活のための情報・相談の充実	3.93	3.95	-0.02	▼	
産業・振興	10	14	駅前開発など中心市街地の整備	4.29	4.22	0.07	○
	39	15	中心市街地の駐車場	3.92	3.91	0.01	○
	19	16	中心市街地のにぎわい対策	4.15	4.16	-0.01	▼
	41	17	まちや自然の景観の向上	3.88	3.93	-0.05	▼
	47	18	れんこんや花き、そばなど特産品の振興	3.74	3.77	-0.03	▼
	35	19	商店やマーケットでの日常の買い物	3.99	4.00	-0.01	▼
	43	20	工業団地への企業誘致、中小企業の育成支援など工業の振興	3.87	3.90	-0.03	▼
	39	21	自然やイベントなど資源を活かした観光の振興	3.92	3.93	-0.01	▼
保健・福祉	17	22	高齢者や障害者の生活の場の提供	4.18	4.21	-0.03	▼
	19	23	保育所や心身障害児などへの子育て対策	4.15	4.21	-0.06	▼
	32	24	障害者の自立と社会参加に向けた福祉サービス	4.03	4.09	-0.06	▼
	12	25	高齢者の保健・医療・福祉などのサービス	4.23	4.30	-0.07	▼
	13	26	生活習慣病やがん検診、乳幼児の健康診査、介護事業などの予防対策	4.22	4.32	-0.10	▼
	5	27	病院・診療所などの医療施設や診察体制	4.36	4.44	-0.08	▼
	2	28	休日・夜間などの救急医療体制	4.40	4.45	-0.05	▼
	9	29	高齢者や障害者(児)に配慮したバリアフリーによる施設や道路の整備	4.31	4.33	-0.02	▼
教育・文化	30	30	幼稚園など幼児教育の充実	4.06	4.11	-0.05	▼
	18	31	小中学校施設や教育内容の充実	4.17	4.21	-0.04	▼
	33	32	高等学校や大学などの充実	4.01	4.00	0.01	○
	34	33	公民館や図書館、各種教室・講座等生涯学習の振興	4.00	4.00	0.00	-
	22	34	放課後児童クラブや青少年の非行防止など健全育成対策	4.14	4.18	-0.04	▼
	55	35	コンサートや展覧会など文化・芸術活動の振興	3.59	3.61	-0.02	▼
	50	36	史跡や歴史的建造物など文化財の保護と活用	3.68	3.73	-0.05	▼
	48	37	体育館や野球場、サッカー場などスポーツ施設	3.72	3.77	-0.05	▼
54	38	マラソン大会や各種講座などレクリエーションの振興	3.60	3.62	-0.02	▼	
環境	13	39	空気のきれいな良好な環境の保全	4.22	4.29	-0.07	▼
	23	40	騒音や振動が少ないなどの静かな環境の確保	4.13	4.24	-0.11	▼
	3	41	湖や川をきれいにする対策	4.38	4.49	-0.11	▼
	13	42	ごみの収集やリサイクルの推進	4.22	4.34	-0.12	▼
	11	43	生活用水の安全な供給のための上水道の整備	4.27	4.37	-0.10	▼
24	44	高齢化やライフスタイルに対応した居住環境の整備	4.12	4.19	-0.07	▼	
行財政	26	45	効率的で健全な行財政運営の推進	4.09	4.23	-0.14	▼
	41	46	広域連携の推進	3.88	3.95	-0.07	▼
	24	47	市役所や支所、公民館など窓口サービス	4.12	4.22	-0.10	▼
協働・参画	46	48	市民協働によるまちづくりの推進	3.78	3.86	-0.08	▼
	36	49	まちの風紀や雰囲気	3.96	4.05	-0.09	▼
	45	50	地域の活動や近隣住民とのふれあい	3.81	3.86	-0.05	▼
	48	51	ボランティア活動の推進	3.72	3.78	-0.06	▼
	44	52	行政情報の公開の推進	3.83	3.97	-0.14	▼
	31	53	市民要望に対する市の迅速な対応	4.04	4.19	-0.15	▼
	52	54	男女共同参画の社会づくり	3.66	3.68	-0.02	▼
	51	55	国際交流の推進と国際性豊かな人づくり	3.67	3.64	0.03	○

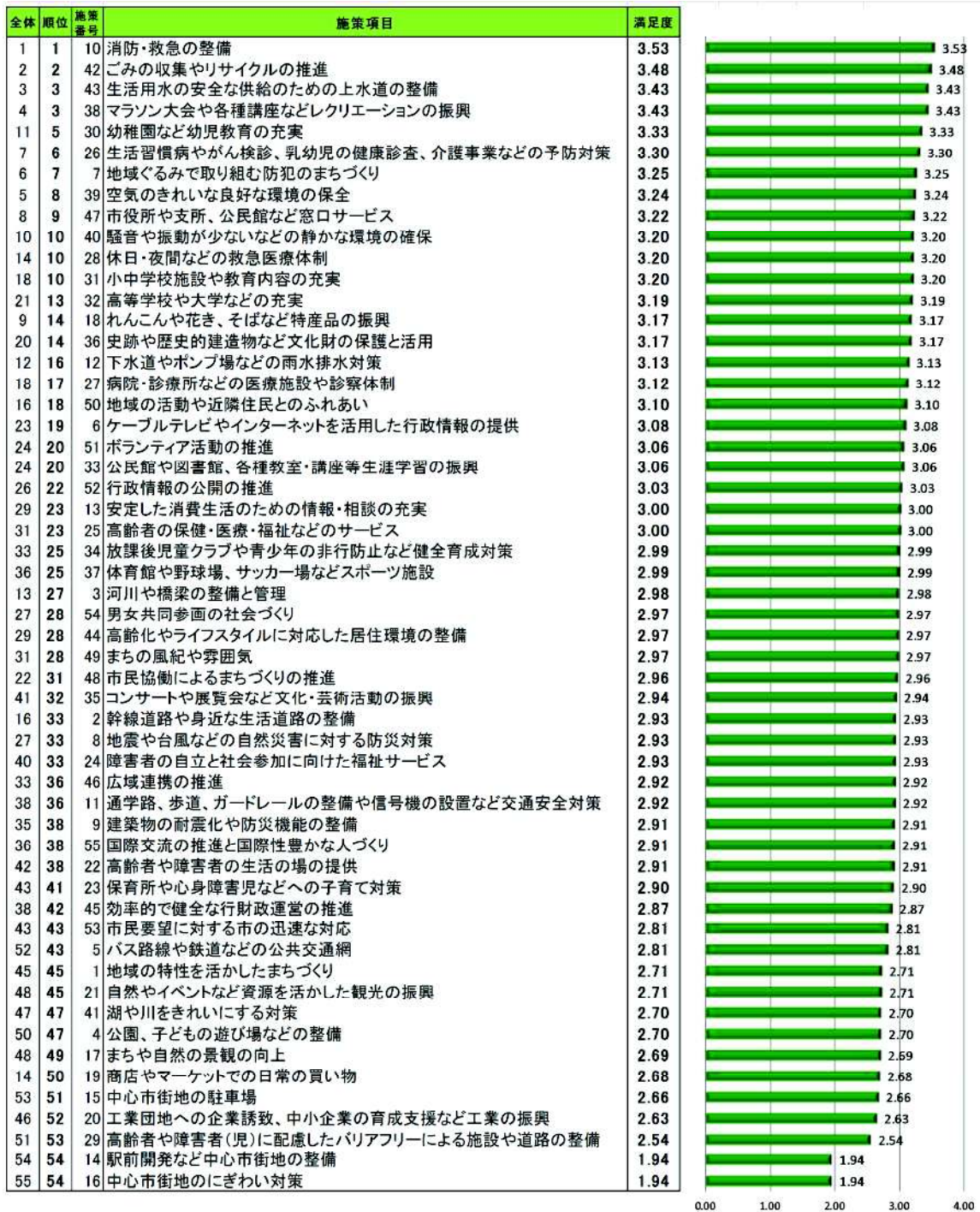
●…0.1ポイント以上のプラス(0施策) ○…0.1未満のプラス(4施策) ▼…0.1以上のマイナス(12施策)  
 ▼…0.1未満のマイナス(38施策) —…横ばい(1施策)

前回の調査と比較すると、重要度については、「駅前開発など中心市街地の整備」、「中心市街地の駐車場」、「高等学校や大学の充実」、「国際交流の推進と国際性豊かな人づくり」の4施策だけが高くなった。

その他は横ばいか低くなっており、環境及び行財政分野の施策で、重要度が前回よりも0.1ポイント以上低くなった。

#### (4) 施策の満足度・重要度（地区別）

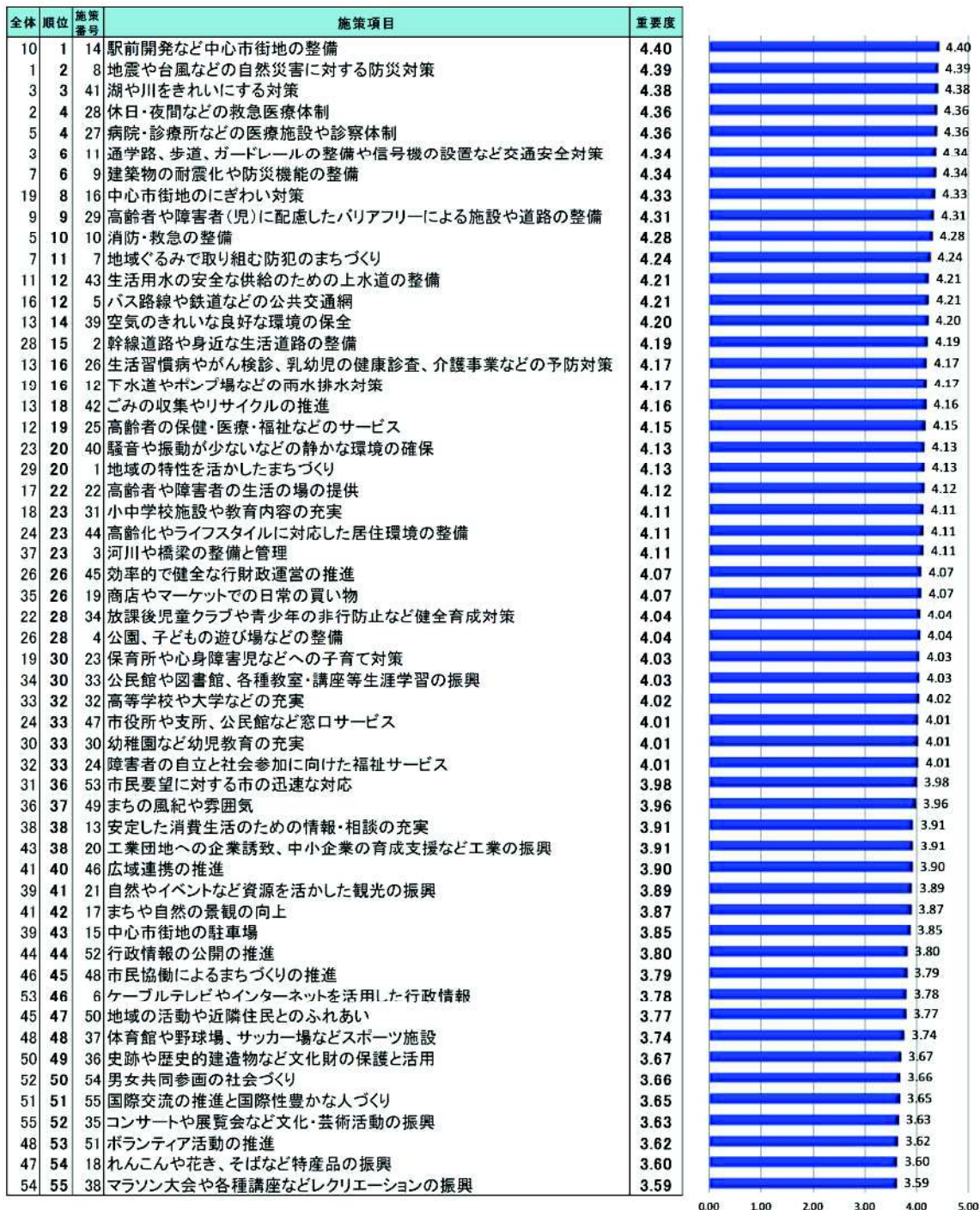
##### 【一中地区・満足度】



一中地区では、「幼児教育の充実」（全体 11 位）、「休日・夜間などの救急医療体制」（全体 14 位）、「小中学校施設や教育内容の充実」（全体 18 位）、「高等学校や大学などの充実」（全体 21 位）の順位が全体と比べて高い。

一方、「れんこんや花き、そばなどの特産品の振興」（全体 9 位）、「商店やマーケットでの日常の買い物」（全体 14 位）の順位が全体と比べて低い。

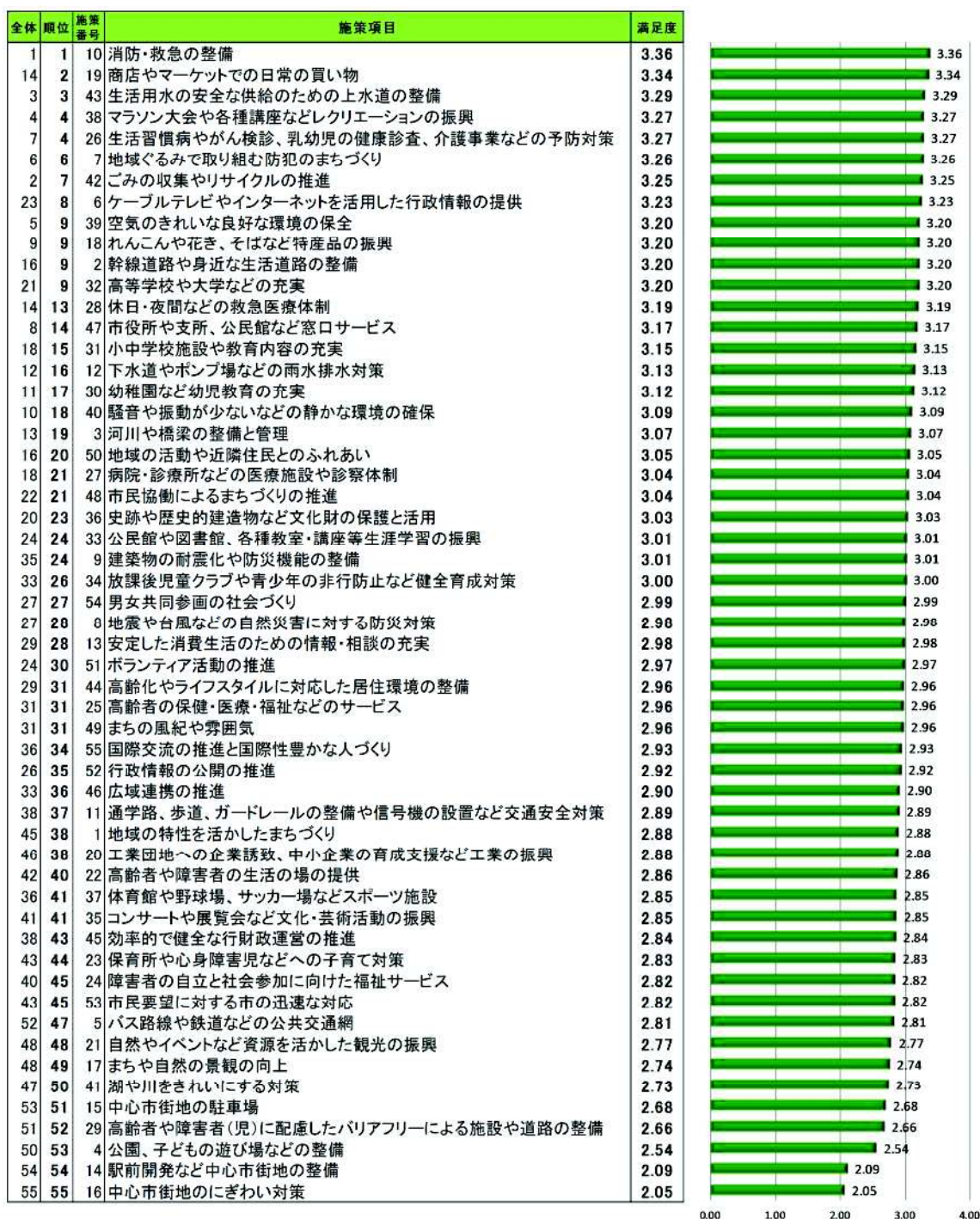
【一中地区・重要度】



一中地区では、「駅前開発などの中心市街地の整備」(全体 10 位)や「中心市街地のにぎわい対策」(全体 19 位)の順位が全体と比べて高い。

一方、「消防・救急の充実」(全体 5 位)の順位が全体と比べて低い。

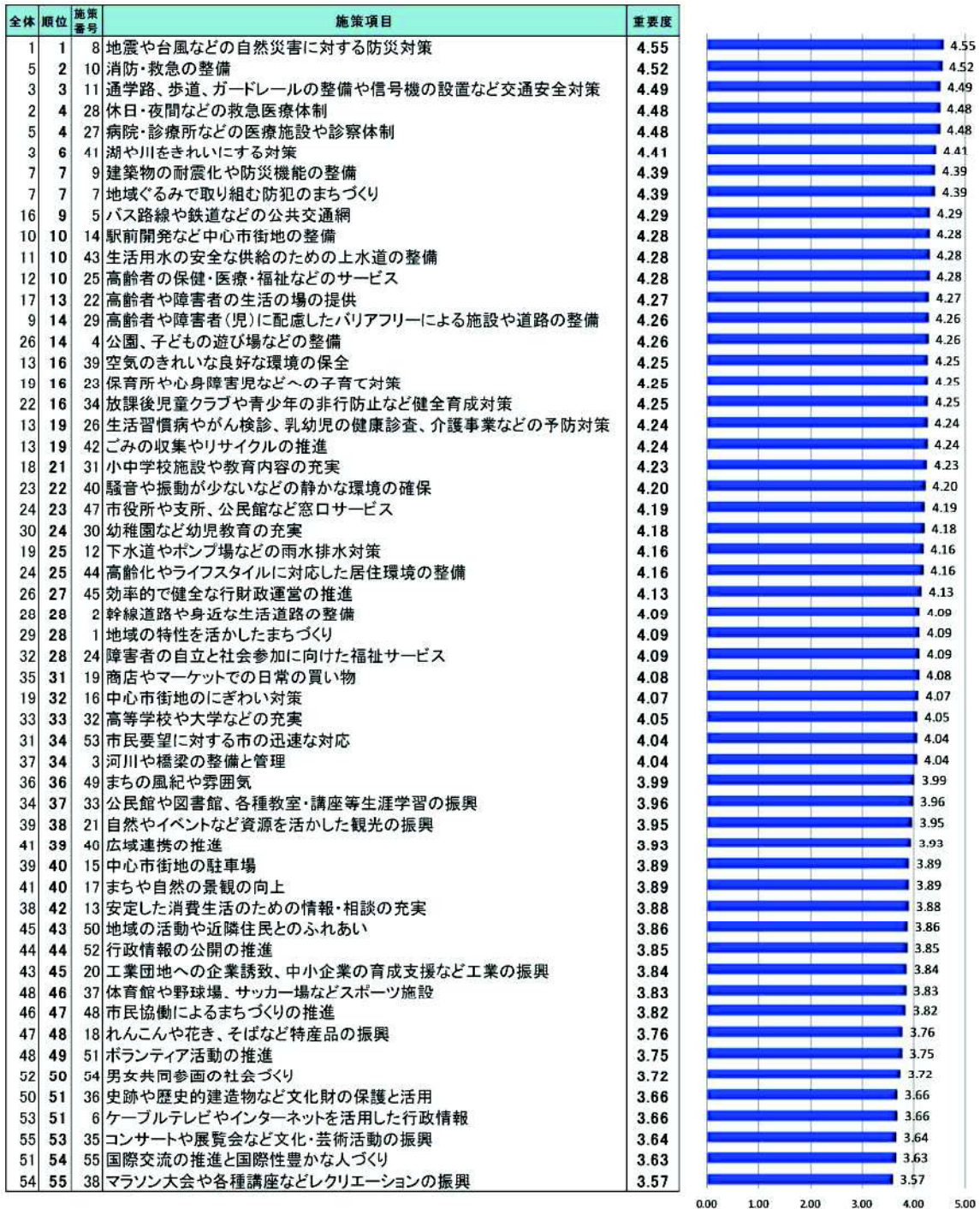
## 【二中地区・満足度】



二中地区では、「商店などでの日常の買い物」(全体 14 位)、「ケーブルテレビやインターネットを活用した行政情報の提供」(全体 23 位)、「高等学校や大学などの充実」(全体 21 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「空気のきれいな良好な環境の保全」(全体 5 位)、「市役所や支所、公民館など窓口サービス」(全体 8 位)の順位が全体に比べて低い。

【二中地区・重要度】

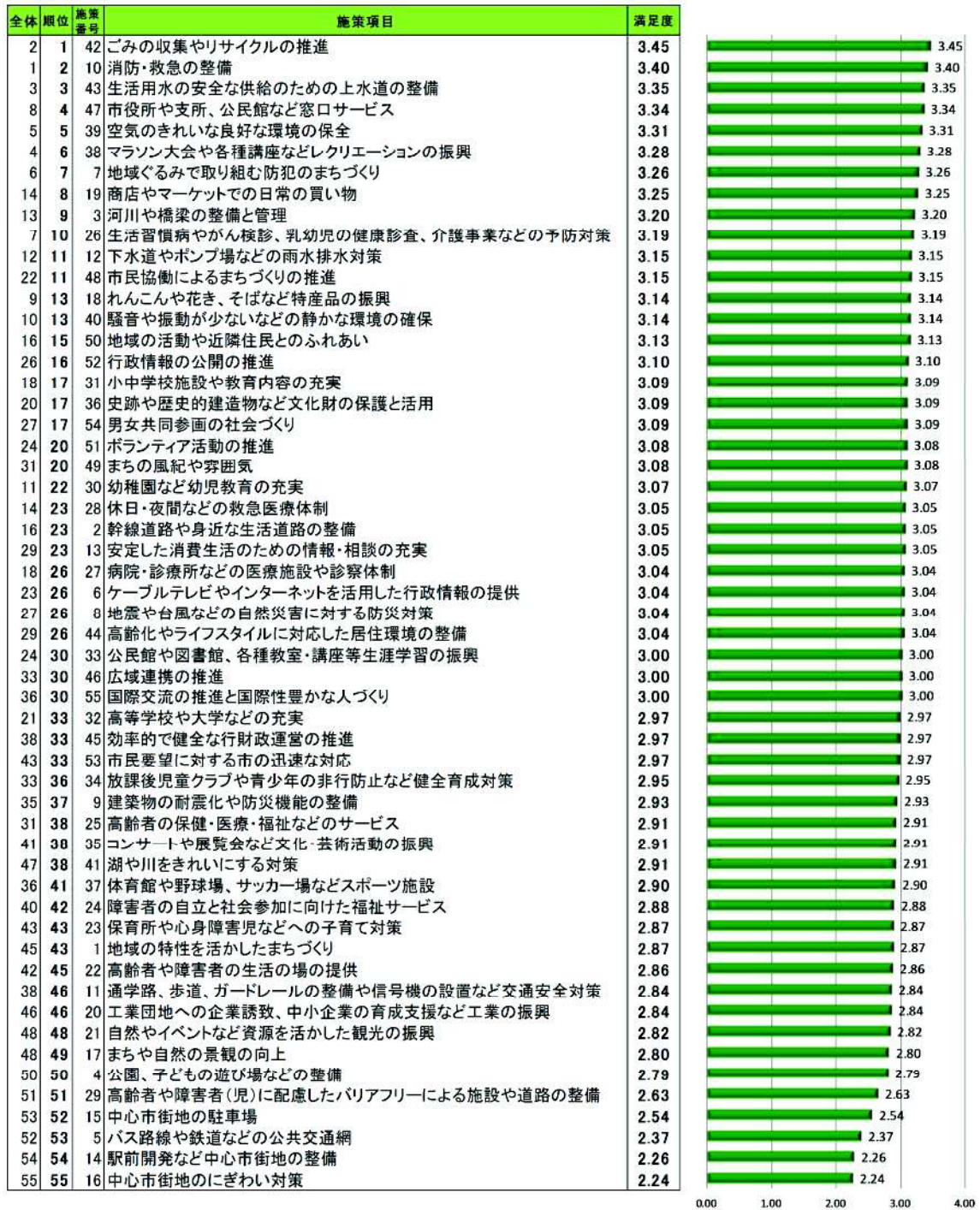


二中地区では、「バス路線や鉄道などの公共交通網」（全体 16 位）や「公園、子どもの遊び場などの整備」（全体 26 位）の順位が全体に比べて高い。

一方、「歩道の段差の解消など高齢者や障害者（児）に配慮したバリアフリーによる施設や道路の整備」（全体 9 位）の順位が全体に比べて低い。



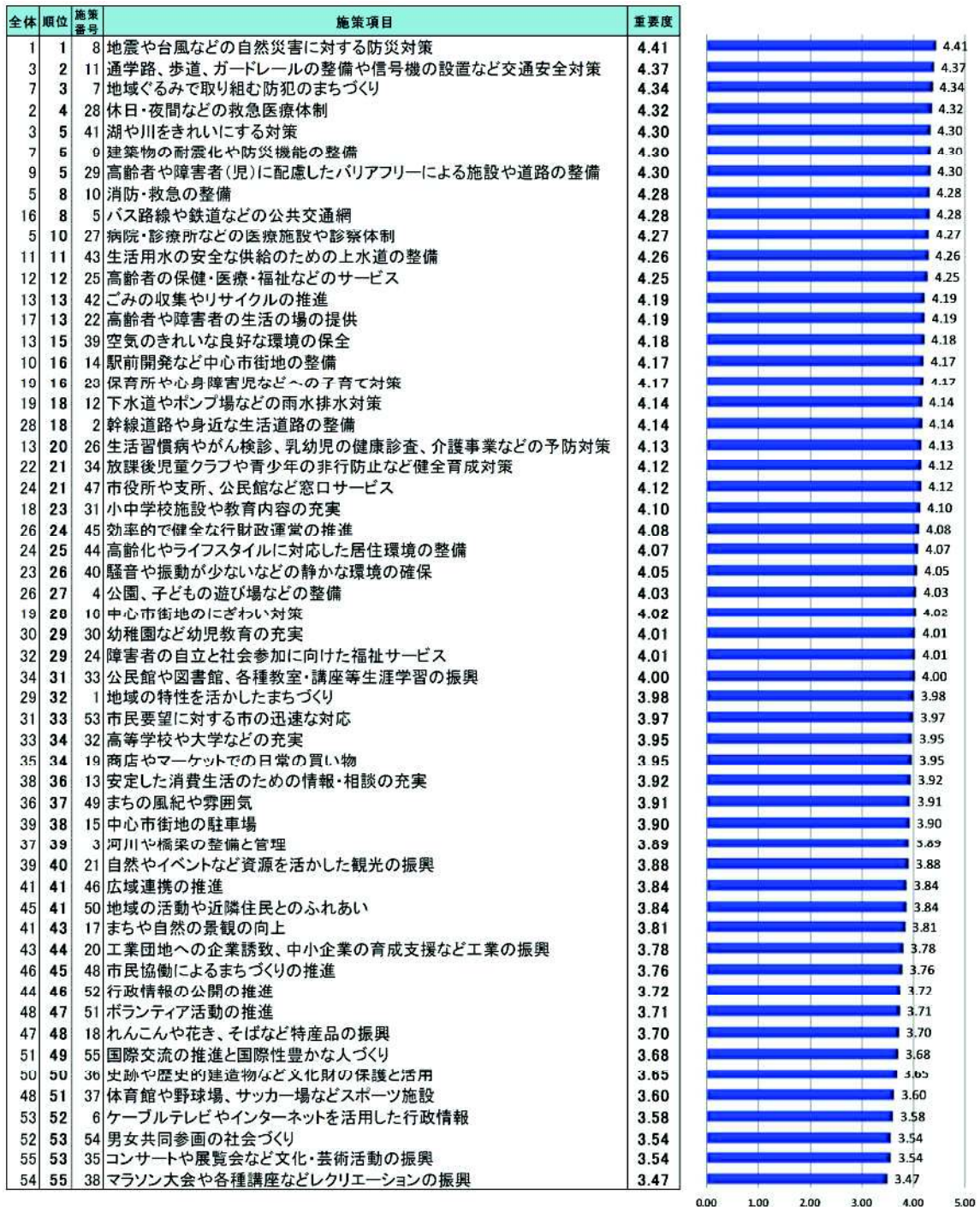
【三中地区・満足度】



三中地区では、「商店などでの日常の買い物」(全体 14 位)、「市民協働によるまちづくりの推進」(全体 22 位)、「まちの風紀や雰囲気」(全体 31 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「幼稚園など幼児教育の充実」(全体 11 位)、「休日・夜間などの救急医療体制」(全体 14 位)の順位が全体に比べて低い。

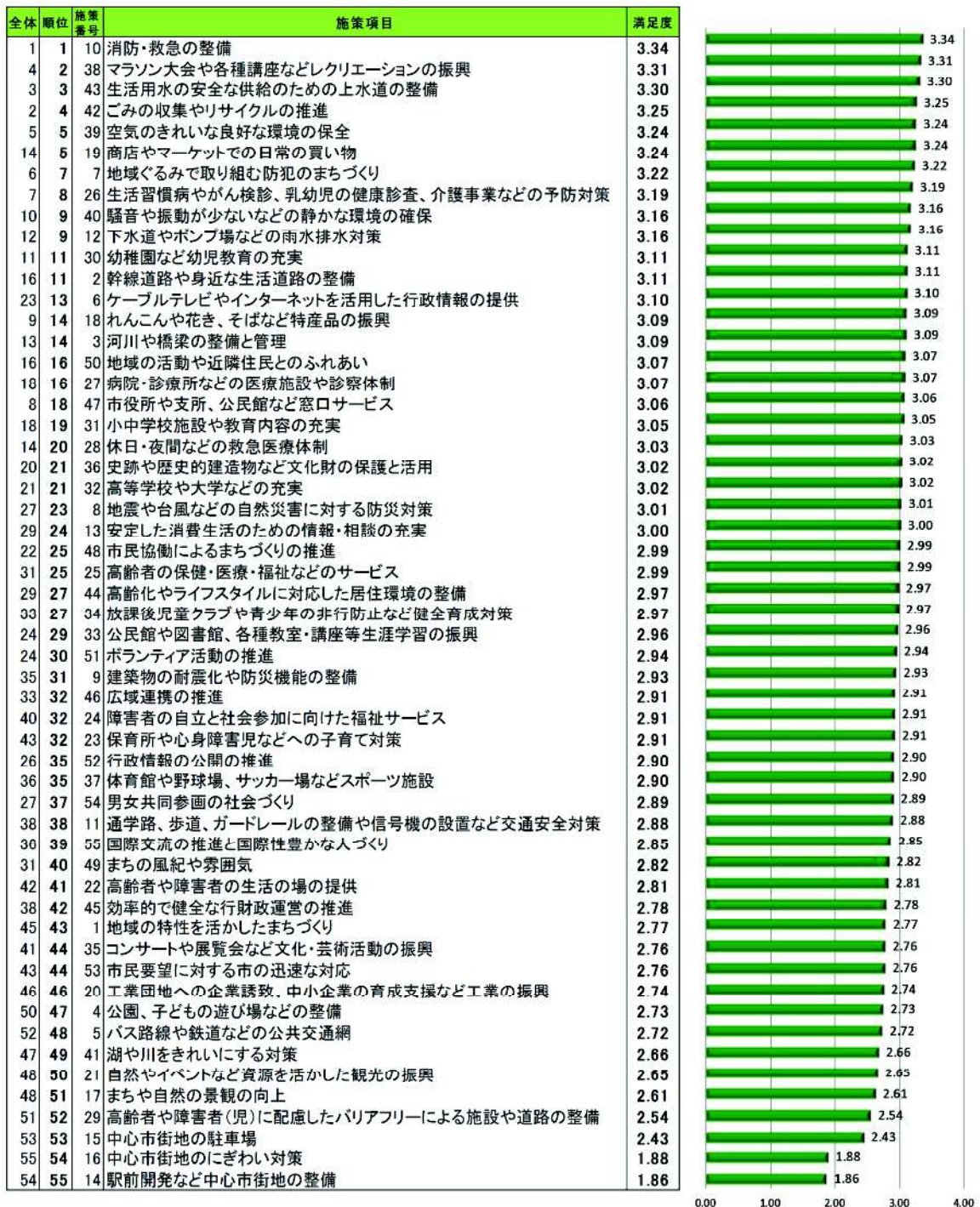
【三中地区・重要度】



三中地区では、「地域ぐるみで取り組む防犯のまちづくり」(全体7位)、「バス路線や鉄道などの公共交通網」(全体16位)、「幹線道路や身近な生活道路の整備」(全体28位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「病院等の医療施設や診療体制」(全体5位)、「生活習慣病やがん検診、乳幼児の健康診査、介護事業などの予防対策」(全体13位)の順位が全体に比べて低い。

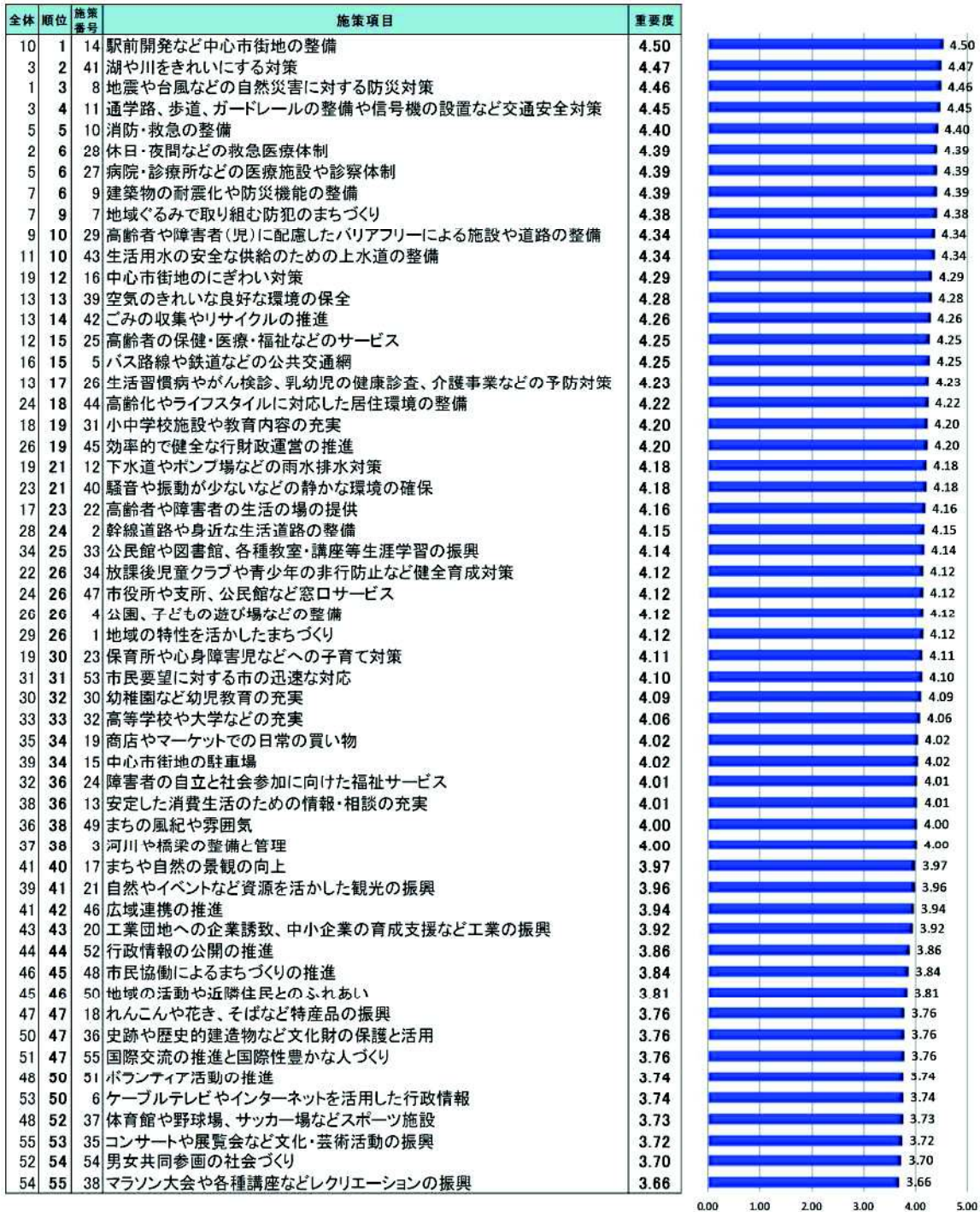
【四中地区・満足度】



四中地区では、「商店やマーケットでの日常の買い物」(全体 14 位)、「ケーブルテレビやインターネットを活用した行政情報の提供」(全体 23 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「れんこんや花き、そばなど特産品の振興」(全体 9 位)、「市役所や支所、公民館など窓口サービス」(全体 8 位)の順位が全体に比べて低い。

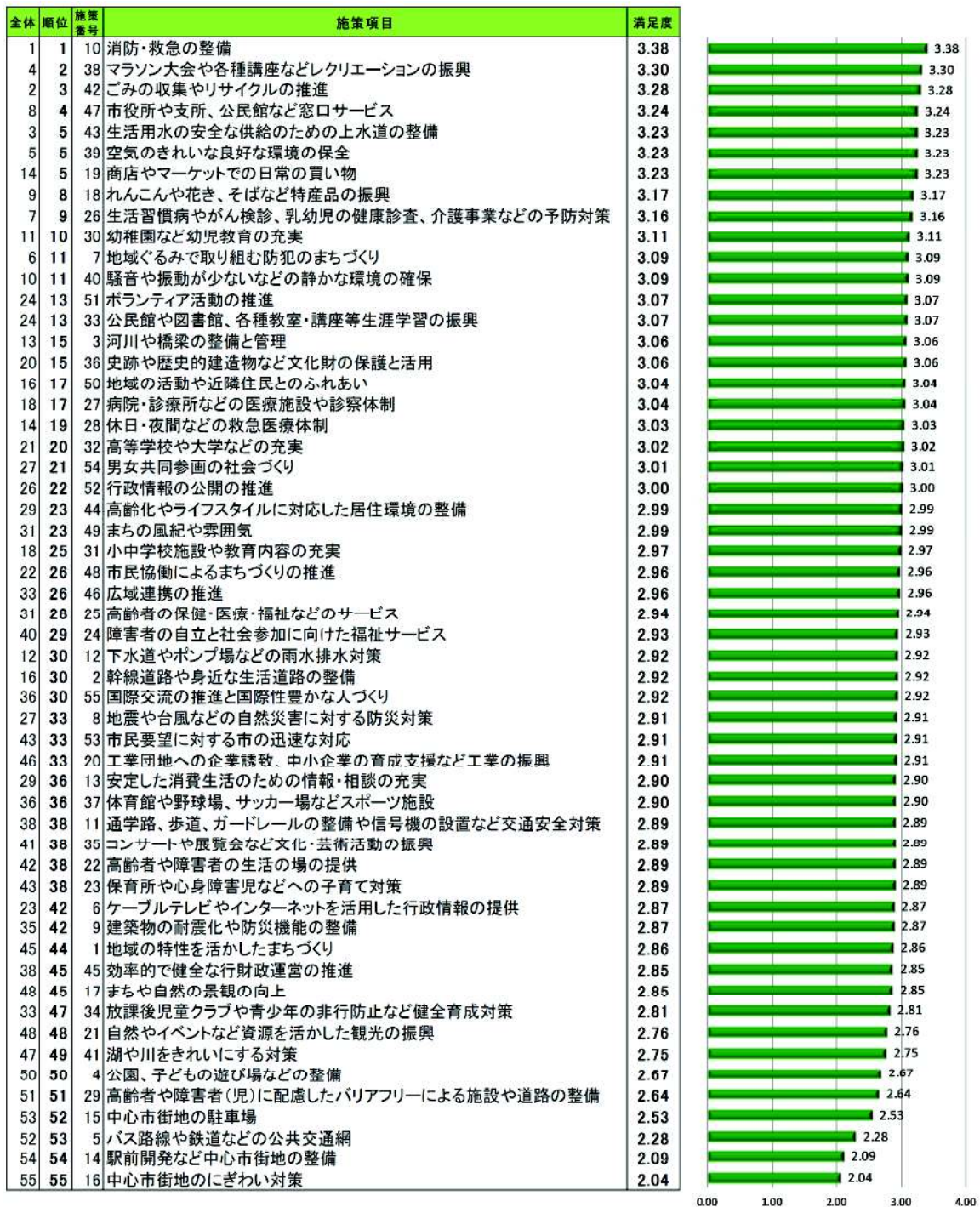
【四中地区・重要度】



四中地区では、「駅前開発など中心市街地の整備」(全体 10 位)、「高齢化やライフスタイルに対応した居住環境」(全体 24 位)、「中心市街地のにぎわい対策」(全体 19 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「高齢者や障害者の生活の場」(全体 17 位)の順位が全体に比べ低い。

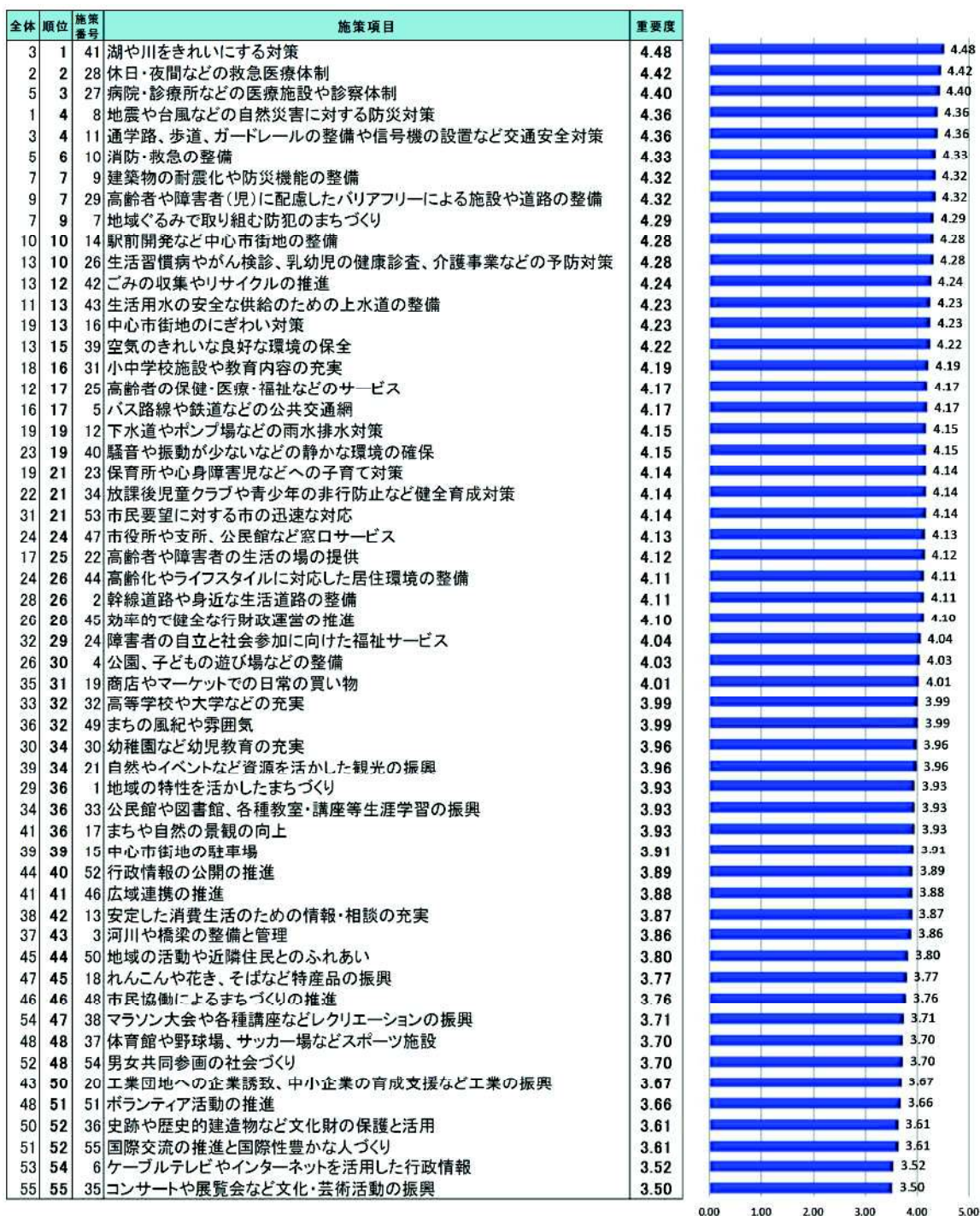
【五中地区・満足度】



五中地区では、「商店やマーケットでの日常の買い物」（全体 14 位）のほか、「公民館や図書館、各種教室講座等の振興」、「ボランティア活動の推進」（全体 24 位）の順位が全体と比べて高い。

一方、「地域ぐるみで取り組む防犯のまちづくり」（全体 6 位）、「下水道やポンプ場などの雨水排水対策」（全体 12 位）の順位が全体に比べて低い。

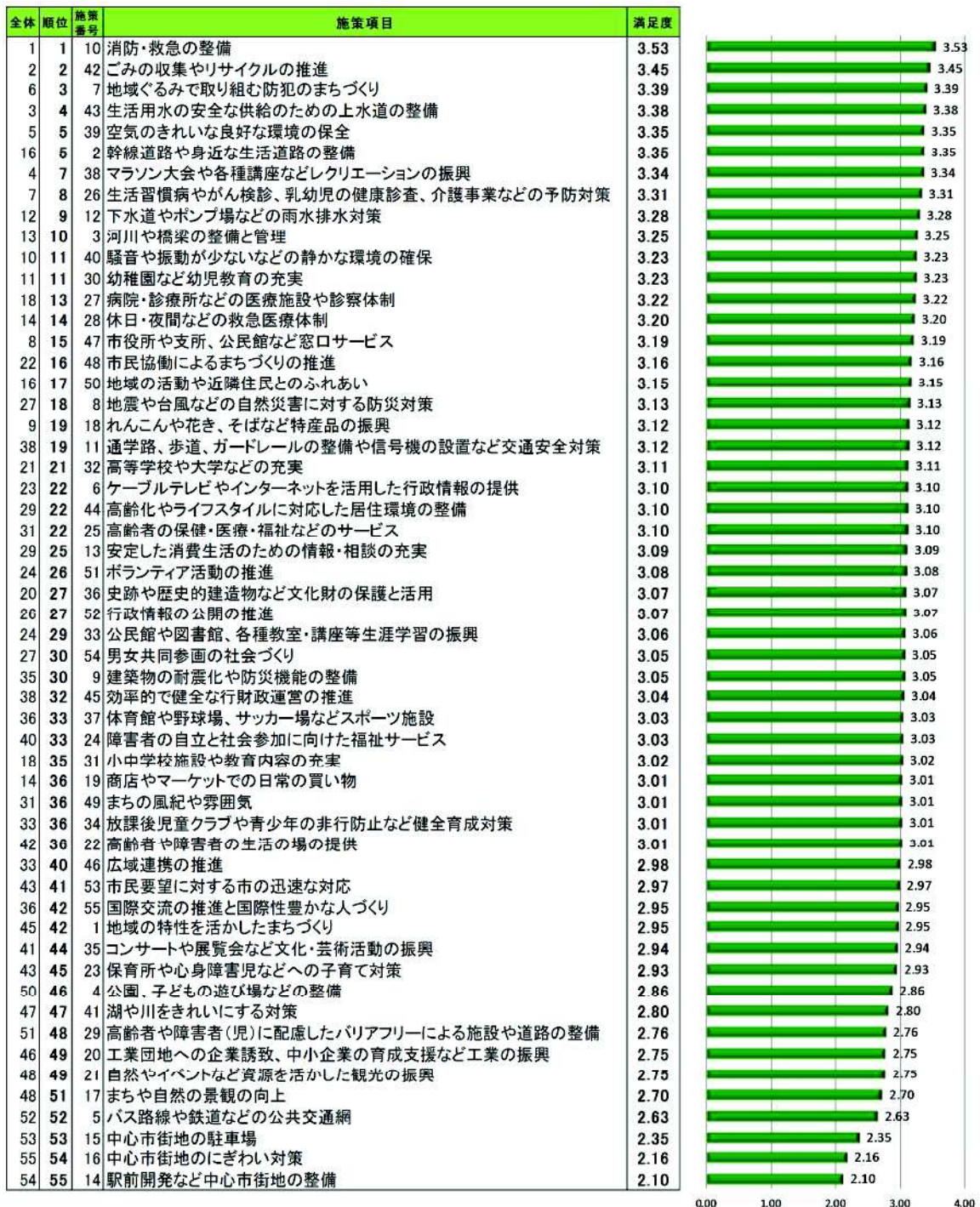
【五中地区・重要度】



五中地区では、「湖や川をきれいにする対策」（全体 3 位）、「病院等の医療施設や診察体制」（全体 5 位）の順位が全体に比べて高い。

一方、「高齢者の保健・医療・福祉サービス」（全体 12 位）、「高齢者や障害者の生活の場」（全体 17 位）の順位が全体に比べて低い。

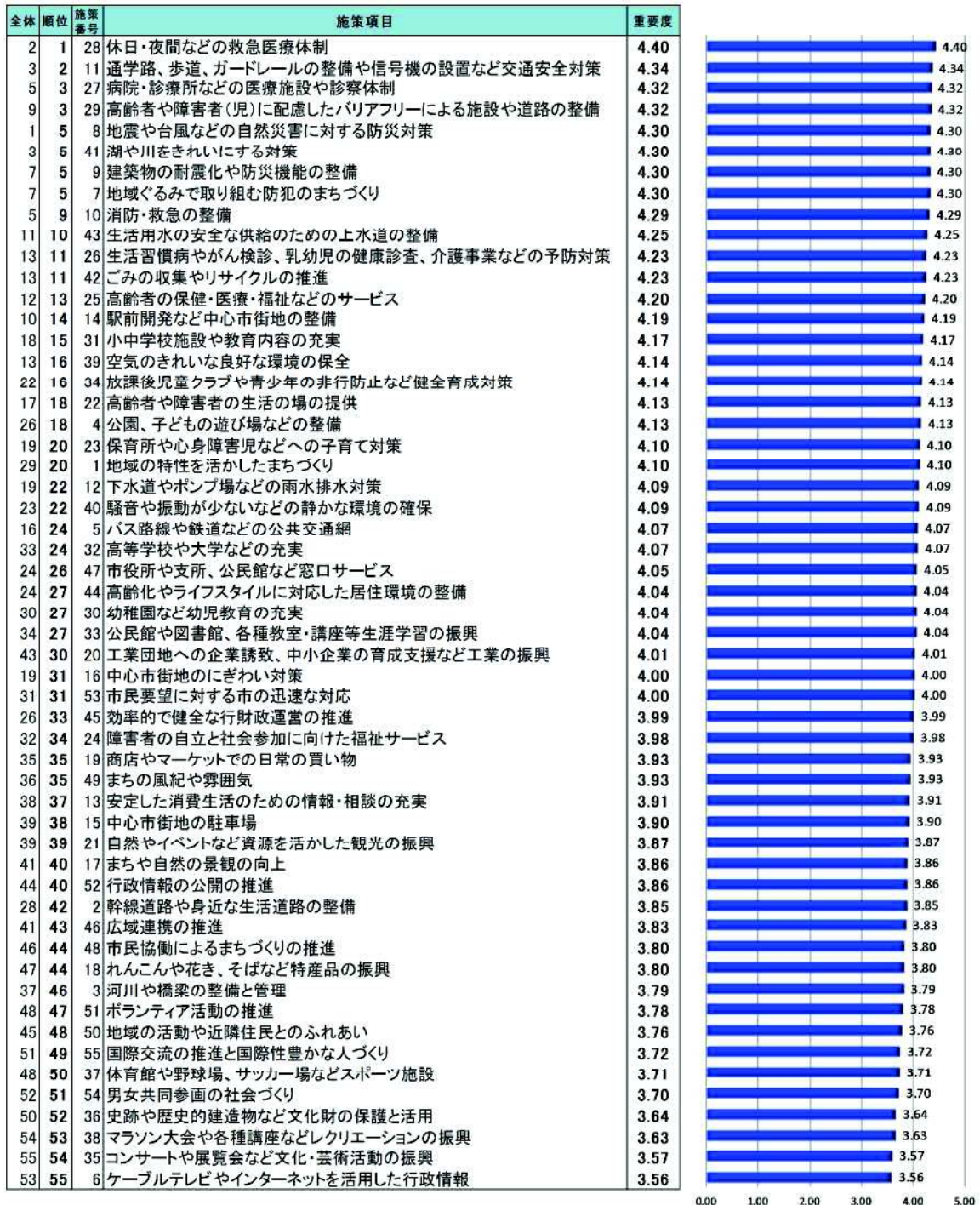
【六中地区・満足度】



六中地区では、「幹線道路や身近な生活道路の整備」(全体 16 位)、「市民協働によるまちづくり」(全体 22 位)、「自然災害に対する防災対策」(全体 27 位)、「通学路等の整備等の交通安全対策」(全体 38 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「市役所や支所等の窓口サービス」(全体 8 位)、「れんこん等の特産品の振興」(全体 9 位)の順位は全体に比べて低い。

【六中地区・重要度】

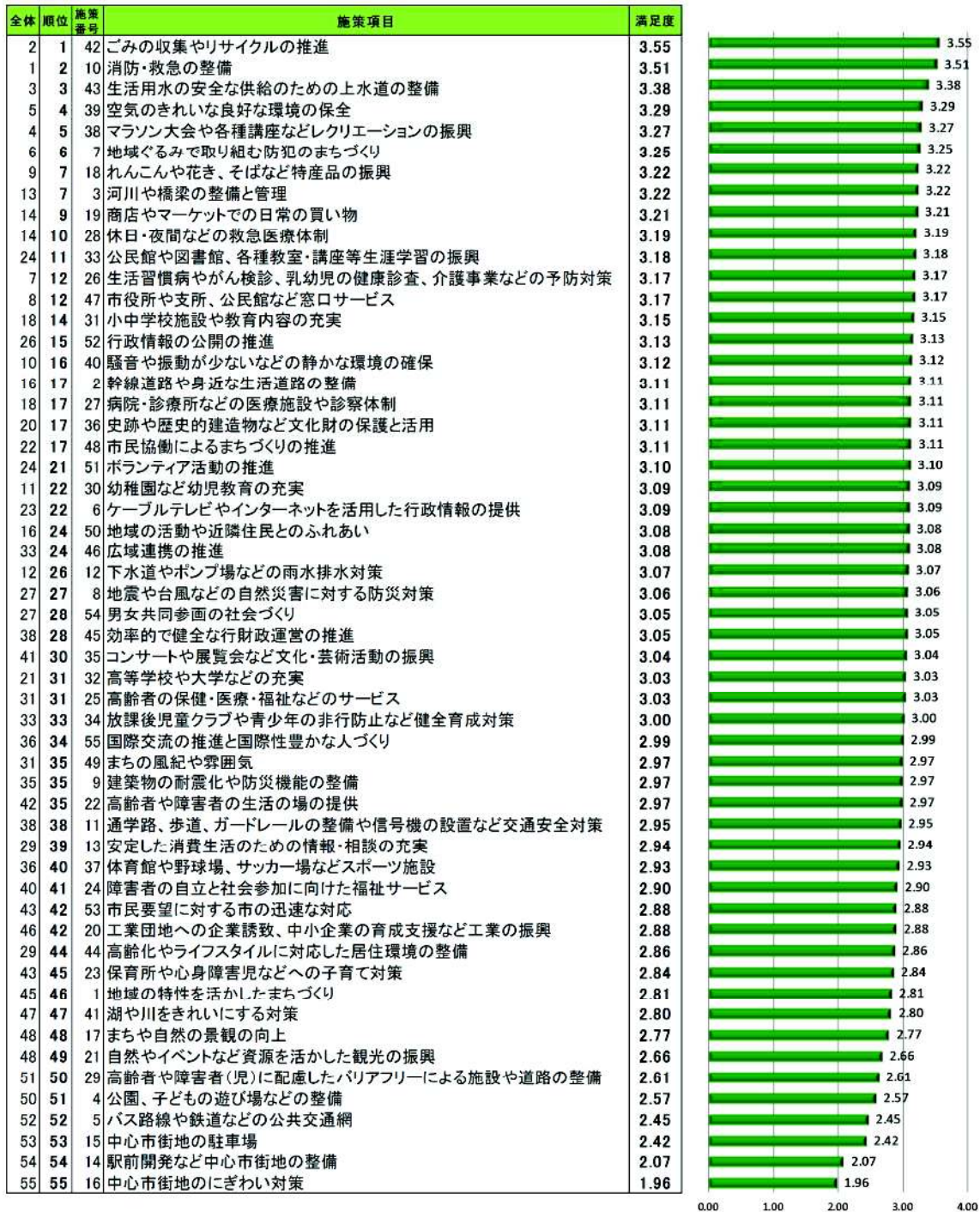


六中地区では、上位 10 施策の内容は全体とほぼ変わらないが、「バリアフリーによる施設、道路の整備」(全体 9 位)、「地域ぐるみで取り組む防犯のまちづくり」(全体 7 位)、「放課後児童クラブ等の健全育成対策」(全体 22 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「幹線道路の整備や身近な生活道路の整備」(全体 28 位)の順位が全体に比べて低い。



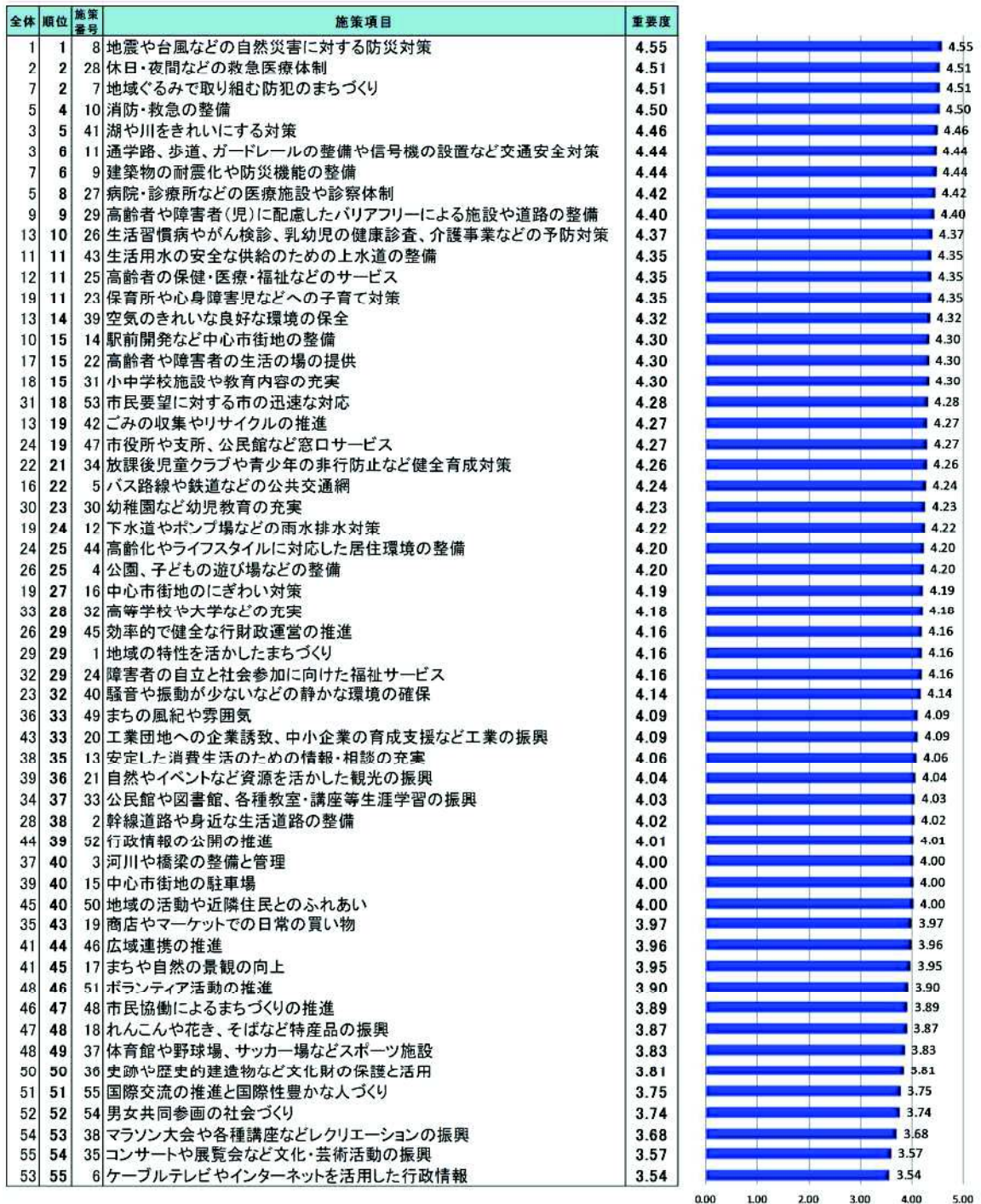
【都和中地区・満足度】



都和中地区では、「公民館や図書館等生涯学習の振興」（全体 24 位）や「行政情報の公開」（全体 26 位）の順位が全体に比べて高い。

一方、「幼稚園など幼児教育の充実」（全体 11 位）や「下水道やポンプ場などの雨水排水対策」（全体 12 位）の順位が全体に比べて低い。

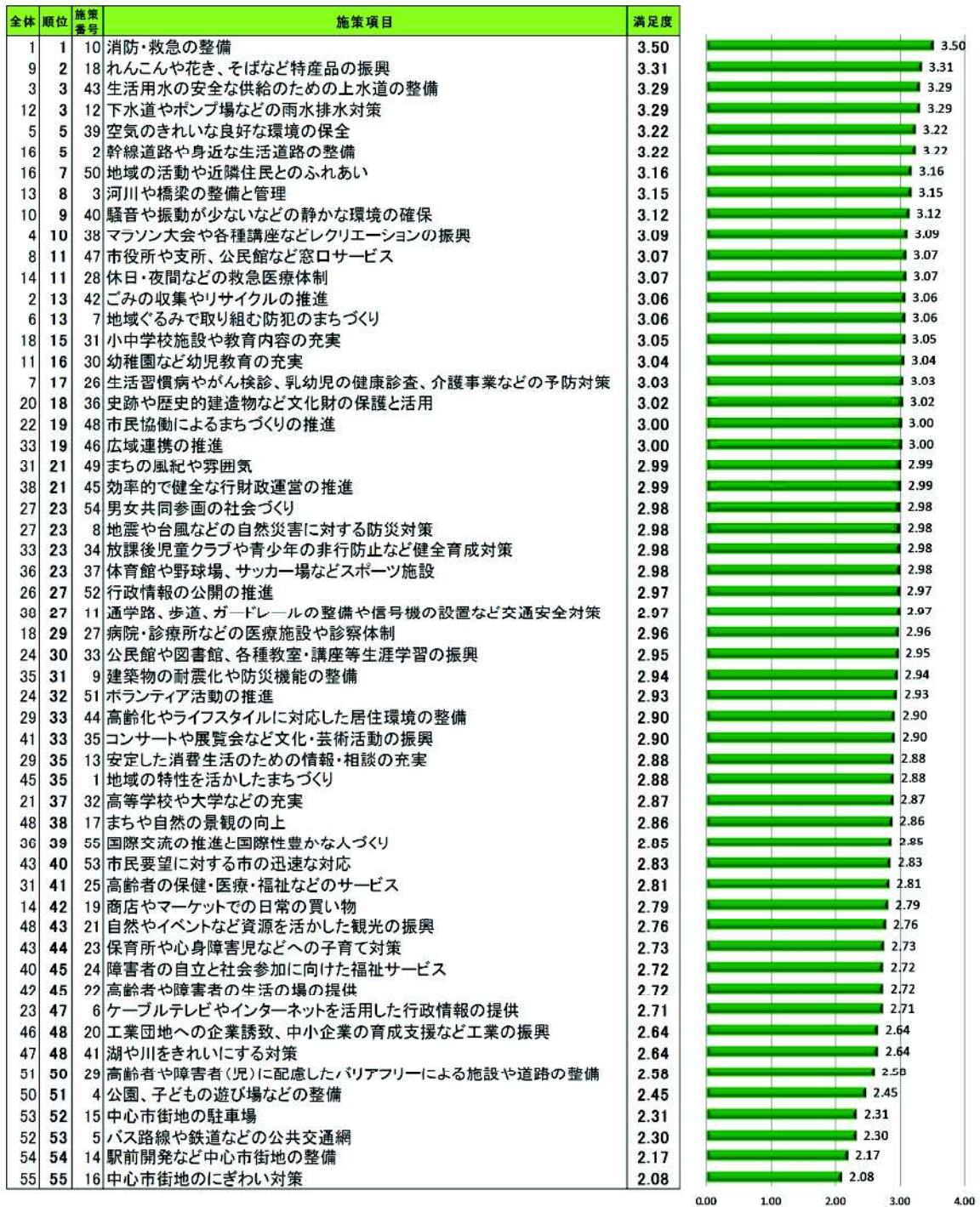
【都和中地区・重要度】



都和中地区では、「地域ぐるみで取り組む防犯のまちづくり」(全体7位)、「保育所や心身障害児などへの子育て対策」(全体19位)、「市民要望に対する市の迅速な対応」(全体31位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「駅前開発など中心市街地の整備」(全体10位)の順位が全体に比べて低い。

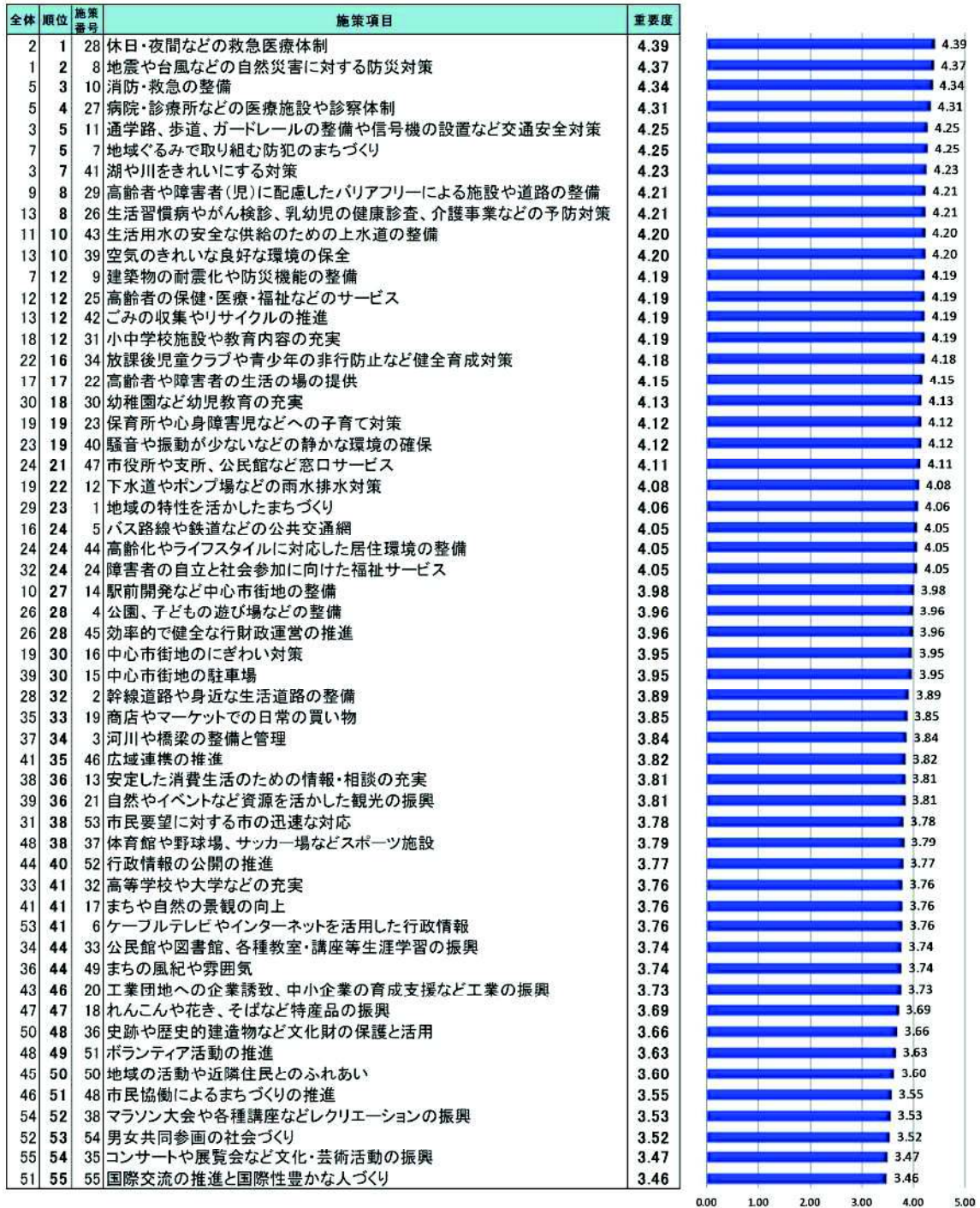
【新治中地区・満足度】



新治中地区では、「れんこんや花き、そばなどの特産品の振興」(全体9位)、「下水道やポンプ場などの雨水対策」(全体12位)、「幹線道路や身近な生活道路の整備」(全体16位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「商店等での日常の買い物」(全体14位)、「ケーブルテレビやインターネットを活用した行政情報の提供」(全体23位)の順位が全体に比べて低い。

【新治中地区・重要度】

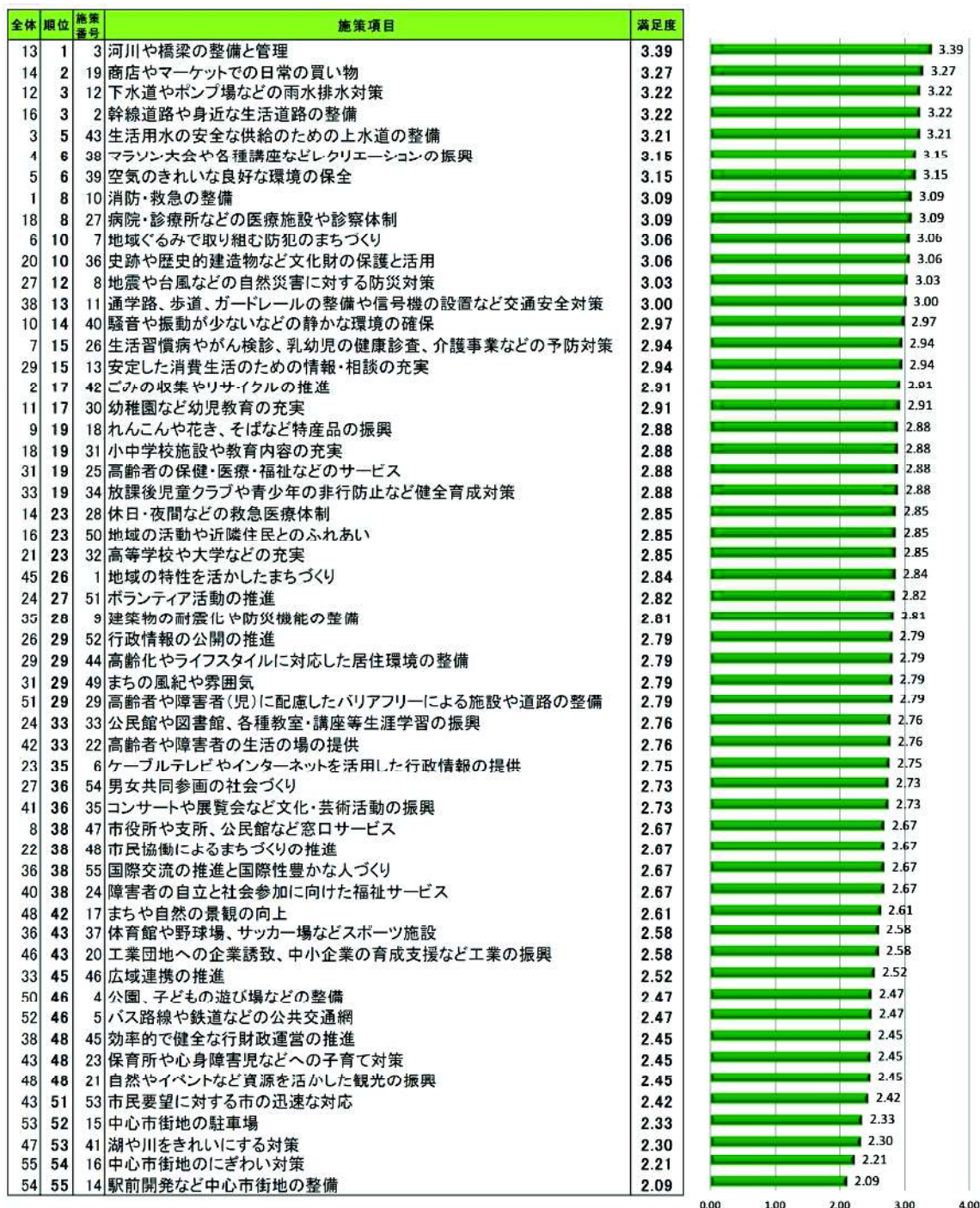


新治中地区では、「生活習慣病等の健康診査，介護事業などの予防対策」（全体 13 位），「幼稚園など幼児教育の充実」（全体 30 位）の順位が全体と比較して高い。

一方、「中心市街地の整備」（全体 10 位）、「中心市街地のにぎわい対策」（全体 19 位）の順位が全体に比べ低い。

(5) 施策の満足度・重要度（年齢別）

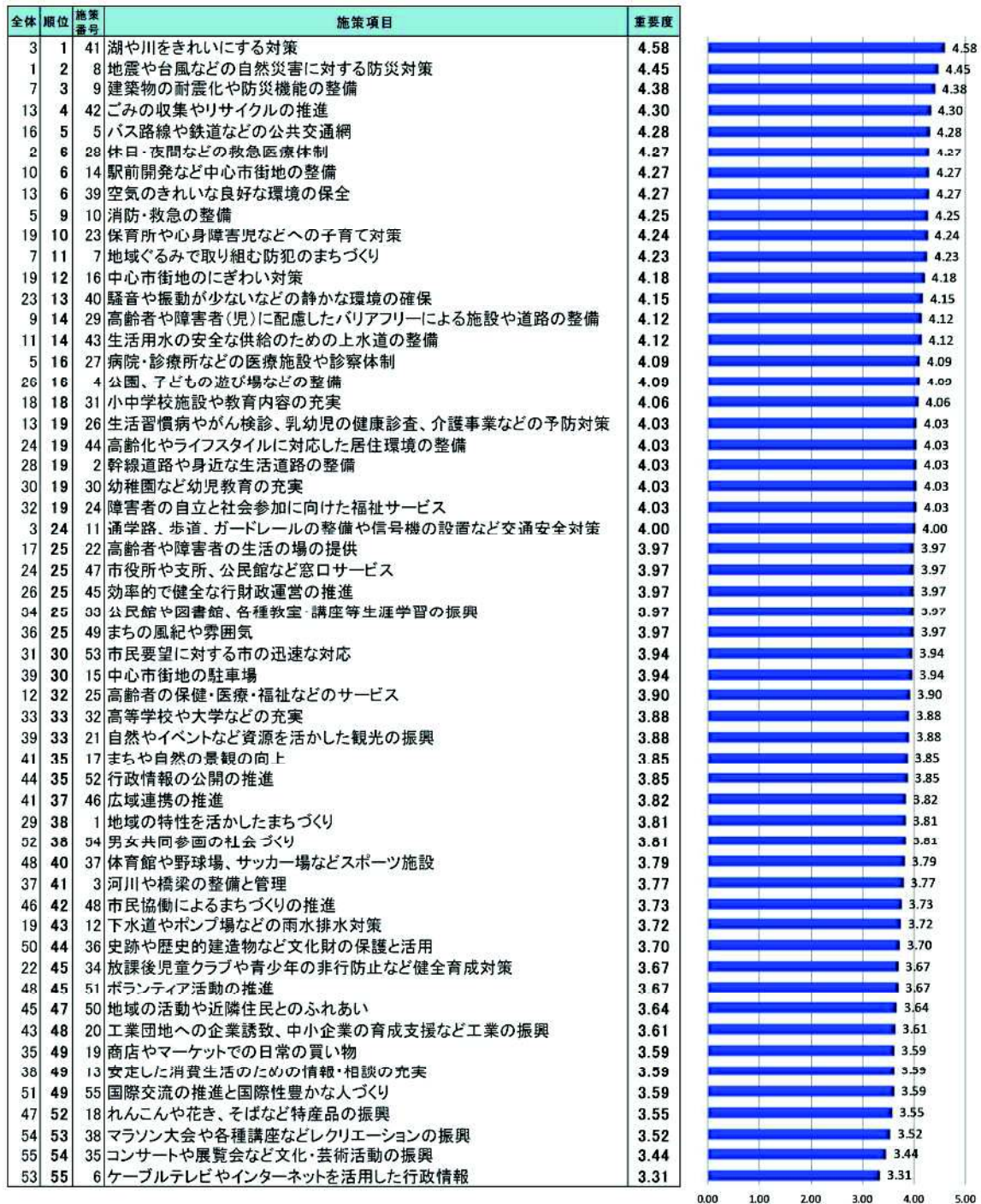
【20～24 歳・満足度】



20～24 歳では、「河川や橋梁の整備と管理」（全体 13 位）、「幹線道路や身近な生活道路の整備」（全体 16 位）の順位が全体に比べて高い。

一方、「ごみの収集やリサイクルの推進」（全体 2 位）、「生活習慣病やがん検診、乳幼児の健康診査、介護事業などの予防対策」（全体 7 位）、「市役所等の窓口サービス」（全体 8 位）の順位が全体に比べて低い。

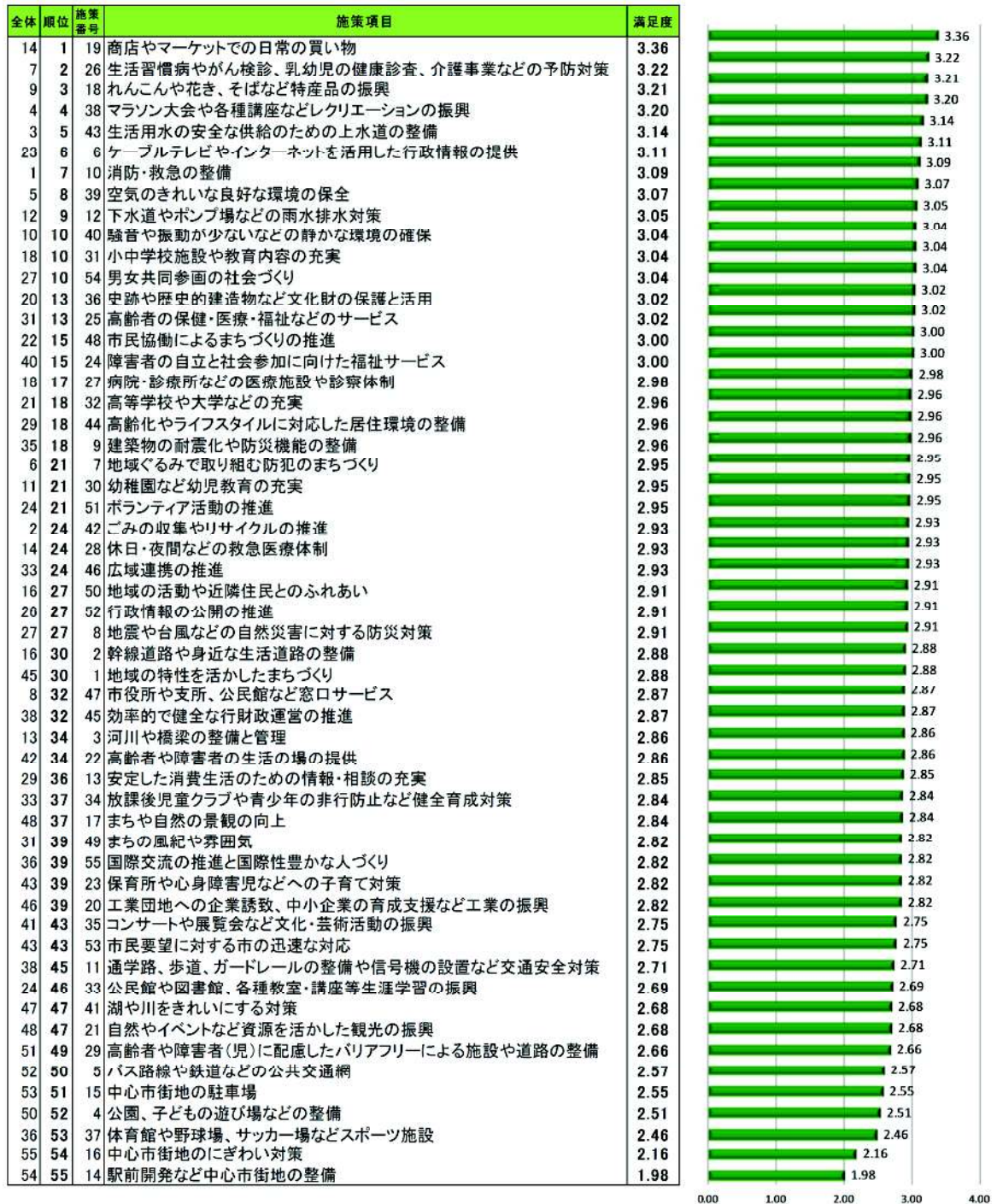
【20～24 歳・重要度】



20～24 歳では、「保育所や心身障害児などへの子育て支援」（全体 19 位）、「バスや鉄道などの公共交通網」（全体 16 位）の順位が全体と比べて高い

一方、「下水道やポンプ場などの雨水排水対策」（全体 19 位）、「商店やマーケットでの日常の買い物」（全体 35 位）の順位が全体に比べて低い。

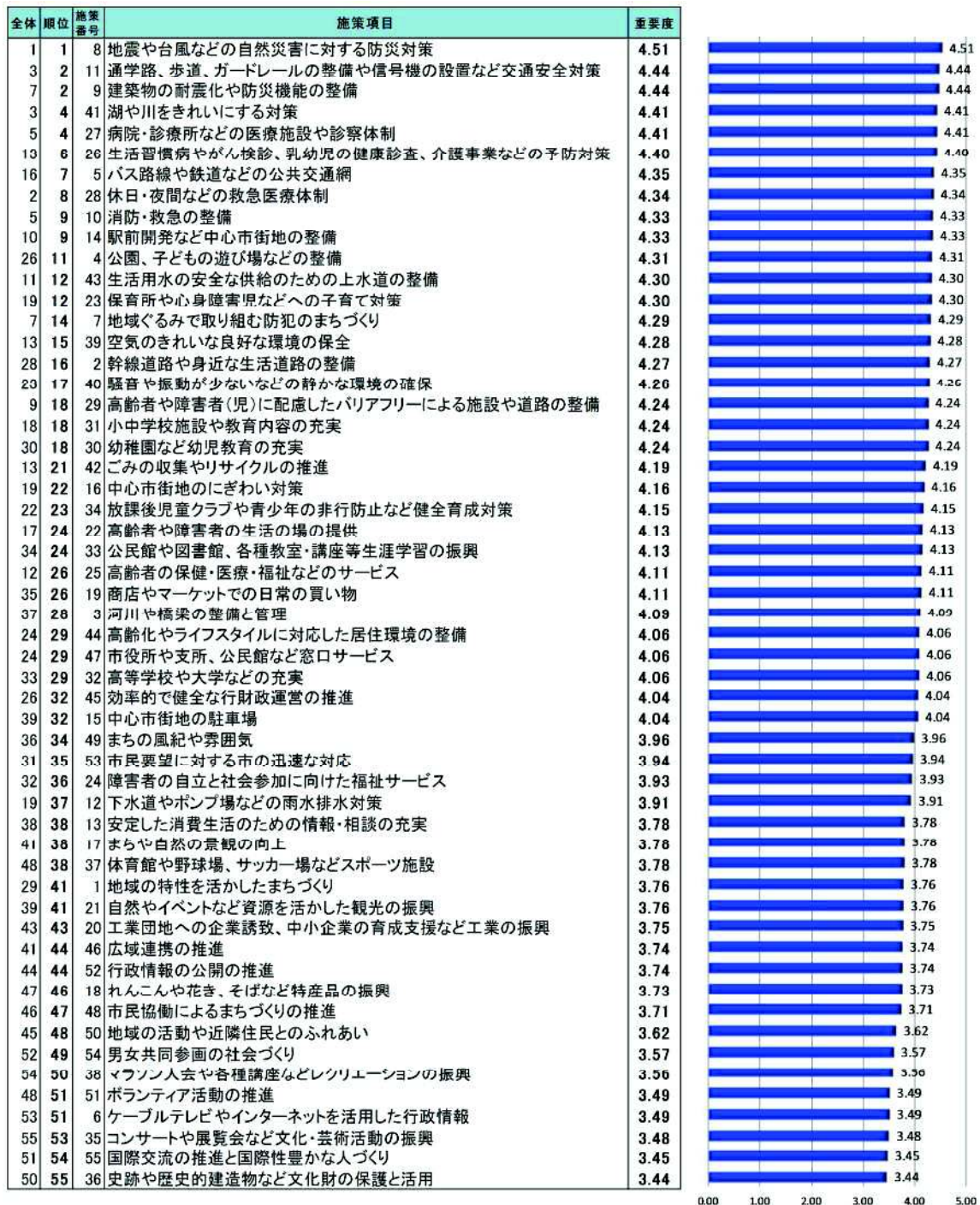
【25～29 歳・満足度】



25～29 歳では、「商店などでの日常の買い物」(全体 14 位)、「ケーブルテレビやインターネットを活用した行政情報の提供」(全体 23 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「地域ぐるみで取り組む防犯のまちづくり」(全体 6 位)、「ごみの収集、リサイクルの推進」(全体 2 位)、「市役所等の窓口サービス」(全体 8 位)の順位が全体に比べて低い。

【25～29 歳・重要度】

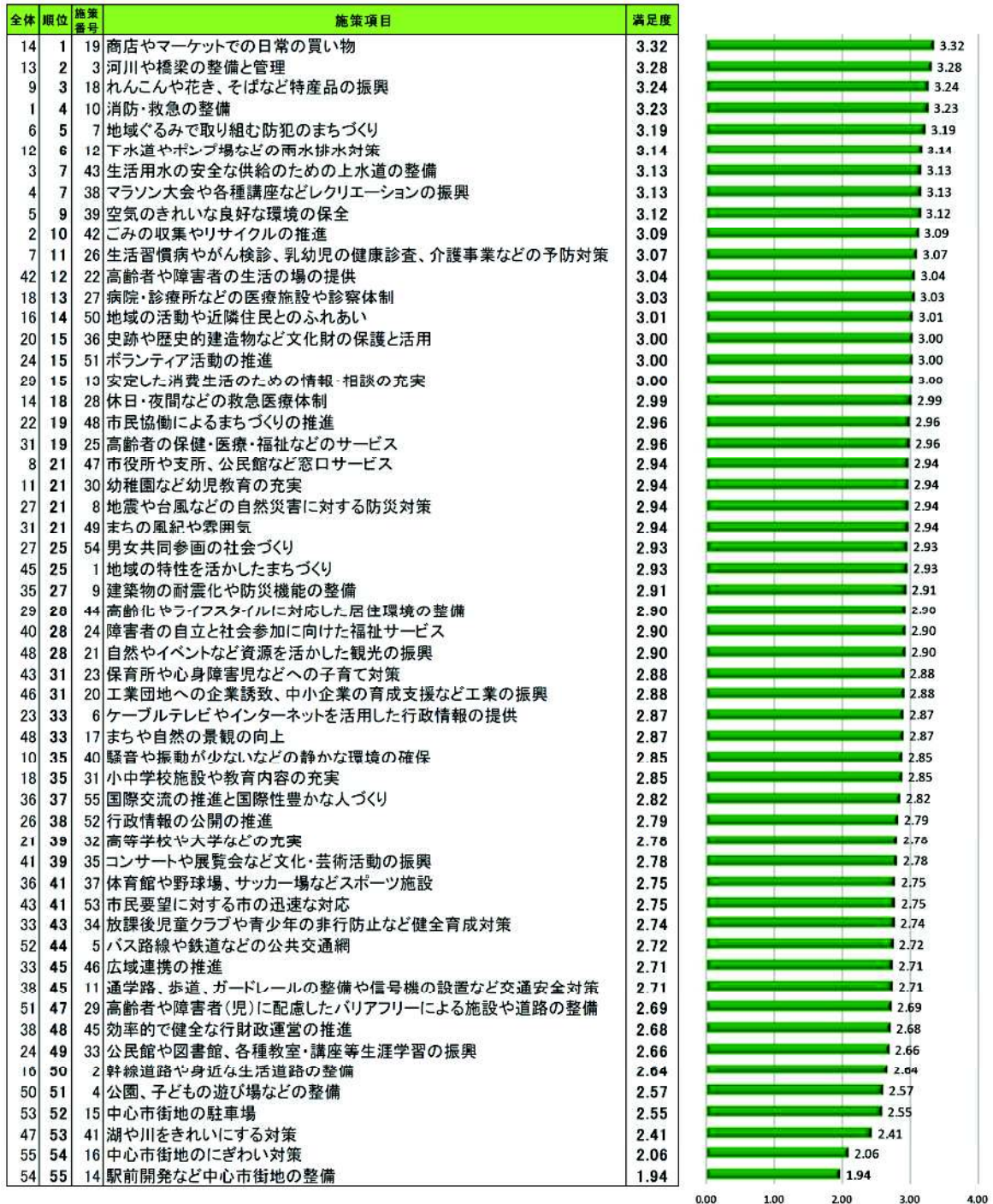


25～29 歳では、「保育所や心身障害児などへの子育て対策」（全体 19 位）、「公園、子どもの遊び場などの整備」（全体 26 位）、「幼稚園など幼児教育の充実」（全体 30 位）の順位が全体に比べて高い。

一方、「地域ぐるみで取り組む防犯のまちづくり」（全体 7 位）、「バリアフリーによる施設や道路の整備」（全体 9 位）の順位が全体に比べて低い。



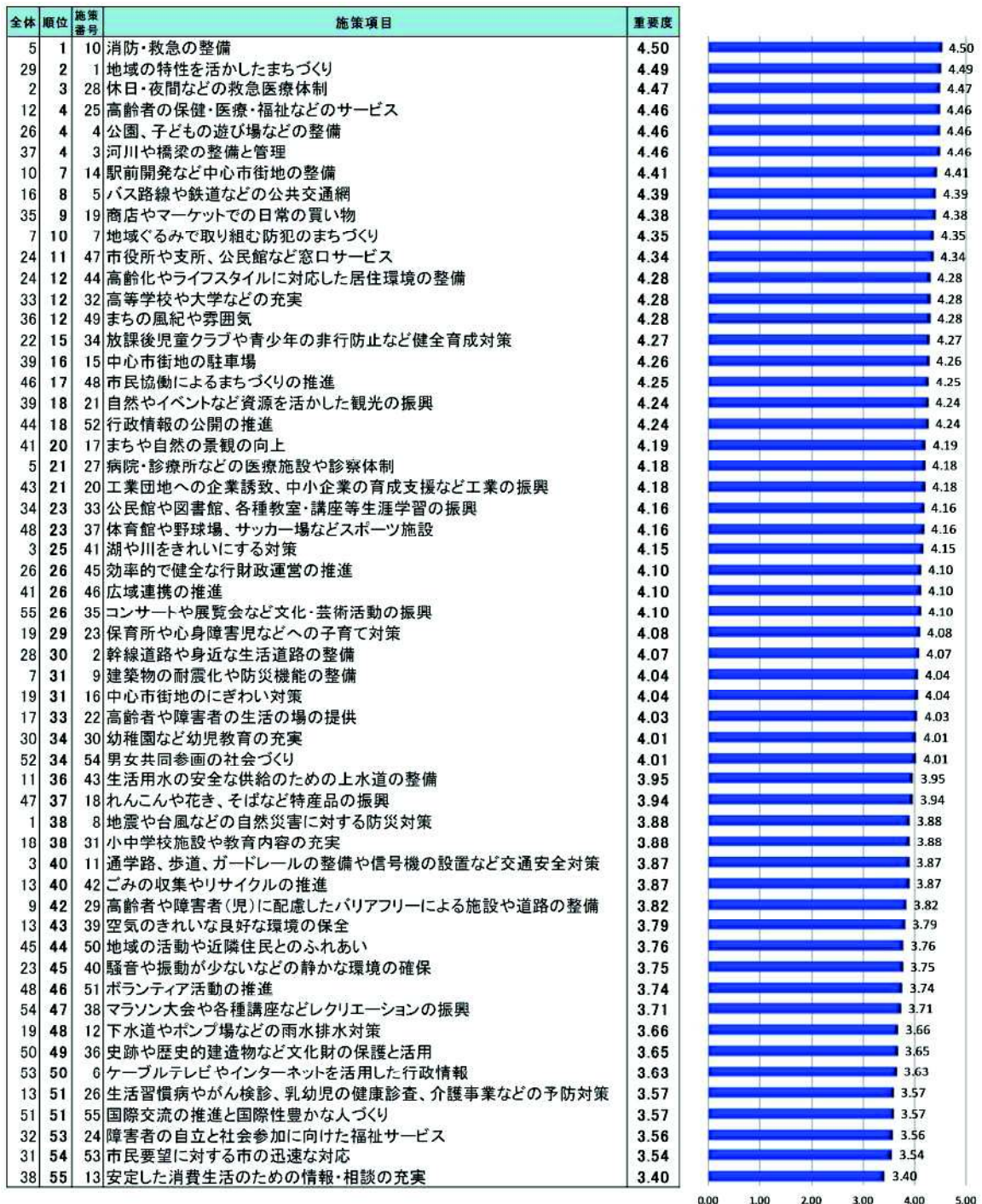
【30～34 歳・満足度】



30～34 歳では、「商店等での日常の買い物」(全体 14 位)、「河川や橋梁の整備と管理」(全体 13 位) の順位が全体に比べて高い。

一方、「市役所等での窓口サービス」(全体 8 位)、「幹線道路や身近な生活道路の整備」(全体 16 位) の順位が全体に比べて低い。

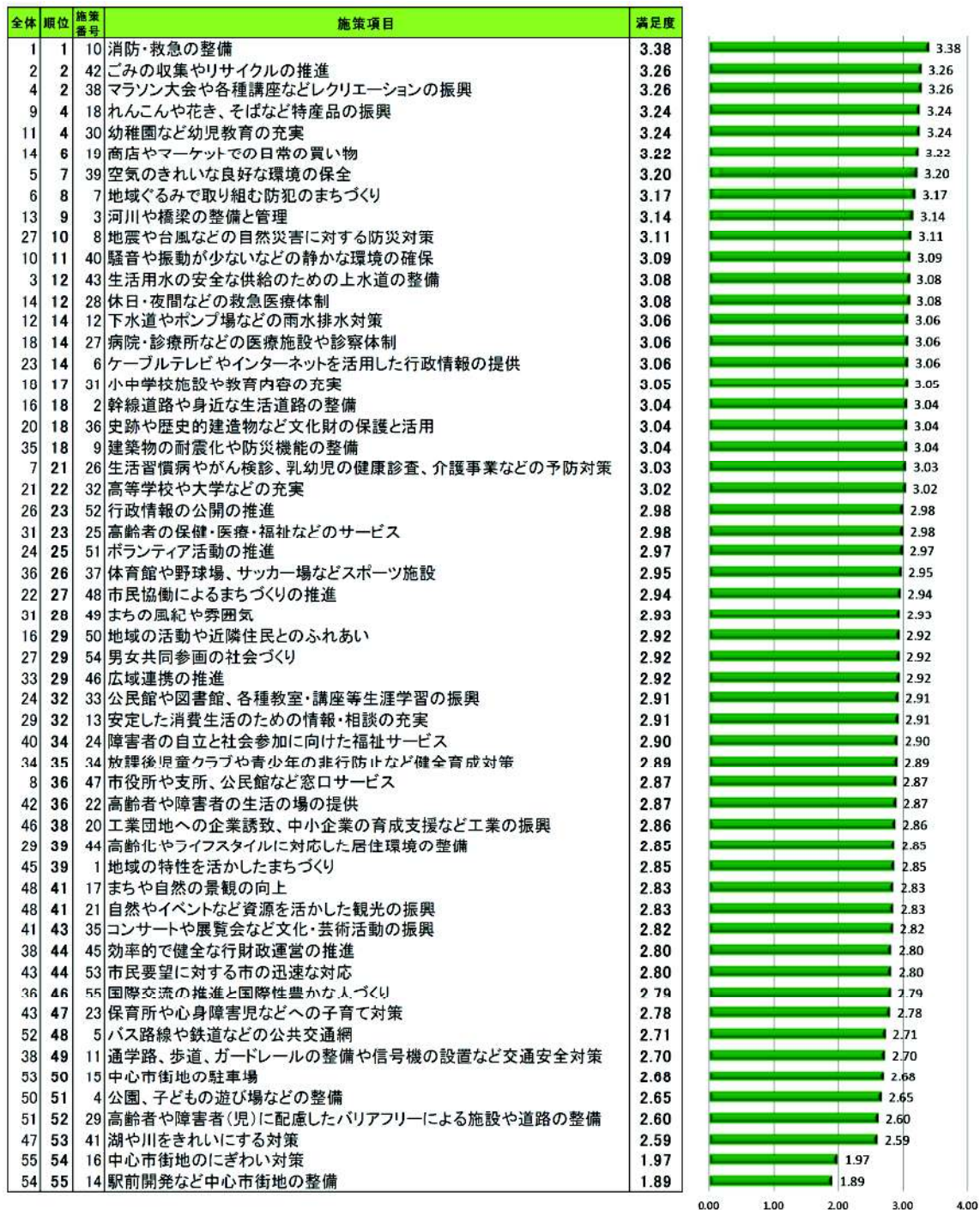
【30～34 歳・重要度】



30～34 歳では、「河川・橋梁の整備」(全体 37 位)、「日常の買い物」(全体 35 位)、「特色を活かしたまちづくり」(全体 29 位)、「子どもの遊び場」(全体 26 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「自然災害に対する防災対策」(全体 1 位)、「交通安全対策」(全体 3 位)、「バリアフリーによる整備」(全体 9 位)の順位が全体に比べて低い。

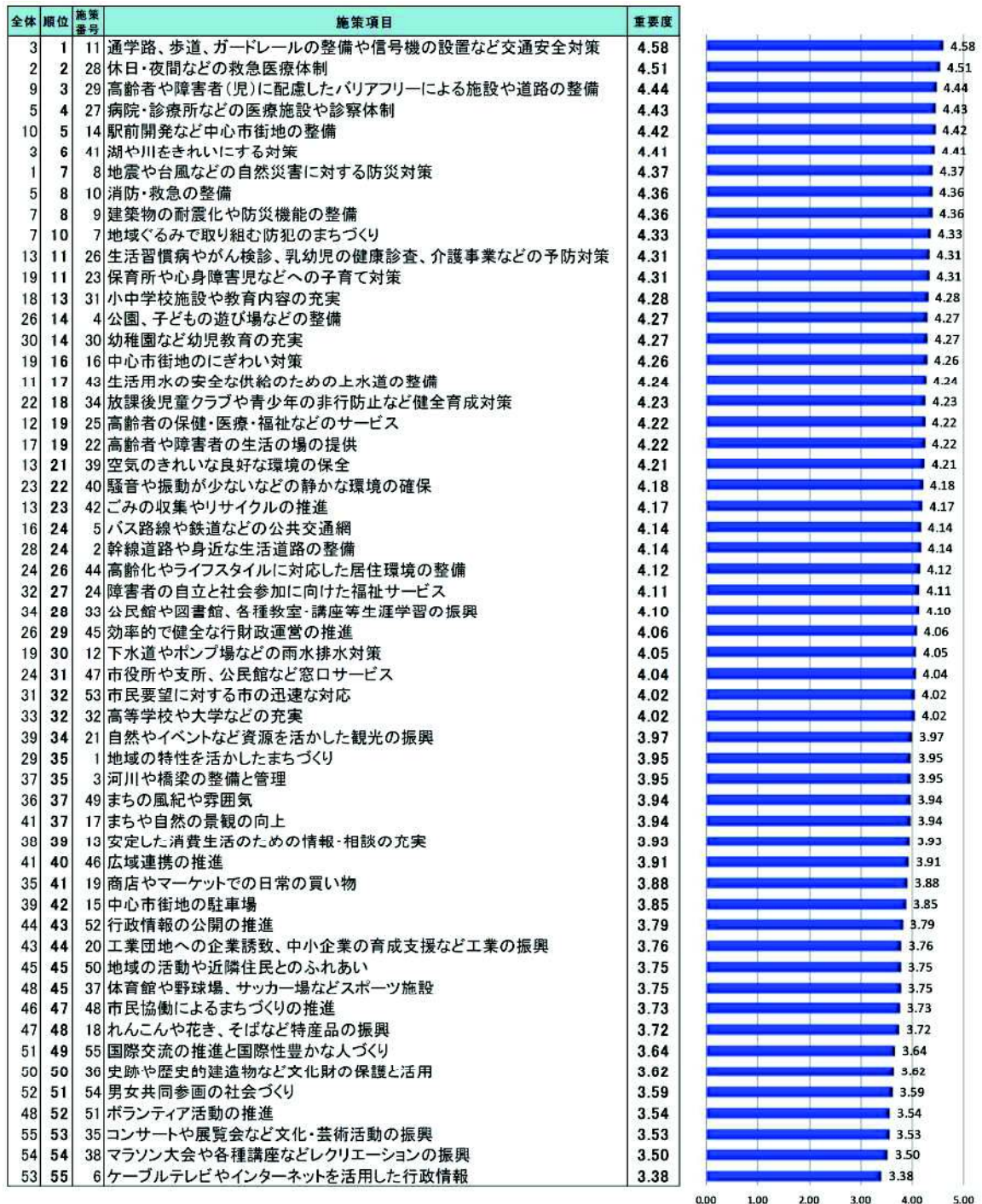
【35～39 歳・満足度】



35～39 歳では、「幼児教育の充実」(全体 11 位)、「商店等での日常の買い物」(全体 14 位)、「河川や橋梁の整備と管理」(全体 13 位)、「自然災害に対する防災対策」(全体 27 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「通学路の交通安全対策」(全体 38 位)、「居住環境の整備」(全体 29 位)の順位が全体に比べて低い。

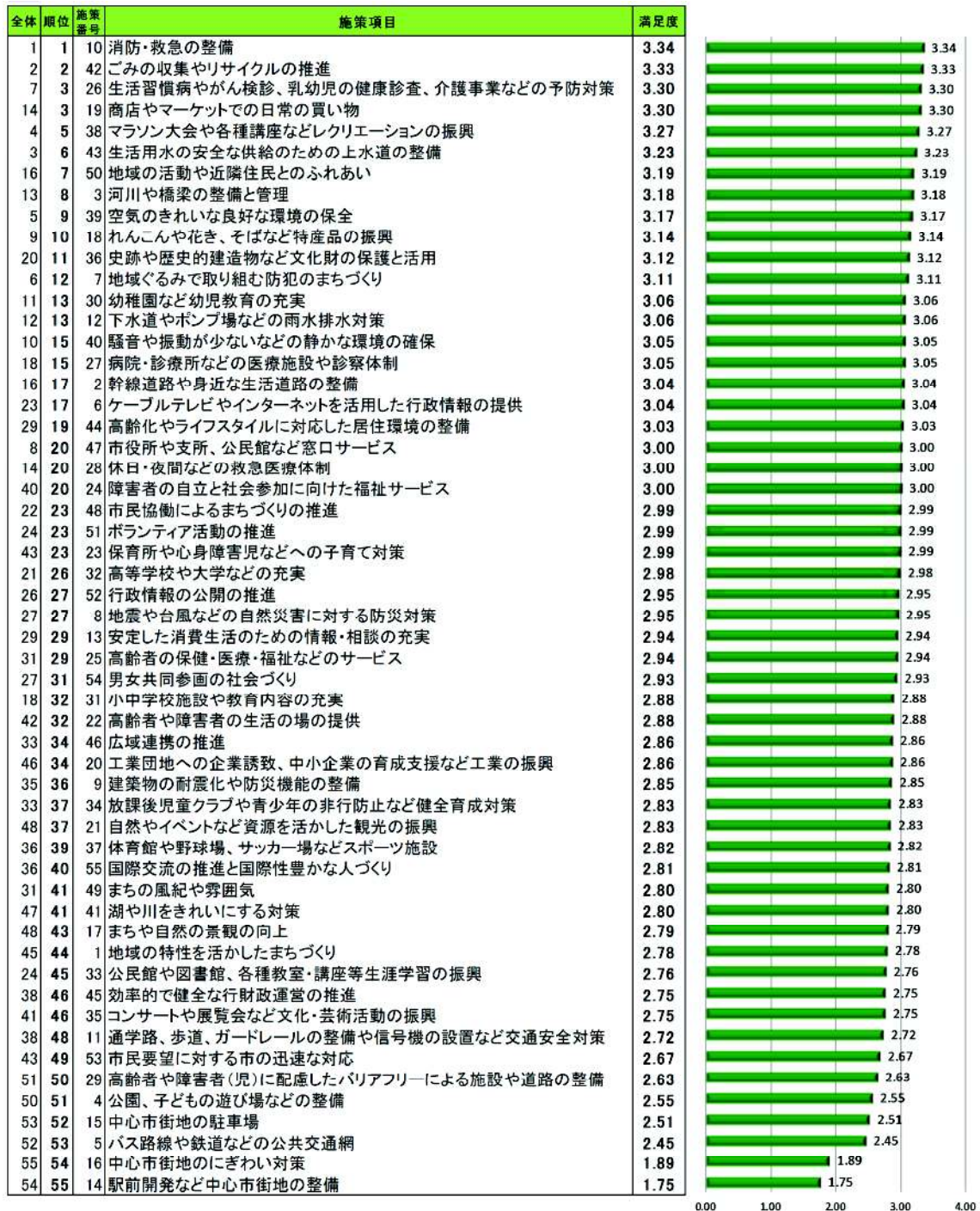
【35～39歳・重要度】



35～39歳では、「バリアフリーによる施設や道路の整備」(全体9位)、「公園、子どもの遊び場などの整備」(全体26位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「上水道の整備」(全体11位)、「雨水排水対策」(全体19位)、「公共交通網」(全体16位)、「リサイクルの推進」(全体13位)、「良好な環境の保全」(全体13位)、「高齢者の医療等サービス」(全体12位)の順位が全体に比べて低い。

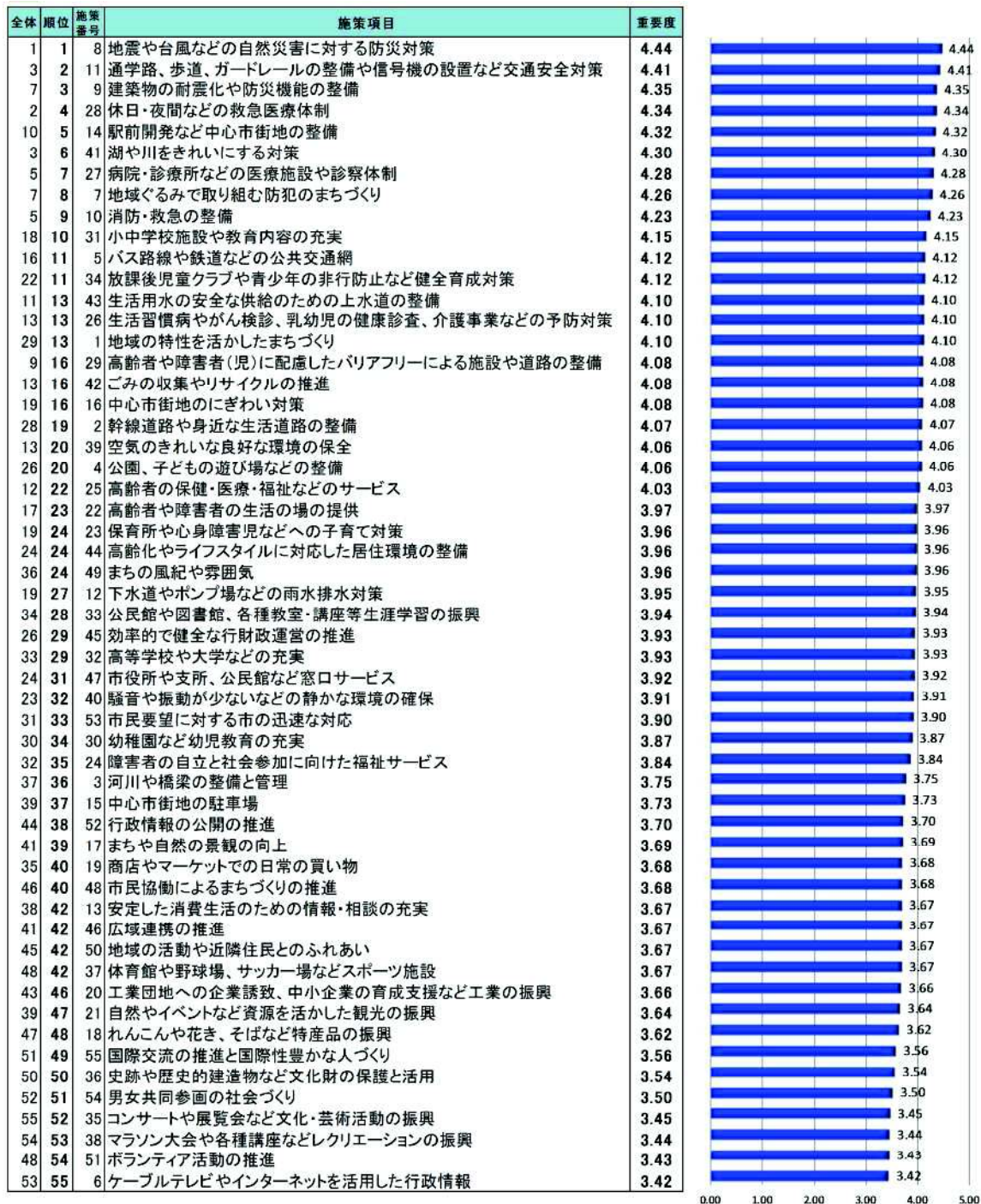
【40～44 歳・満足度】



40～44 歳では、「商店等での日常の買い物」(全体 14 位)、「地域の活動」(全体 16 位)、「河川や橋梁の整備と管理」(全体 13 位)、「文化財の保護と活用」(全体 20 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「市役所などの窓口サービス」(全体 8 位)、「小中学校施設や教育内容の充実」(全体 18 位)の順位は全体に比べて低い。

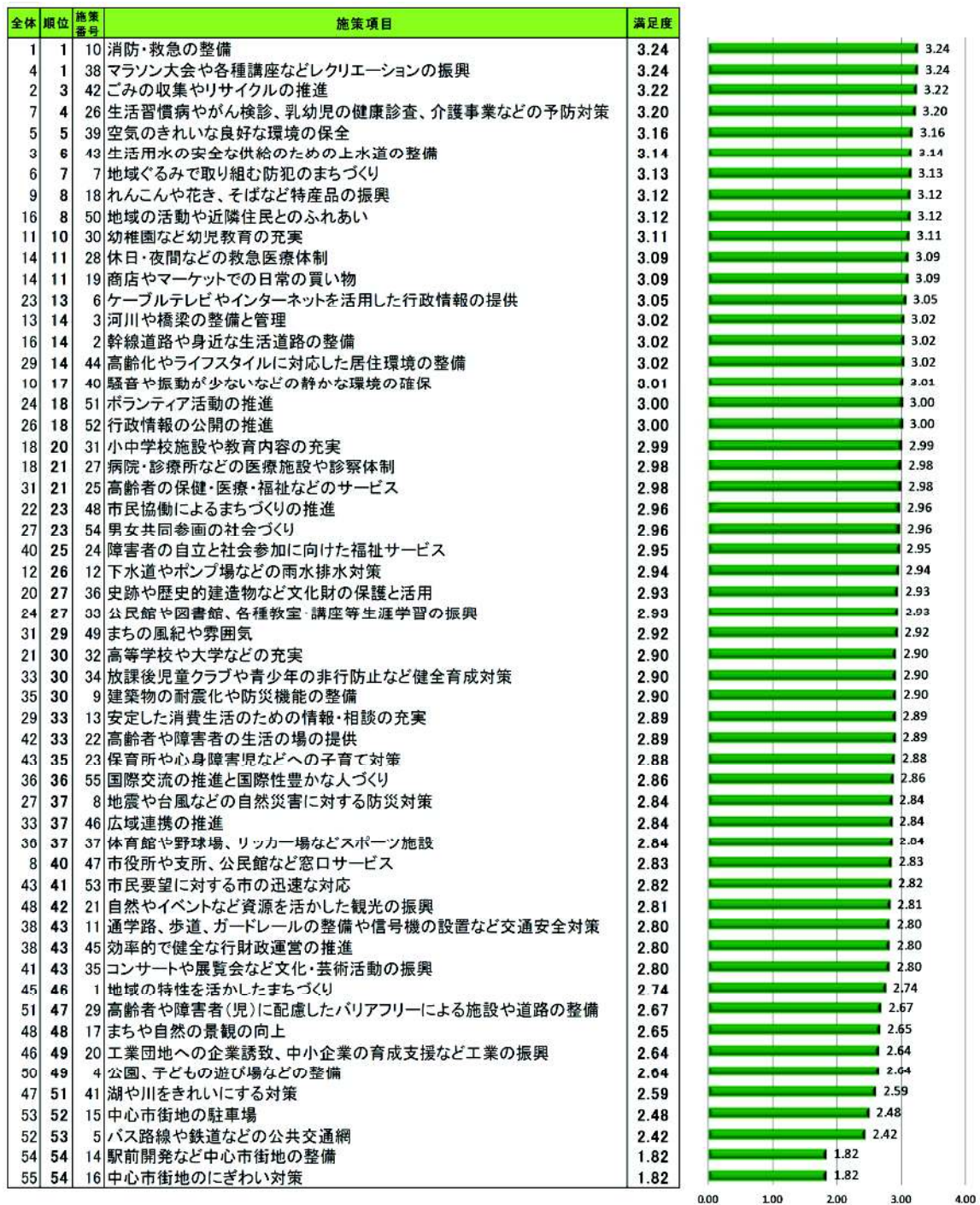
【40～44 歳・重要度】



40～44 歳では、「小中学校施設や教育内容の充実」（全体 18 位）、「放課後児童クラブや青少年の非行防止など健全育成対策」（全体 22 位）、「地域の特性を活かしたまちづくり」（全体 29 位）の順位が全体に比べて高い。

一方、「バリアフリーによる整備」（全体 9 位）、「高齢者の医療等サービス」（全体 12 位）、「高齢者や障害者の生活の場の提供」（全体 17 位）の順位が全体に比べて低い。

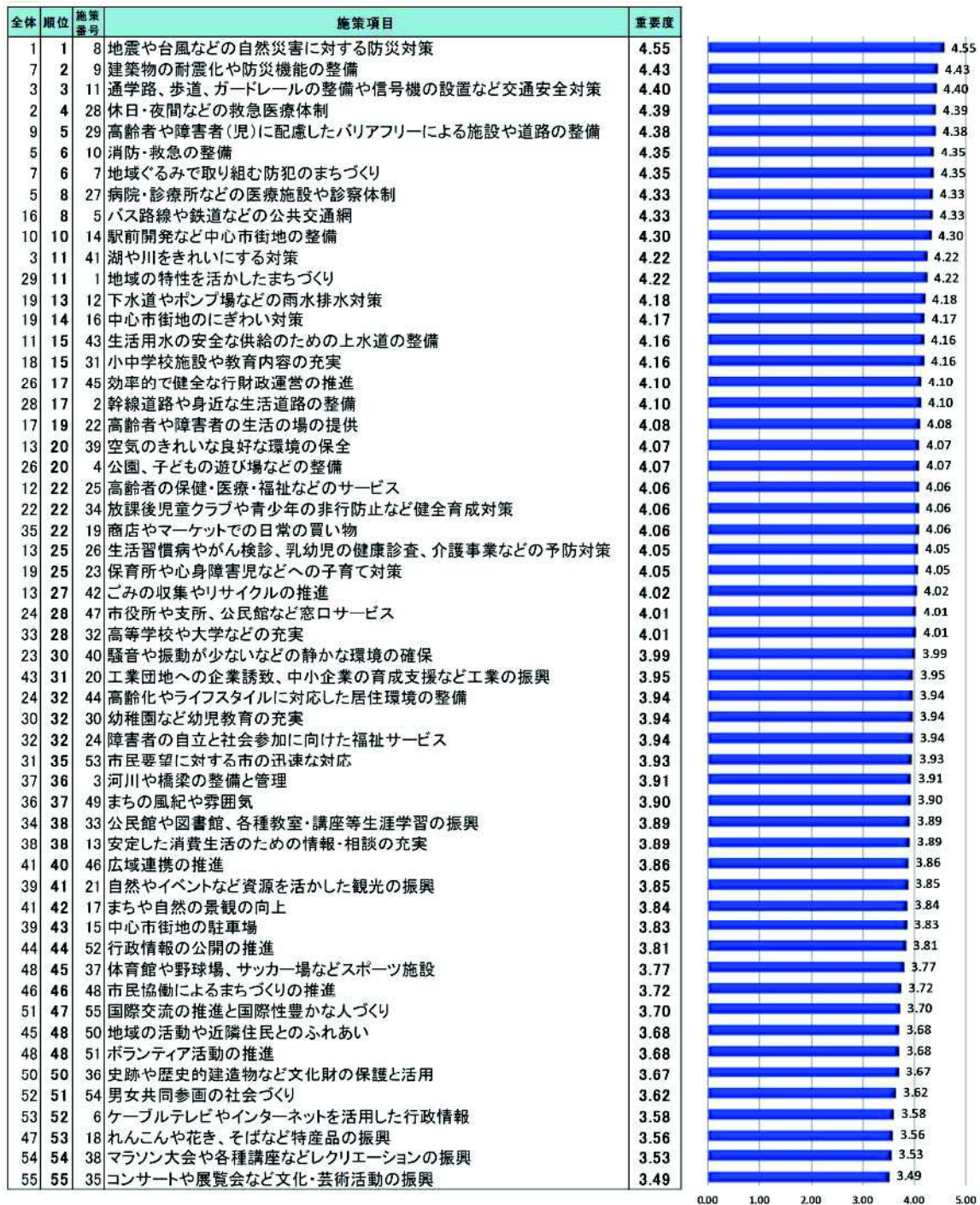
【45～49 歳・満足度】



45～49 歳では、「地域の活動」(全体 16 位)、「行政情報の提供」(全体 23 位)、「高齢化やライフスタイルに対応した居住環境の整備」(全体 29 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「市役所などの窓口サービス」(全体 8 位)、「雨水排水対策」(全体 12 位)、「高等学校や大学などの充実」(全体 21 位)、「自然災害に対する防災対策」(全体 27 位)の順位が全体に比べて低い。

【45～49 歳・重要度】

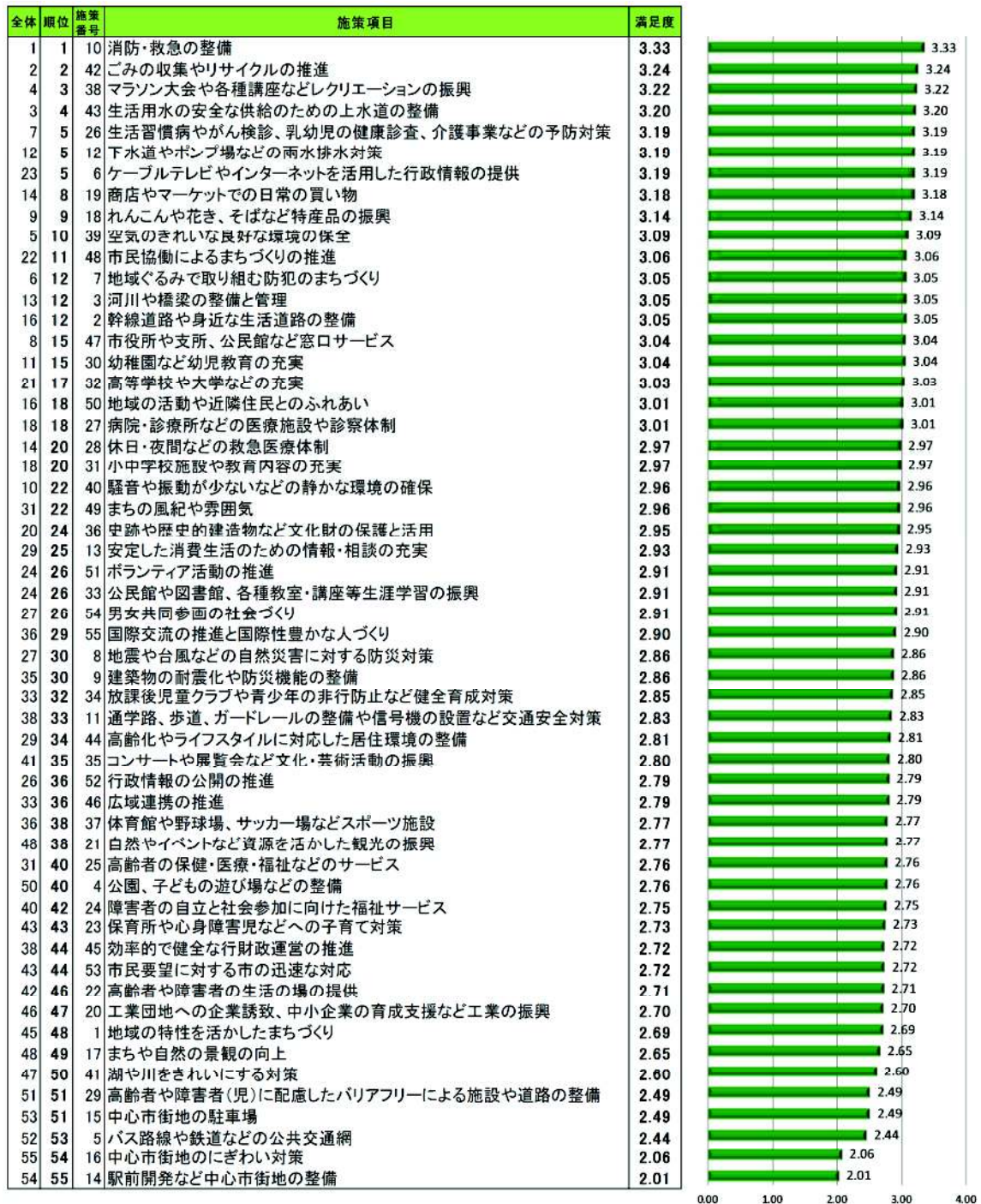


45～49 歳では、「バスや鉄道などの公共交通網」(全体 16 位)、「地域の特性を活かしたまちづくり」(全体 29 位)、「雨水排水対策」(全体 19 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「リサイクルの推進」(全体 13 位)、「健康診査、介護事業などの予防対策」(全体 13 位)、「高齢者の医療等のサービス」(全体 12 位)の順位が全体と比べて低い。



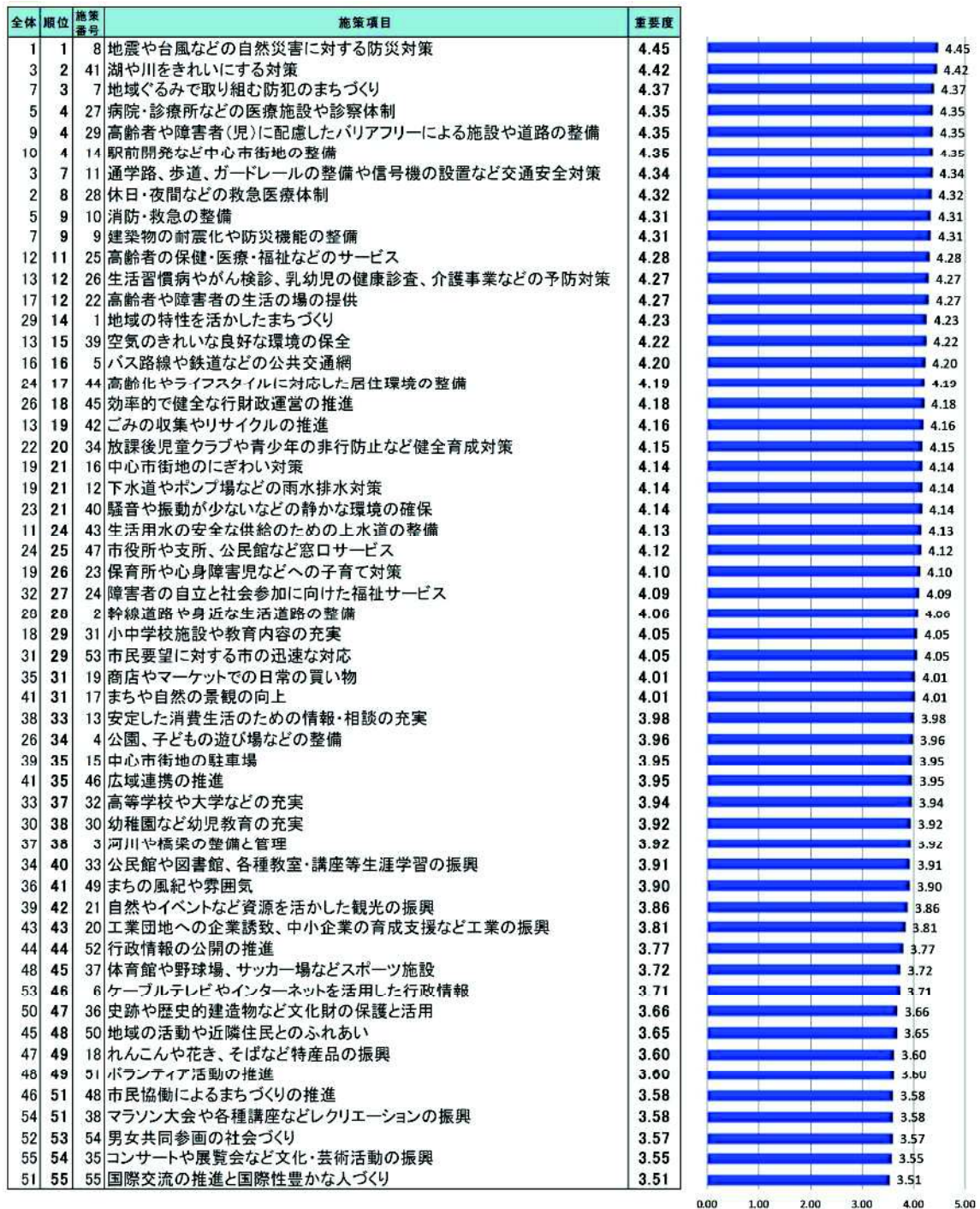
【50～54 歳・満足度】



50～54 歳では、「行政情報の提供」(全体 23 位)、「雨水排水対策」(全体 12 位)、「商店等での日常の買い物」(全体 14 位)、「市民協働によるまちづくりの推進」(全体 22 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「窓口サービス」(全体 8 位)、「防犯のまちづくり」(全体 6 位)、「救急医療体制」(全体 14 位)、「静かな環境の確保」(全体 10 位)の順位が全体に比べて低い。

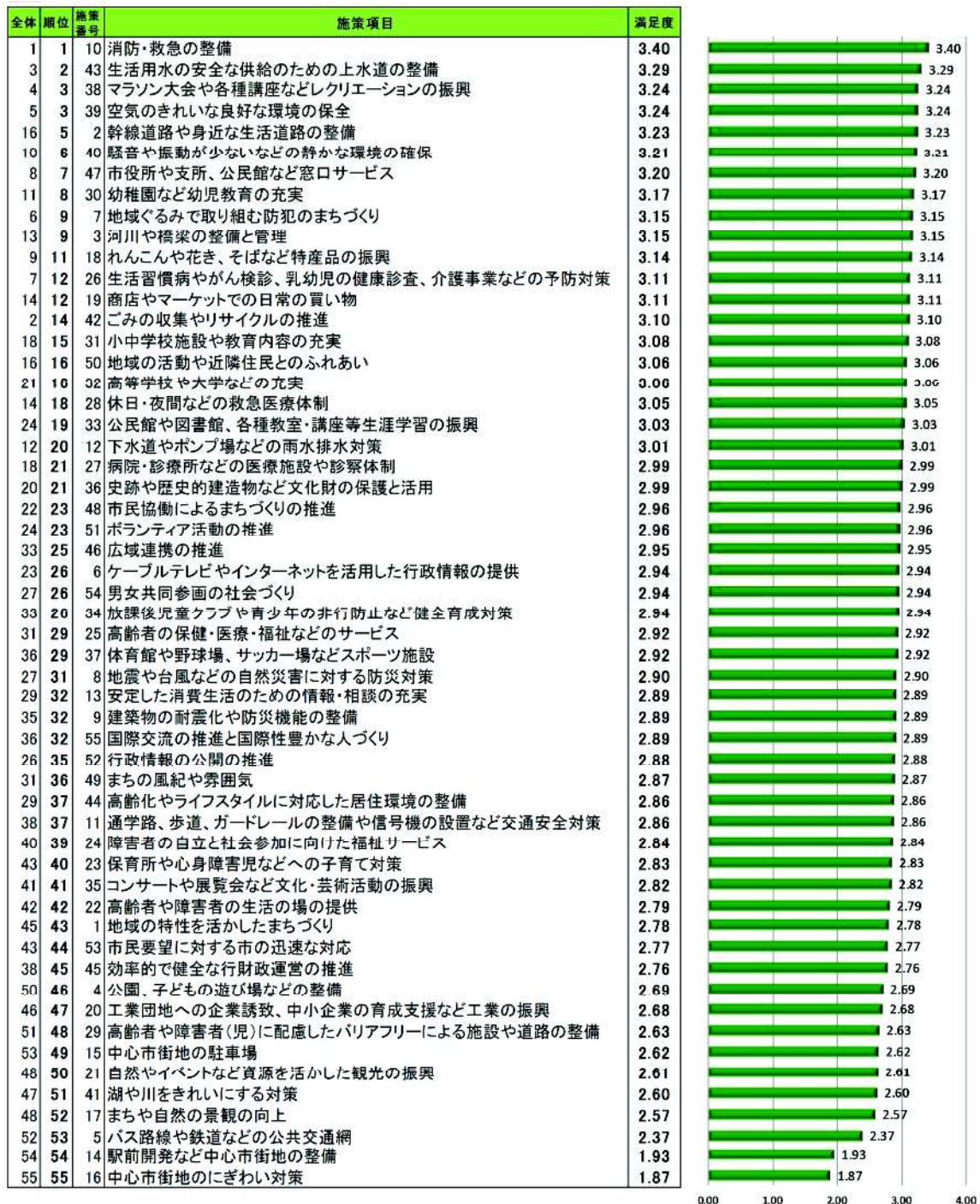
【50～54 歳・重要度】



50～54 歳では、「駅前開発など中心市街地の整備」（全体 10 位）、「地域の特性を活かしたまちづくり」（全体 29 位）の順位が全体に比べて高い。

一方、「上水道の整備」（全体 11 位）、「小中学校施設や教育内容の充実」（全体 18 位）の順位は全体に比べて低い。

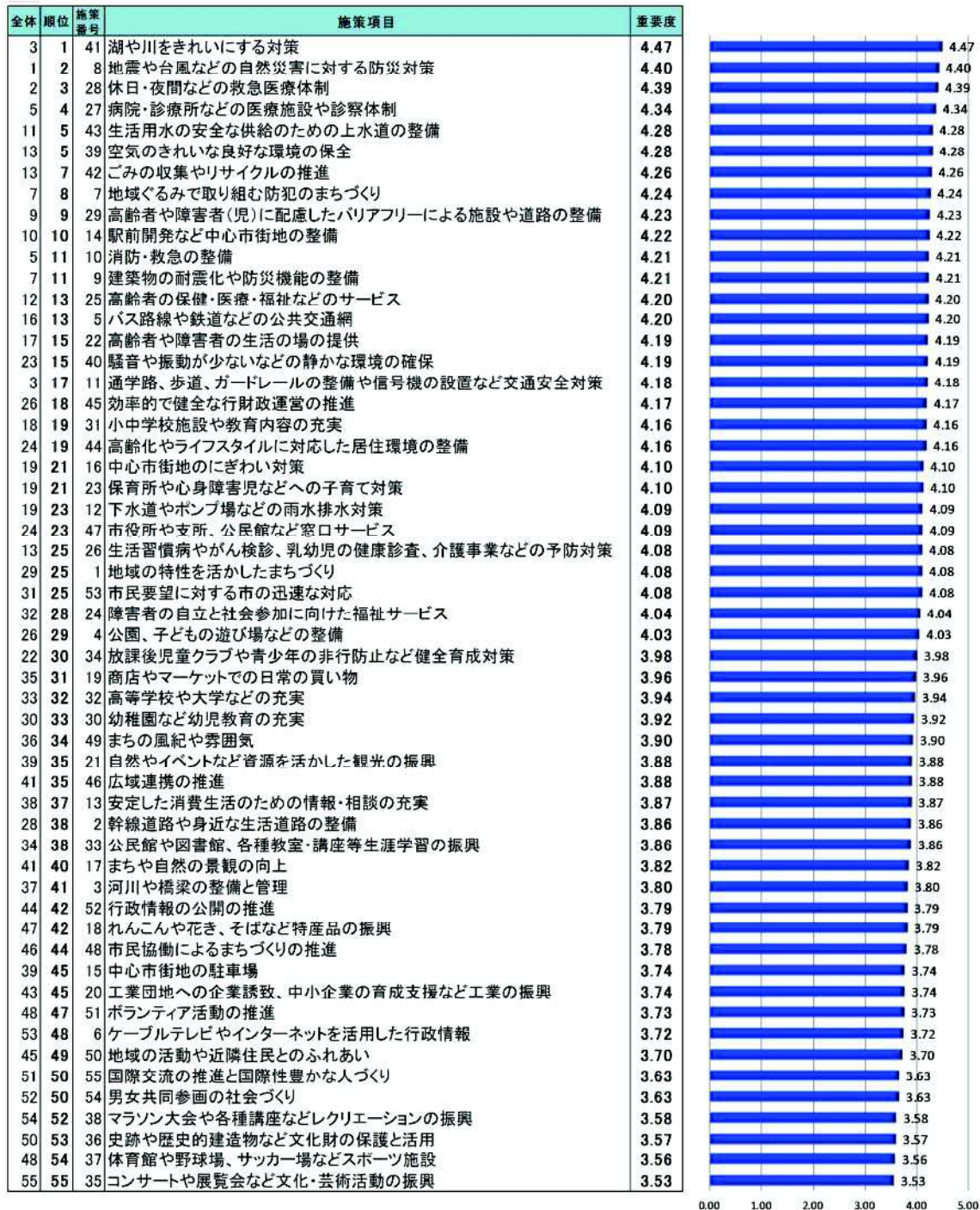
【55～59 歳・満足度】



55～59 歳では、「幹線道路や身近な生活道路の整備」(全体 16 位)、「騒音や振動が少ないなどの静かな環境の確保」(全体 10 位)、「河川や橋梁の整備と管理」(全体 13 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「ごみの収集やリサイクルの推進」(全体 2 位)、「健康診査、介護事業などの予防対策」(全体 7 位)の順位は全体に比べて低い。

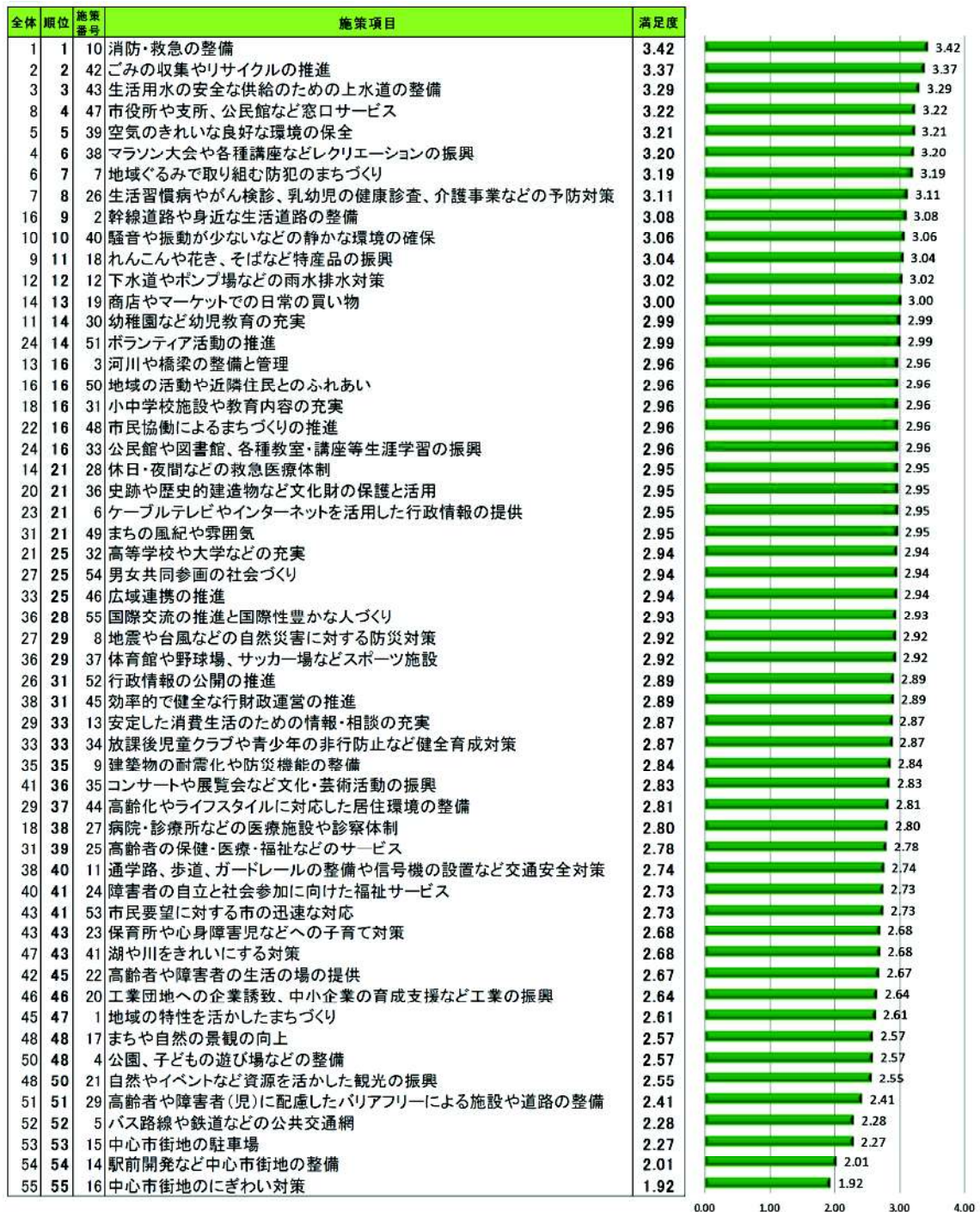
【55～59 歳・重要度】



55～59 歳では、「良好な環境の保全」(全体 13 位)、「上水道の整備」(全体 11 位)、「ごみの収集やリサイクルの推進」(全体 13 位) の順位が全体に比べて高い。

一方、「通学路、歩道、ガードレールの整備や信号機の設置など交通安全対策」(全体 3 位)、「消防・救急の整備」(全体 5 位)、「建築物の耐震化や防災機能の整備」(全体 7 位) の順位は全体に比べて低い。

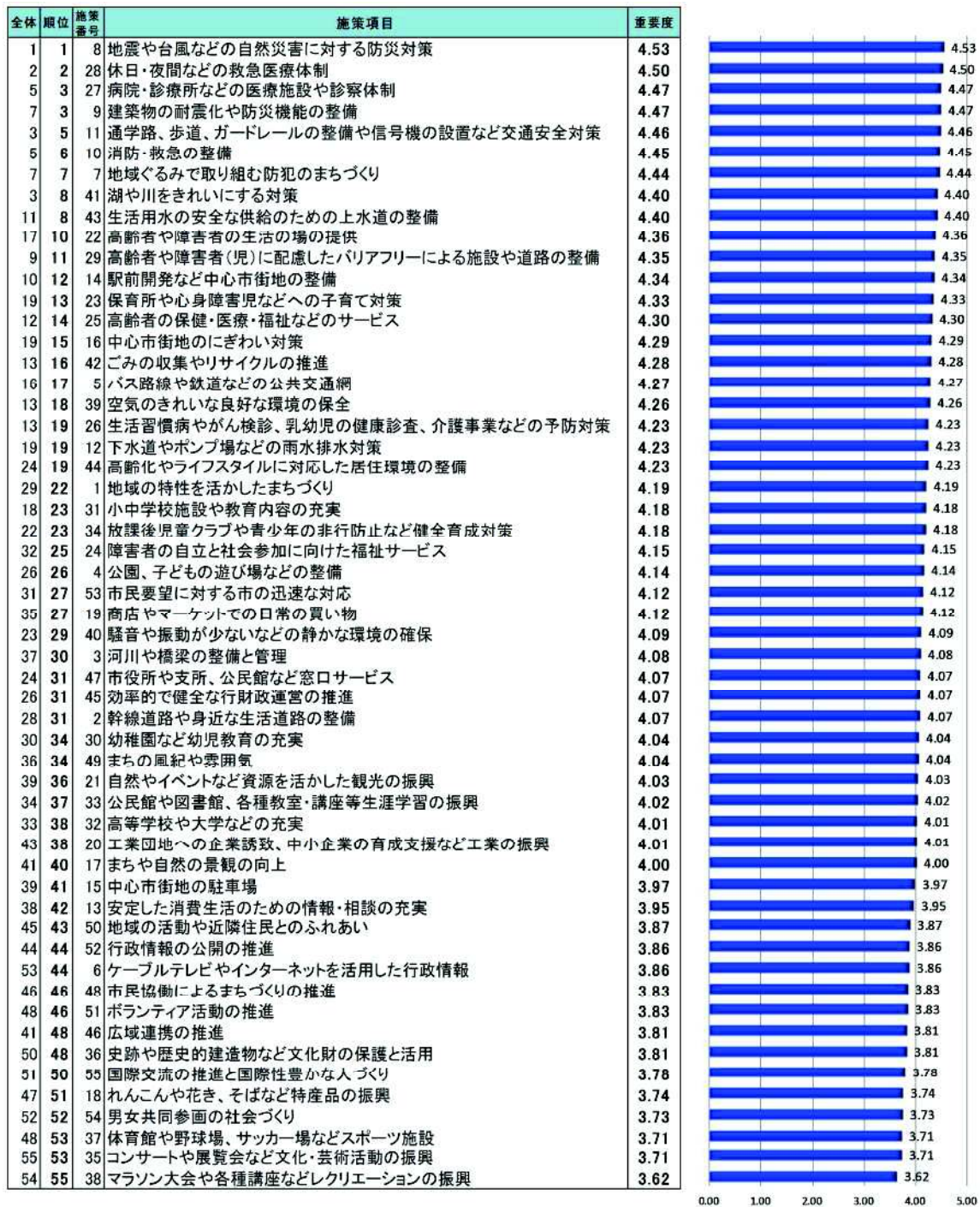
【60～64 歳・満足度】



60～64 歳では、「幹線道路や身近な生活道路の整備」(全体 16 位)、「ボランティア活動の推進」(全体 24 位)、「各種教室・講座等生涯学習の振興」(全体 24 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「休日・夜間などの救急医療体制」(全体 14 位)、「病院・診療所などの医療施設や診察体制」(全体 18 位)の順位は全体に比べて低い。

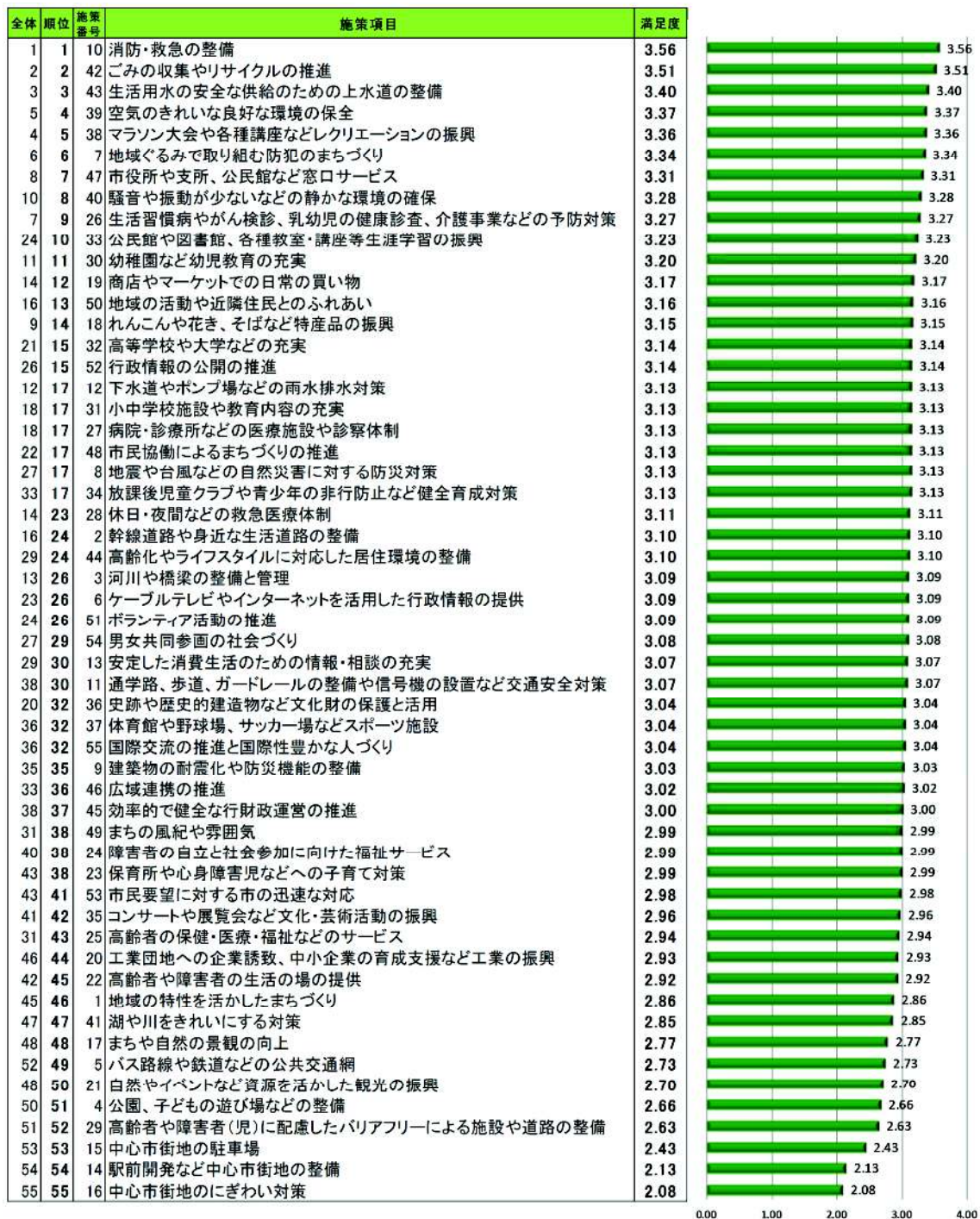
【60～64 歳・重要度】



60～64 歳では、「高齢者や障害者の生活の場の提供」(全体 17 位)、「保育所や心身障害児などへの子育て対策」(全体 19 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「健康診査、介護事業などの予防対策」(全体 13 位)、「小中学校施設や教育内容の充実」(全体 18 位)の順位が全体に比べて低い。

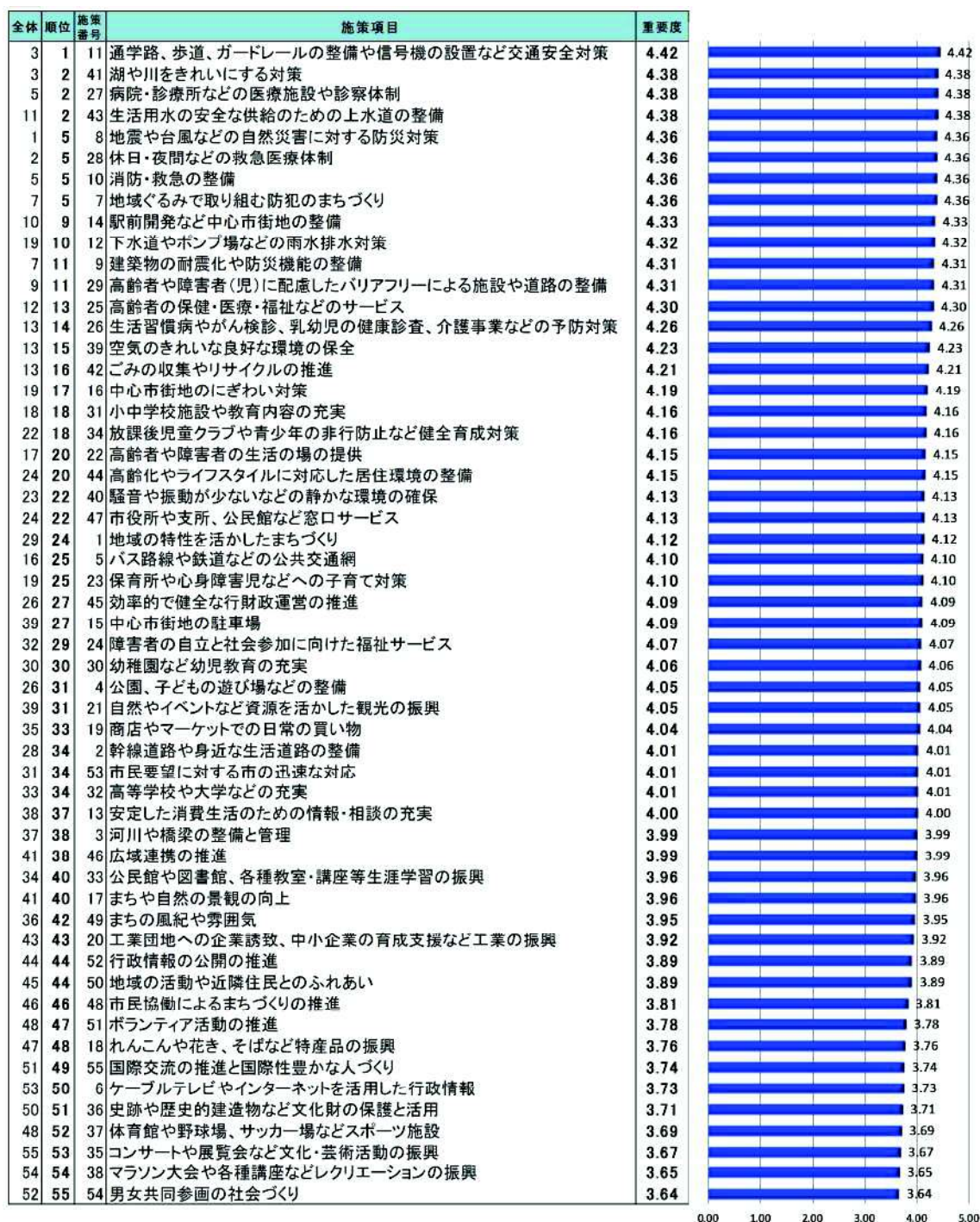
【65～69 歳・満足度】



65～69 歳では、「生涯学習の振興」（全体 24 位）、「高等学校や大学などの充実」（全体 21 位）、「行政情報の公開の推進」（全体 26 位）、「自然災害に対する防災対策」（全体 27 位）の順位が全体に比べて高い。

一方、「特産品の振興」（全体 9 位）、「救急医療体制」（全体 14 位）、「生活道路の整備」（全体 16 位）の順位が全体に比べて低い。

【65～69 歳・重要度】

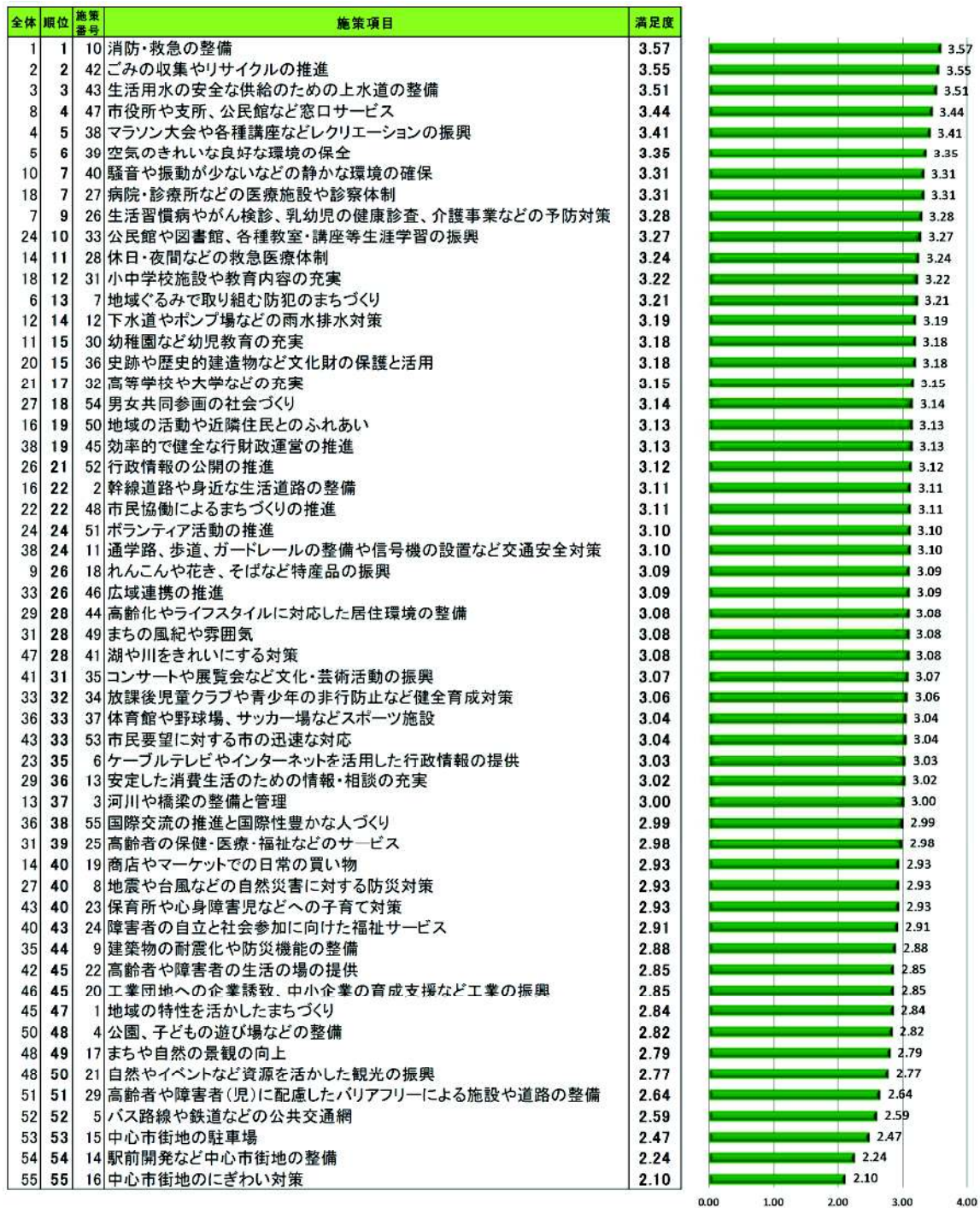


65～69 歳では、「上水道の整備」(全体 11 位)、「雨水排水対策」(全体 19 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「バス路線や鉄道などの公共交通網」(全体 16 位)、「自然災害に対する防災対策」(全体 1 位)、「救急医療体制」(全体 2 位)、「建築物の耐震化や防災機能の整備」(全体 7 位)の順位が全体に比べて低い。



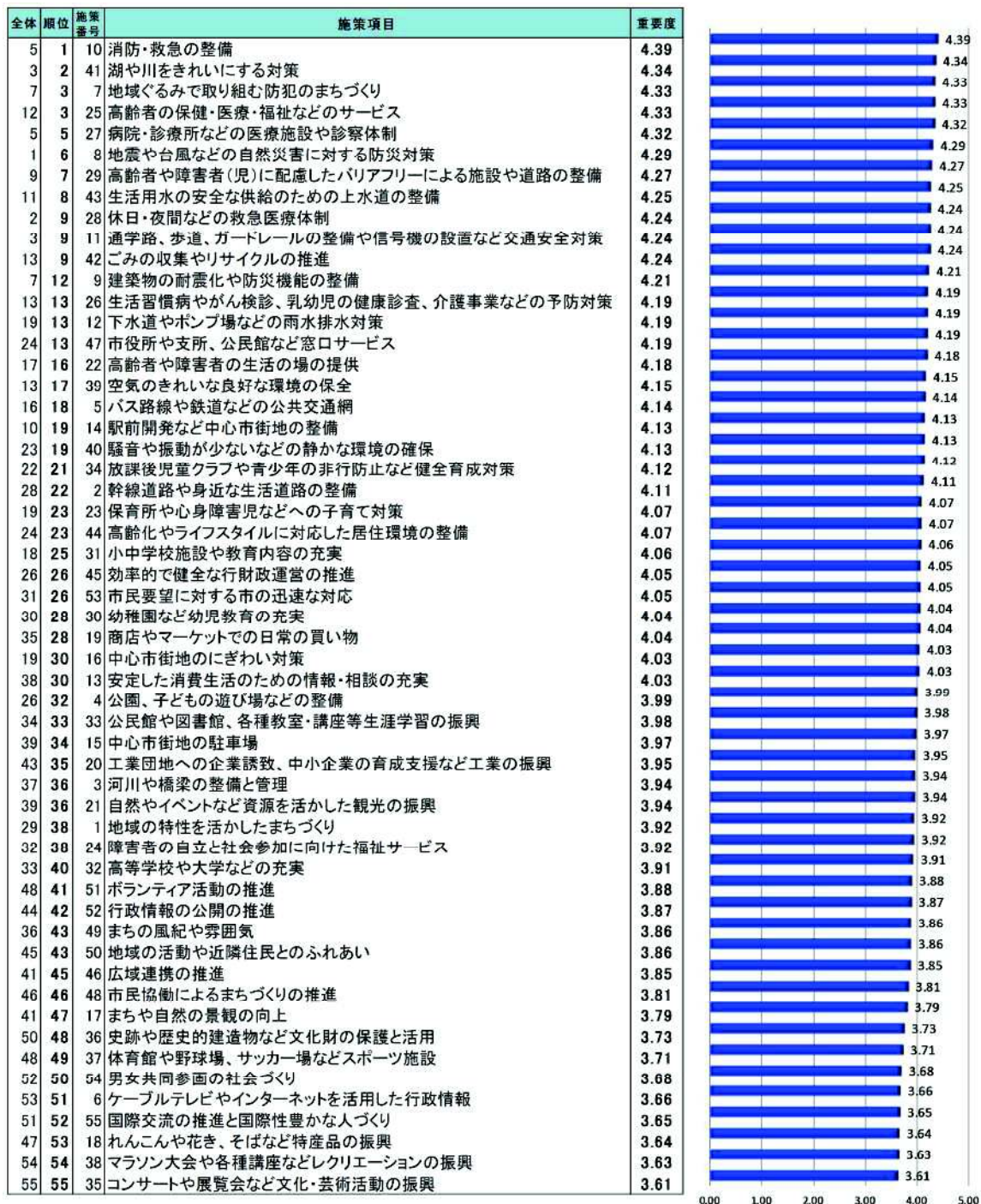
【70～74 歳・満足度】



70～74 歳では、「医療施設や診察体制」(全体 18 位)、「生涯学習の振興」(全体 24 位)、「小中学校施設や教育内容の充実」(全体 18 位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「特産品の振興」(全体 9 位)、「防犯のまちづくり」(全体 6 位)、「生活道路の整備」(全体 16 位)の順位が全体に比べ低い。

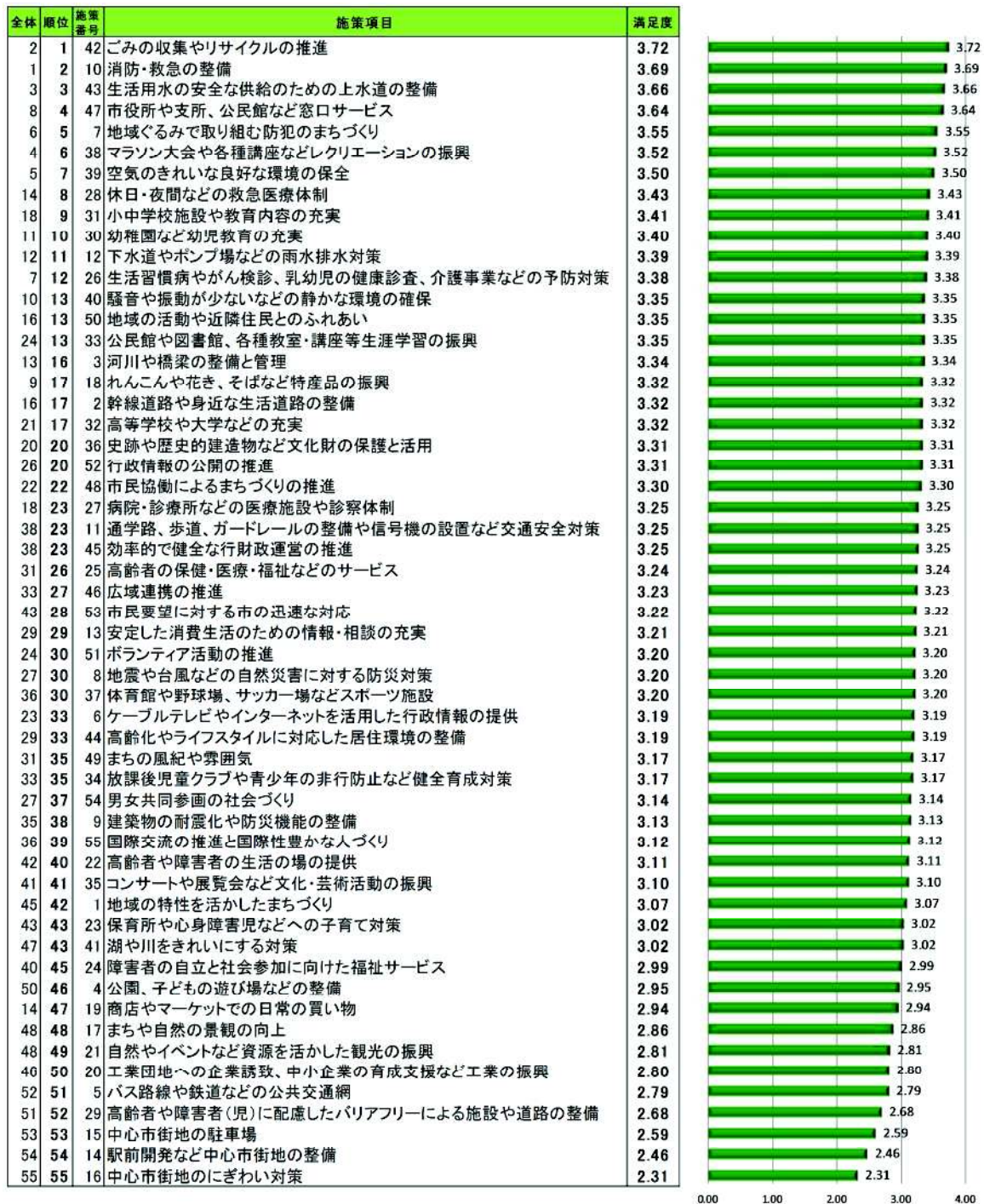
【70～74 歳・重要度】



70～74 歳では、「高齢者の医療等のサービス」(全体 12 位)の順位が全体に比べて著しく高く、「リサイクルの推進」(全体 13 位)、「雨水排水対策」(全体 19 位)、「窓口サービス」(全体 24 位)の順位が全体に比べ高い。

一方、「救急医療体制」(全体 2 位)、「交通安全対策」(全体 3 位)、「建築物の耐震化や防災機能の整備」(全体 7 位)の順位が全体に比べて低い。

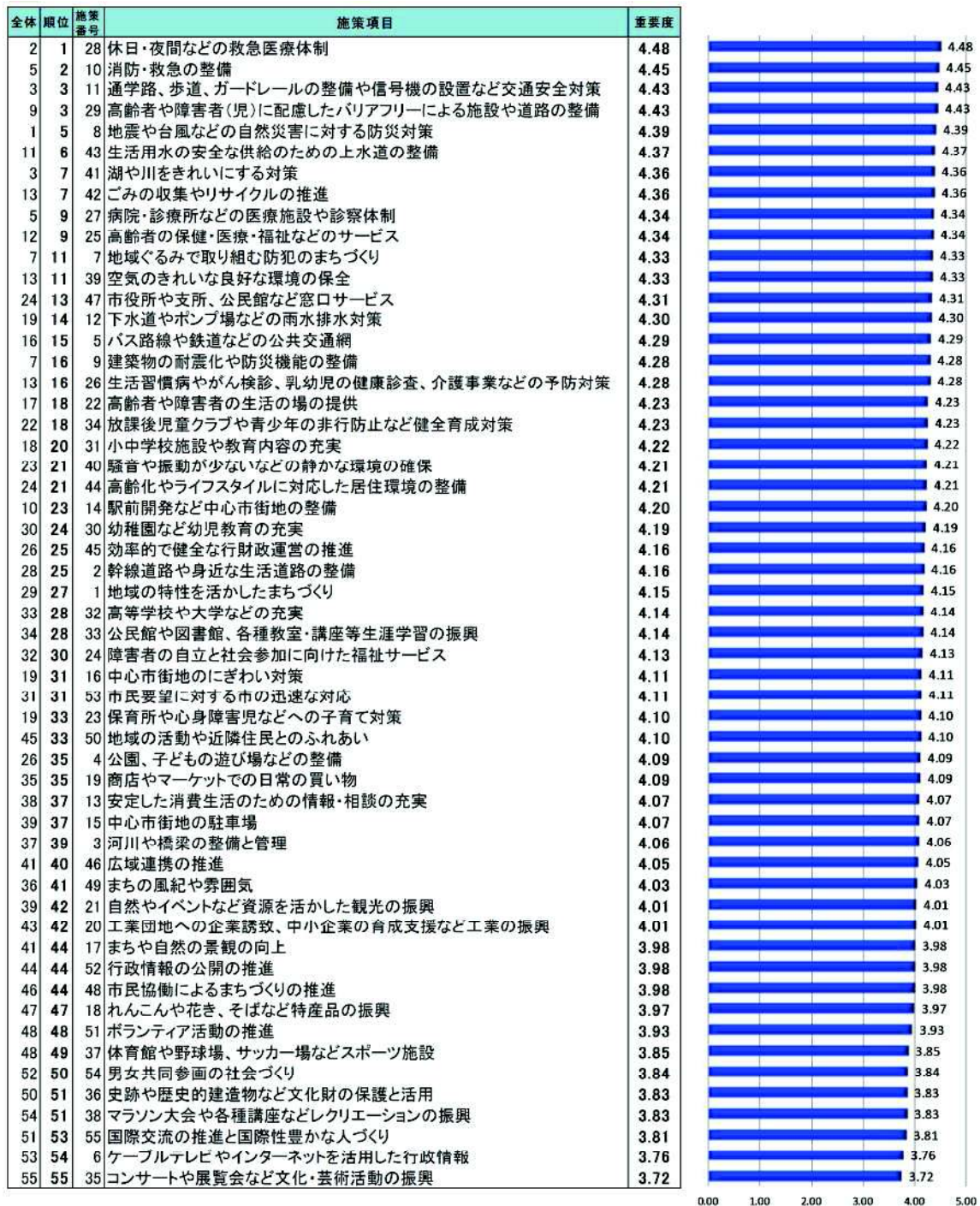
【75歳以上・満足度】



75歳以上では、「救急医療体制」(全体14位)、「小中学校施設や教育内容の充実」(全体18位)、「生涯学習の振興」(全体25位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「健康診査、介護事業などの予防対策」(全体7位)、「特産品の振興」(全体9位)、「医療施設や診察体制」(全体19位)、「商店等での日常の買い物」(全体15位)の順位が全体に比べて低い。

【75歳以上・重要度】



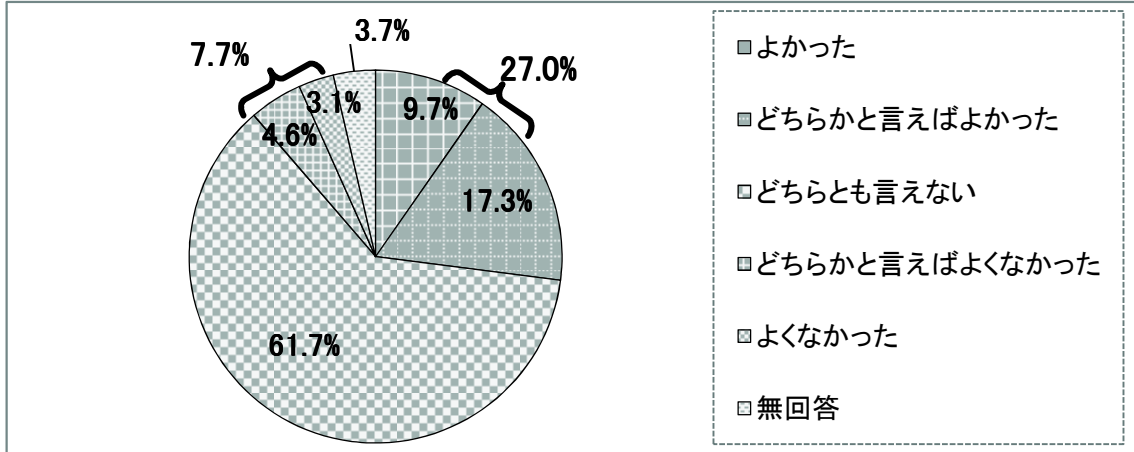
75歳以上では、「バリアフリーによる整備」(全体9位)、「上水道の整備」(全体11位)、「リサイクルの推進」(全体15位)、「窓口サービス」(全体25位)、「雨水排水対策」(全体20位)の順位が全体に比べて高い。

一方、「建築物の耐震化や防災機能の整備」(全体7位)、「中心市街地の整備」(全体10位)、「中心市街地のにぎわい対策」(全体19位)の順位が全体に比べて低い。

### Ⅲ. 土浦市と新治村の合併について

#### (1) 合併についての印象

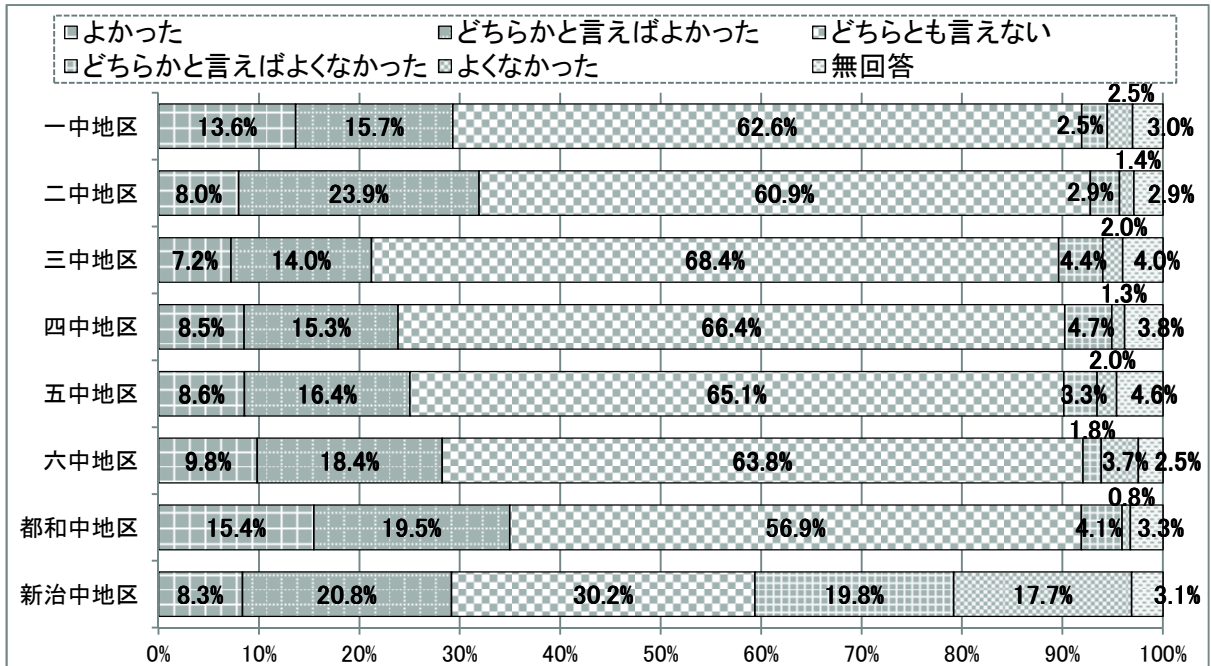
問 6 土浦市と新治村の合併についてどのような印象をお持ちですか。(N=1,369)



「よかった」が9.7%、「どちらかと言えばよかった」が17.3%で、合わせて“よかった”が27.0%となった。一方「よくなかった」は3.1%、「どちらかと言えばよくなかった」は4.6%で、合わせて“よくなかった”は7.7%であった。

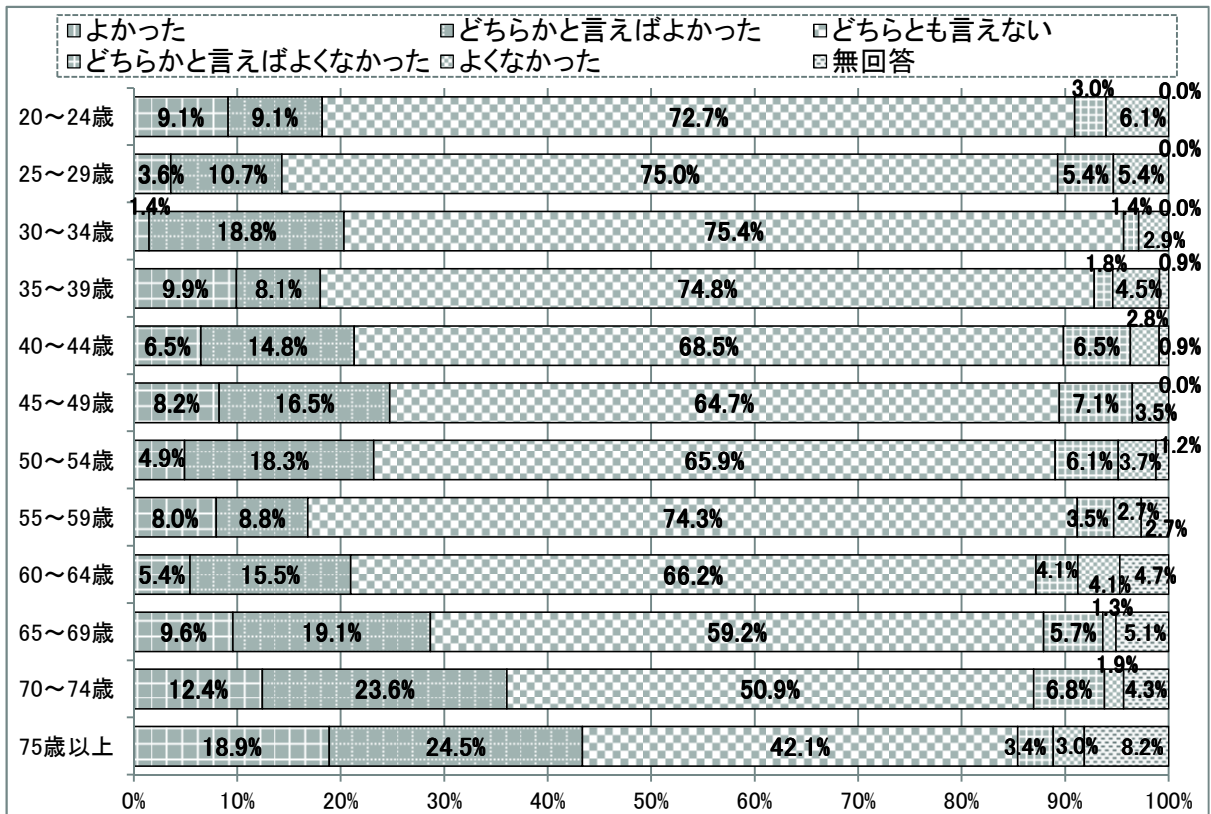
しかし、最も多かった回答は「どちらとも言えない」で61.7%と過半数を占めた。

#### ①地区別 (N=1,355)



地区別にみると、新治地区での割合は“よくなかった”、“どちらとも言えない”、“よかった”の順に多く、他の地区とは大きく異なっている。

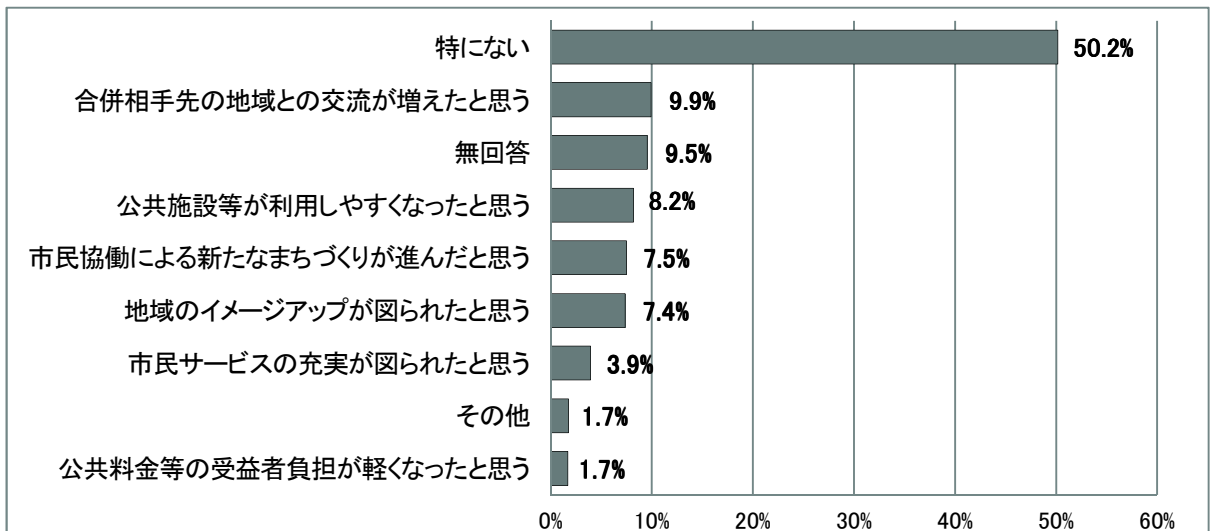
②年齢別 (N=1,356)



年齢別では、“よくなかった”の割合に際立った傾向は認められないが、“よかった”については、年齢が上がるほど割合が高くなる傾向にある。

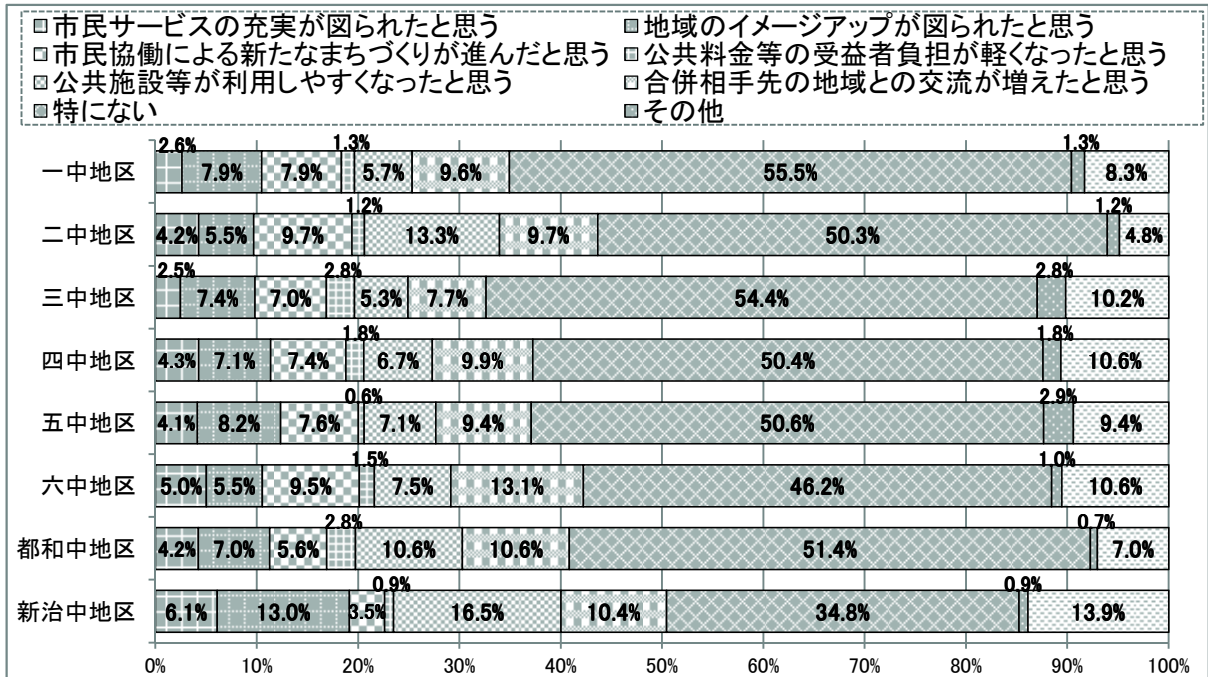
(2) 合併してよかったと思うこと

問7 合併してよかったと思うことは何ですか。(N=1,603 複数回答)



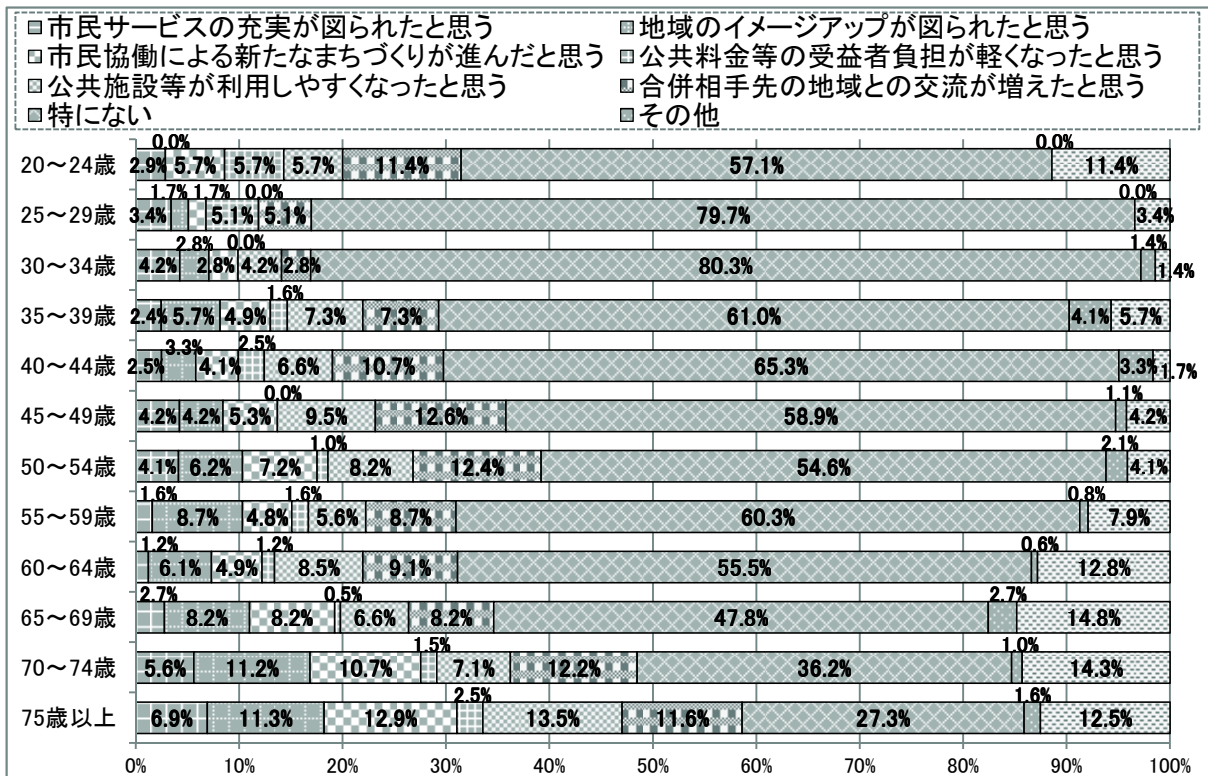
合併してよかったと思うことは「特にない」が半数を占めた。

①地区別 (N=1,587 複数回答)



どの地区も「特にない」、「無回答」が半数以上を占める中、新治中地区においては、何らかの「よかったこと」がわずかに上回っており、中でも「イメージアップ」と「施設の利用しやすさ」の割合が高い。

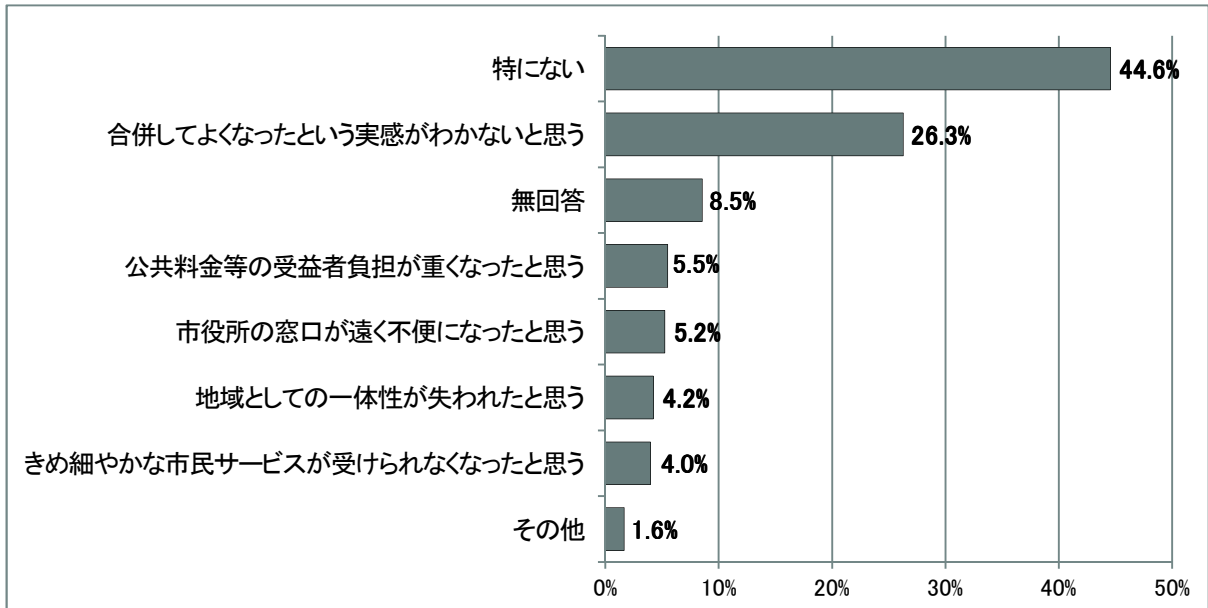
②年齢別 (N=1,588 複数回答)



年齢が上がるほど、合併に対し何らかのメリットを感じている。

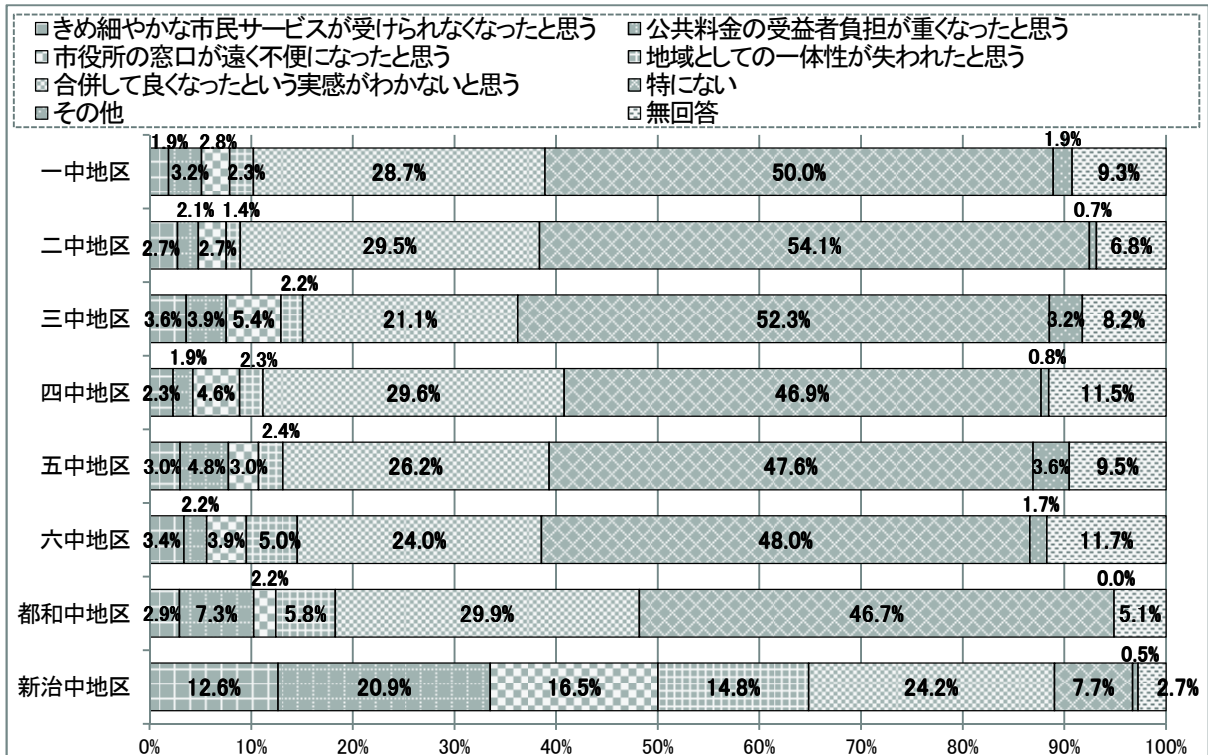
(3) 合併してよくなかったと思うこと

問 8 合併してよくなかったと思うことは何ですか。(N=1,582 複数回答)



合併してよくなかったと思うことは「特にない」が最も多く、次に「よくなったという実感がわからない」が続く。具体的に良くなかったことは、合わせて 20% 台である。

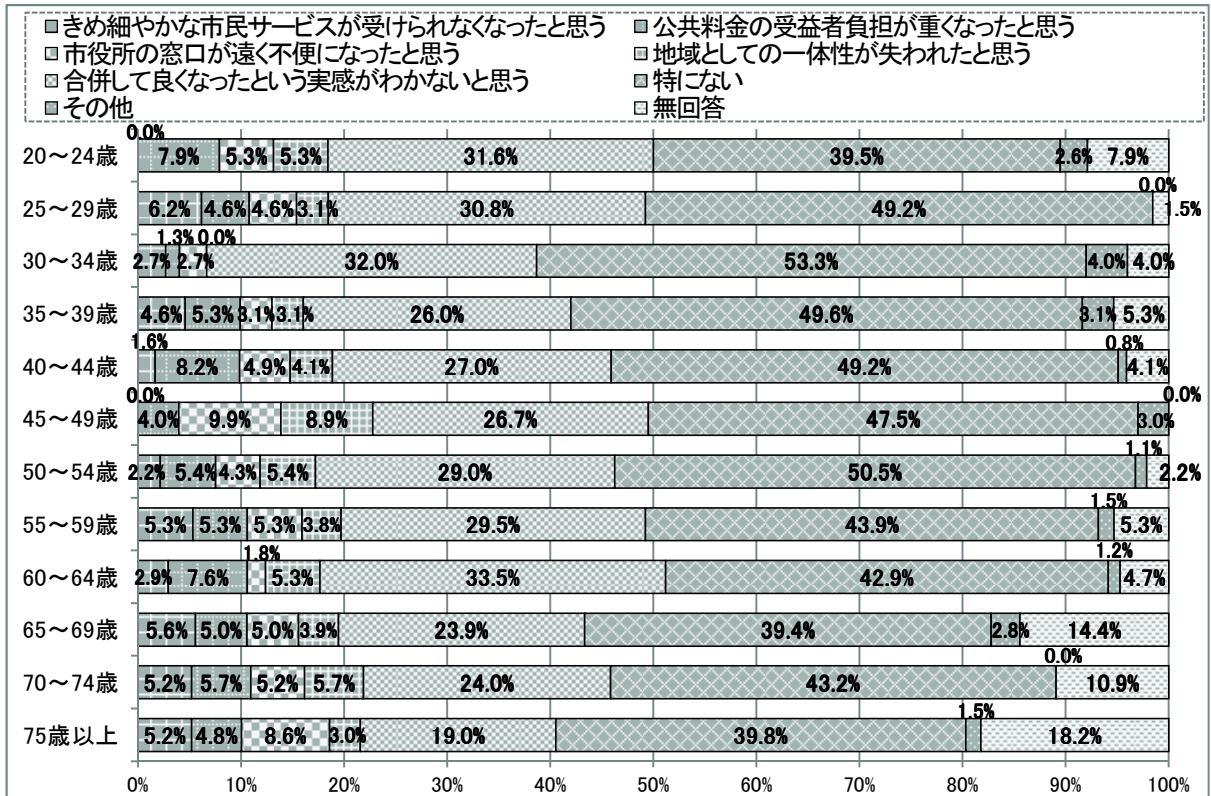
① 地区別 (N=1,567 複数回答)



どの地区も具体的に「よくなかったこと」の割合が 20% 未満である中、新治中地区では「よくなかったこと」の割合が 60% を超える。



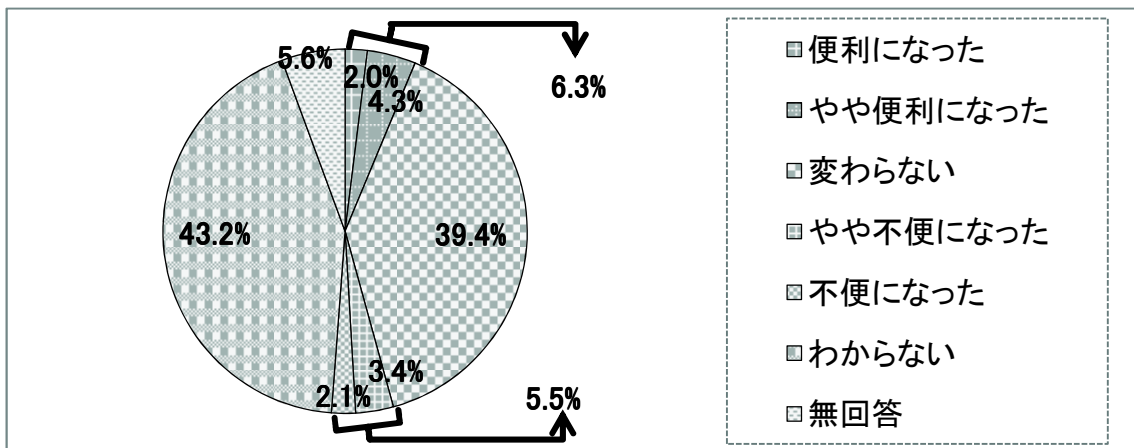
②年齢別 (N=1,568 複数回答)



「よくなったという実感がわからない」は年齢が上がるにつれ割合が低くなる傾向にある。また、20代後半～50代前半は「特にない」が半数近くを占める。

(4) 合併による市民サービスの変化

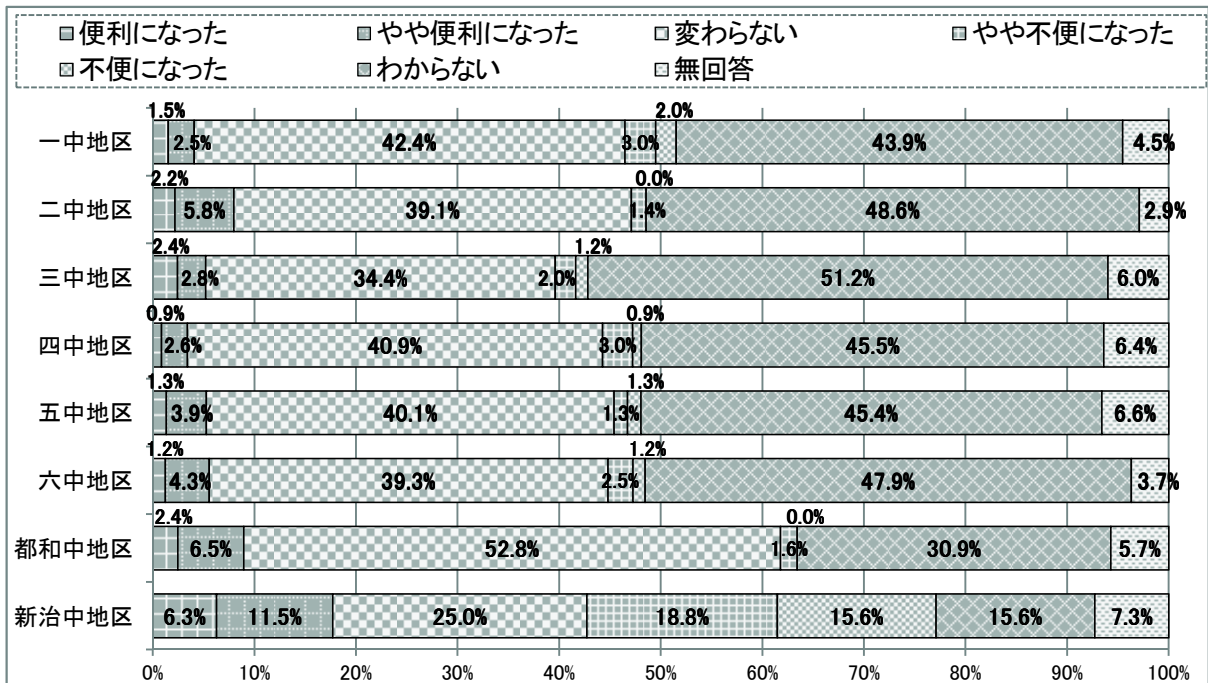
問9 合併前と比べて、市民サービスはどのように変わりましたか。(N=1,369)



市民サービスの変化については「わからない」が43.2%で最も多く、「わからない」が39.4%で続いた。

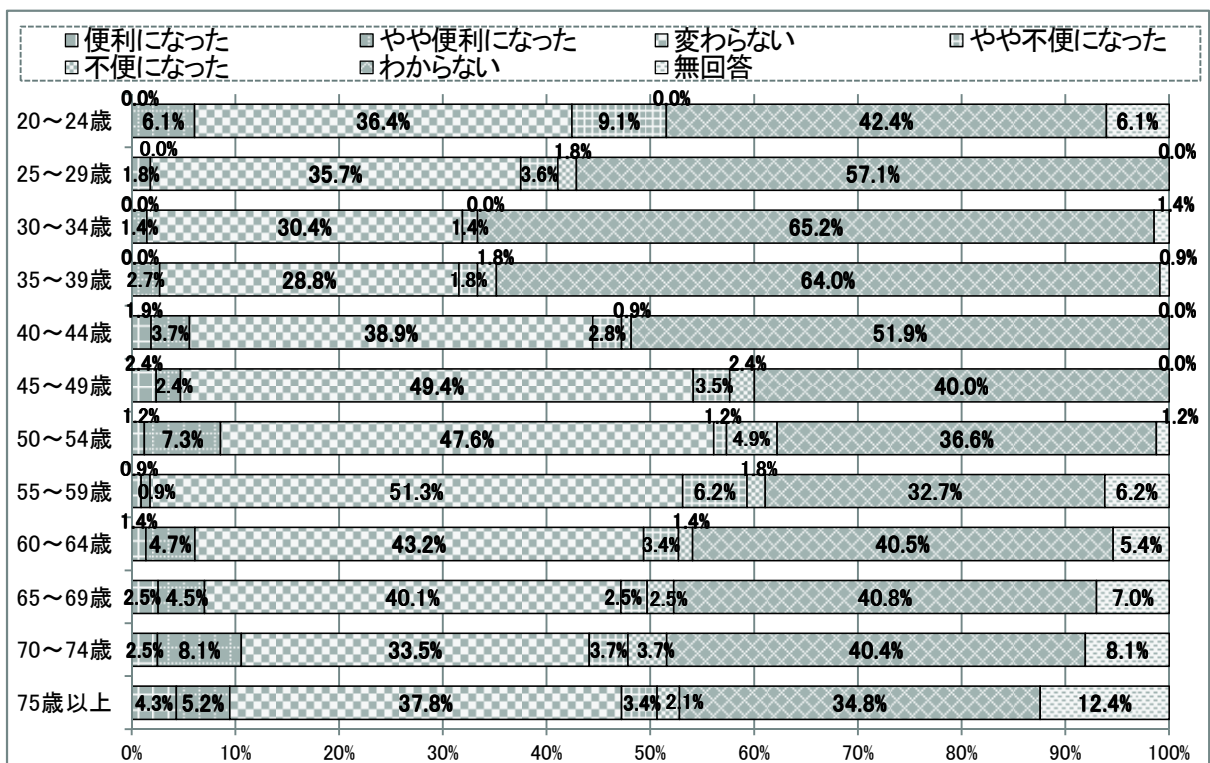
一方、「便利になった」は「便利になった」と「やや便利になった」を合わせて6.3%であり、「不便になった」は「不便になった」と「やや不便になった」を合わせて5.5%である。

①地区別 (N=1,355)



いずれの地区も「変わらない」、「わからない」が8割近くを占めている。ただし、新治中地区では、「便利になった」が17.8%、「不便になった」が34.4%、「変わらない」、「わからない」が40.6%と、他の地区とは異なる傾向を示している。

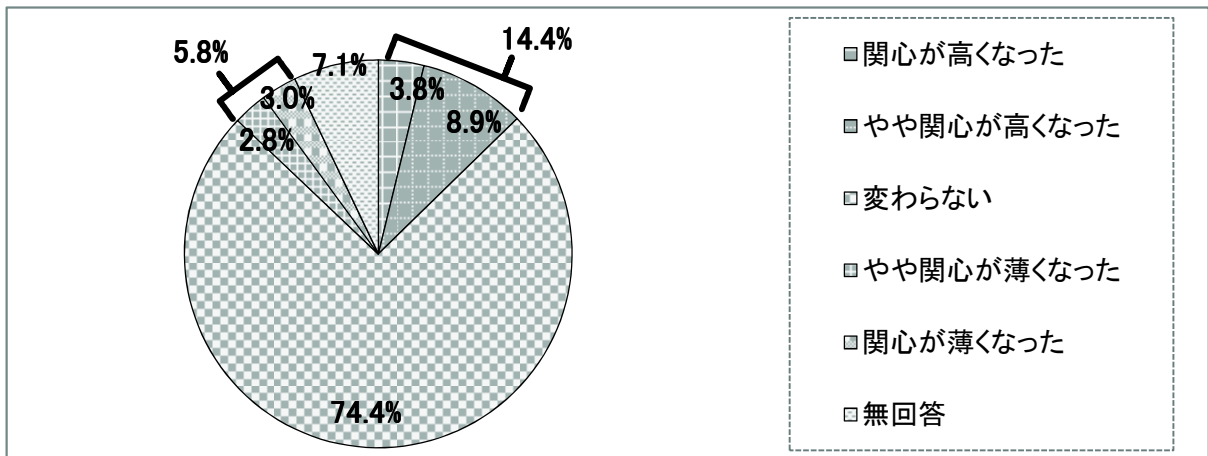
②年齢別 (N=1,356)



若年層は「わからない」の割合が、高齢者層は「変わらない」の割合が高い。

(5) 合併による市政への関心の変化

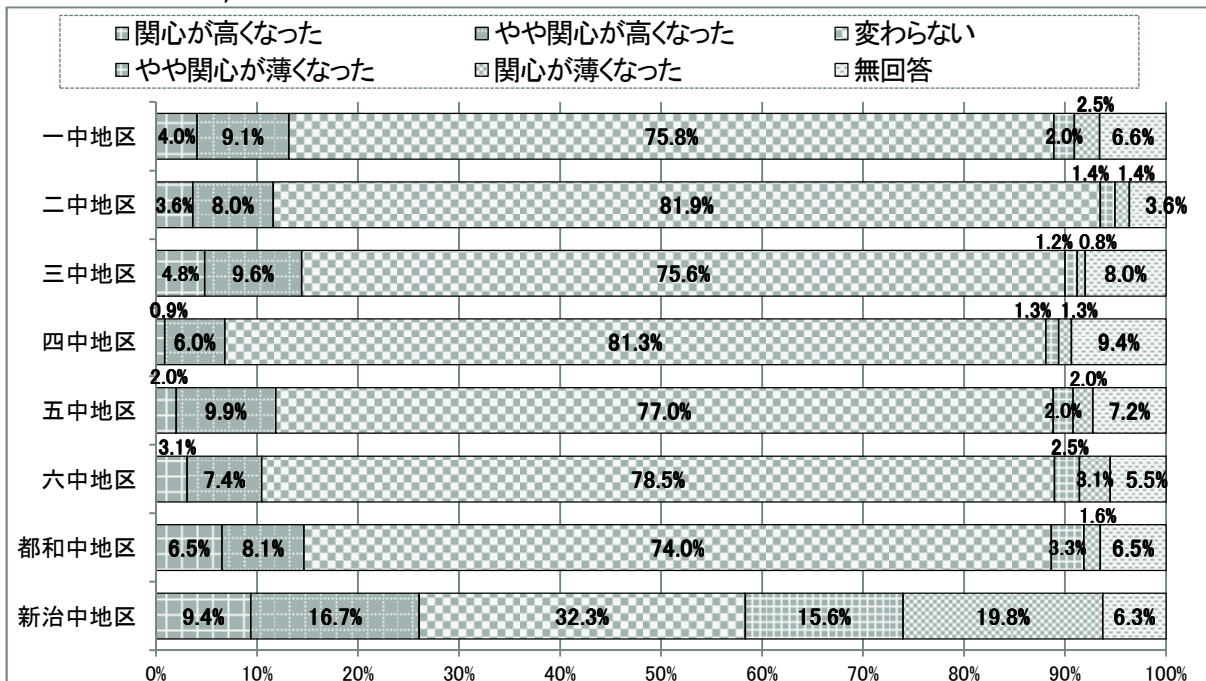
問 10 市政への関心は合併前と比べてどのように変わりましたか。(N=1,369)



市政への関心の変化については、最も多かった回答は「変わらない」で74.4%と7割を超えている。

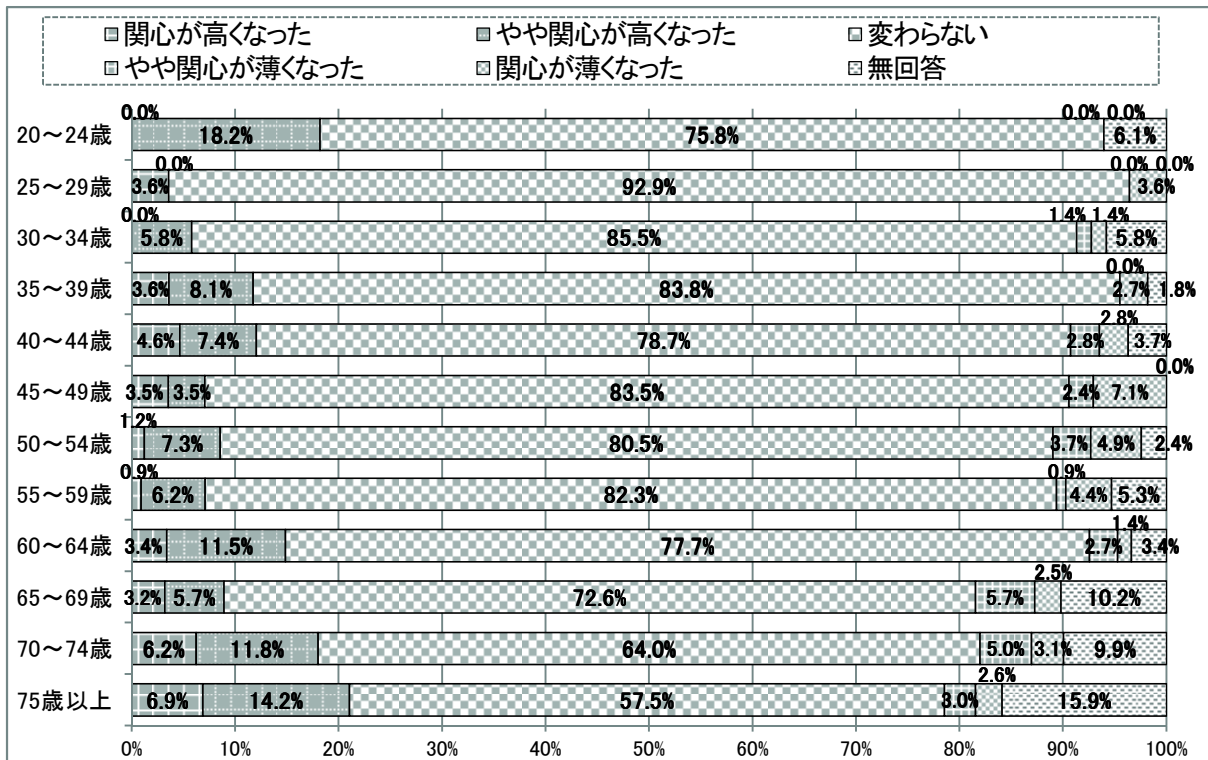
一方、「関心が高くなった」は「関心が高くなった」と「やや関心が高くなった」を合わせて14.4%、「関心が薄くなった」は「関心が薄くなった」と「やや関心が薄くなった」を合わせて5.8%であり、「関心が高くなった」方が多い。

①地区別 (N=1,355)



いずれの地区も「変わらない」が最も多く、8割を超える所もある。また、「関心が高くなった」よりも「関心が薄くなった」が低い傾向にある。しかし、新治中地区では、「関心が高くなった」が26.1%、「関心が薄くなった」が35.4%、「変わらない」が32.3%と、他の地区とは異なる傾向を示している。

②年齢別 (N=1,356)

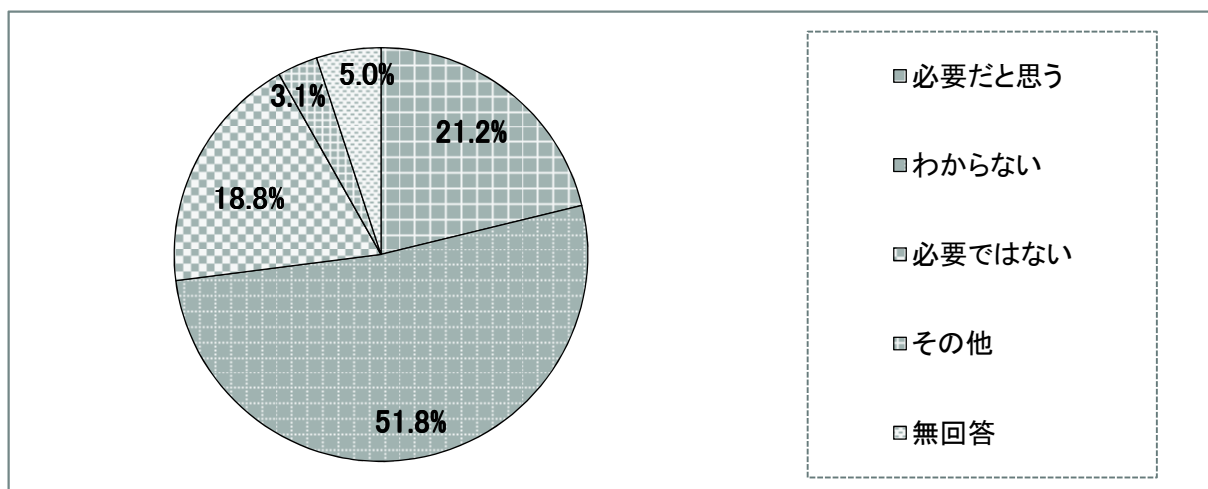


どの年代でも「変わらない」が最も多いが、年代が上がるにつれ、「変わらない」の割合が低くなり、逆に「無回答」の割合が高い。

20代前半では、「関心が高くなった」が18.2%と75歳以上に次いで2番目に高い割合を占めている。

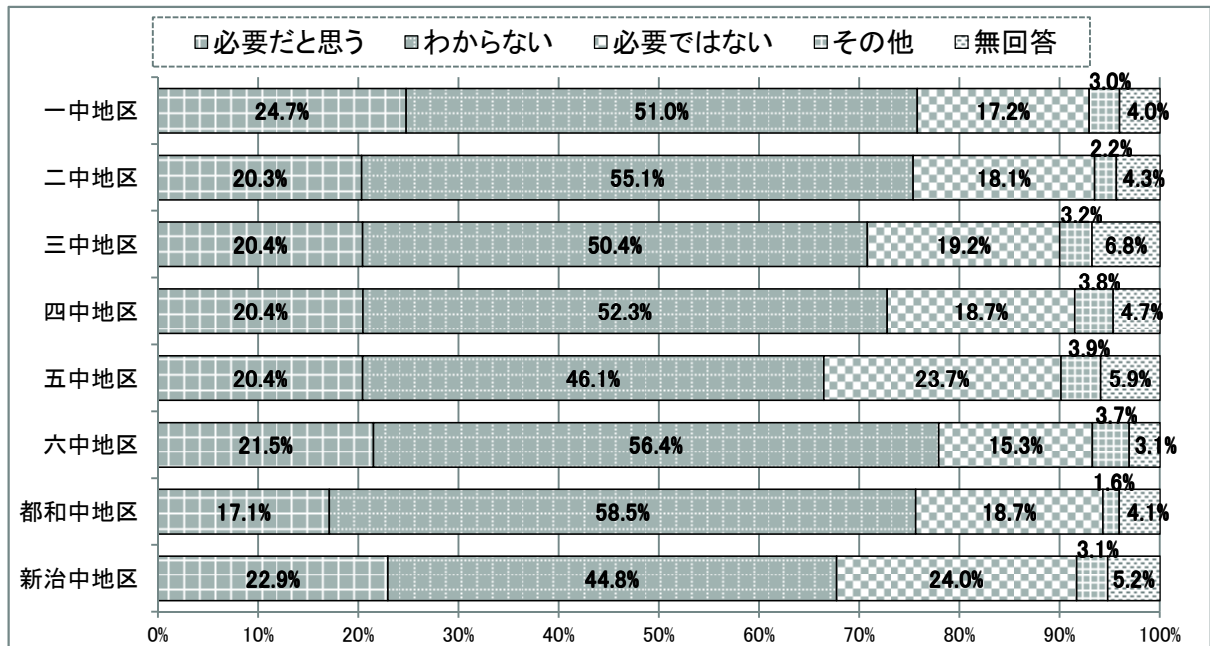
(6) 合併の必要性

問 11 今後、合併は必要だと思いますか。(N=1,369)



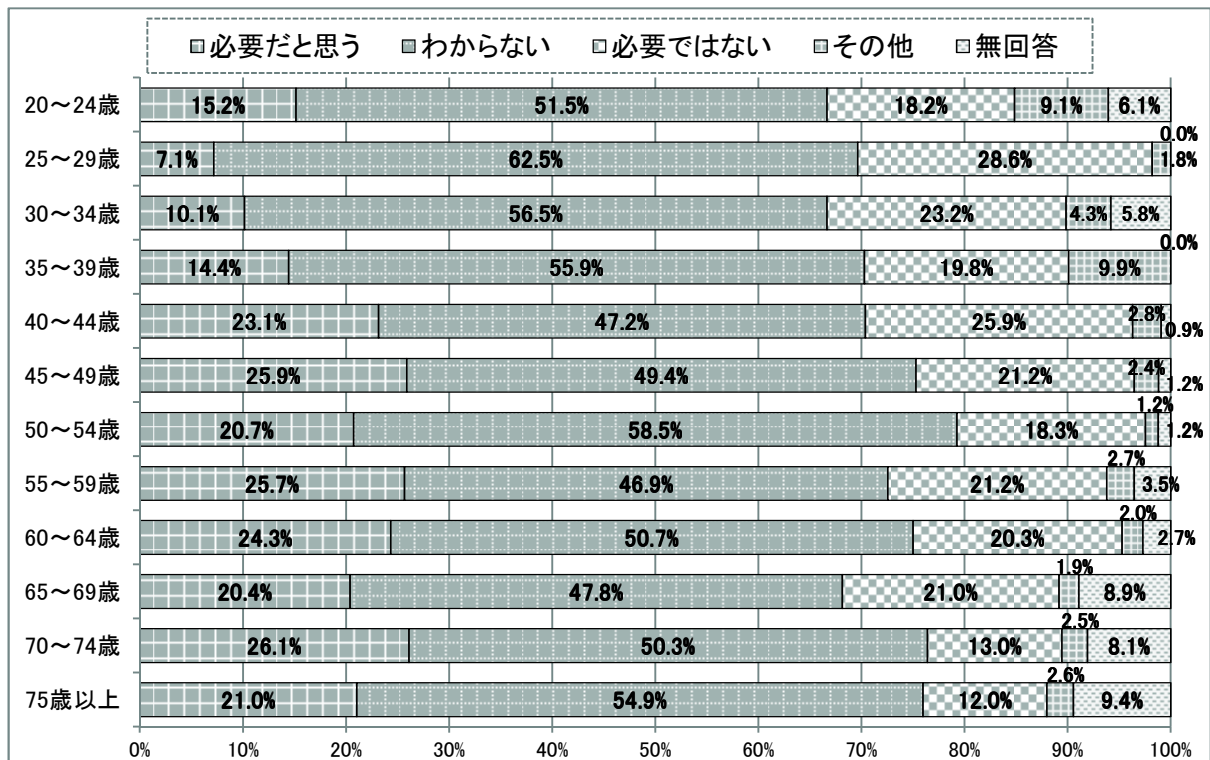
「わからない」が最も多く、「必要だと思う」が「必要ではない」をやや上回っている。

①地区別 (N=1,355)



「必要だと思う」の割合が高いのは一中地区、「必要ではない」の割合が高いのは五中地区と新治中地区である。しかし、いずれの地区でも「わからない」の割合が最も高い。

②年齢別 (N=1,356)

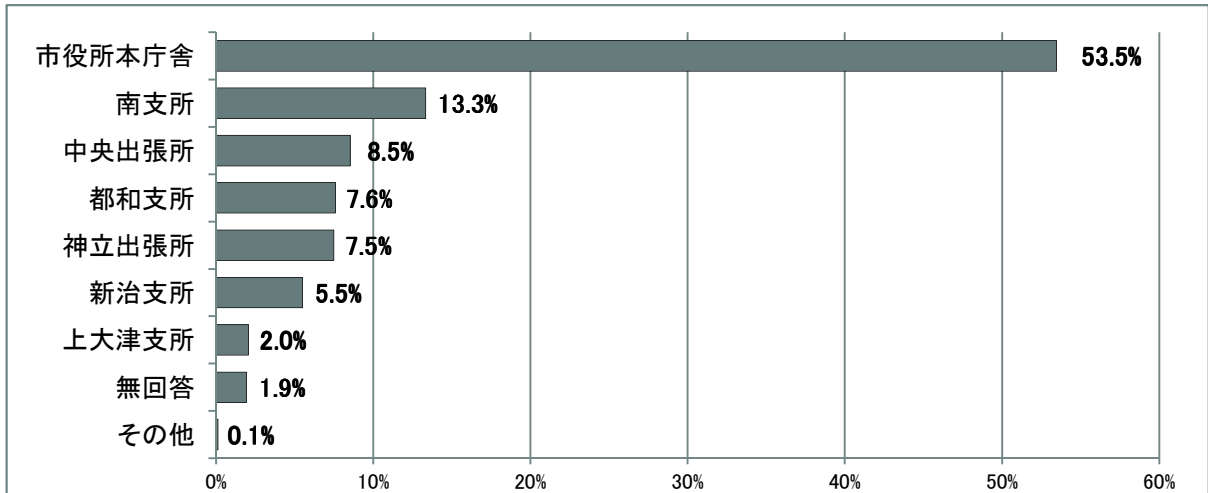


若年層では、「必要だと思う」の割合が低く、「必要ではない」の割合が高い。

## IV. 市役所窓口の利用について

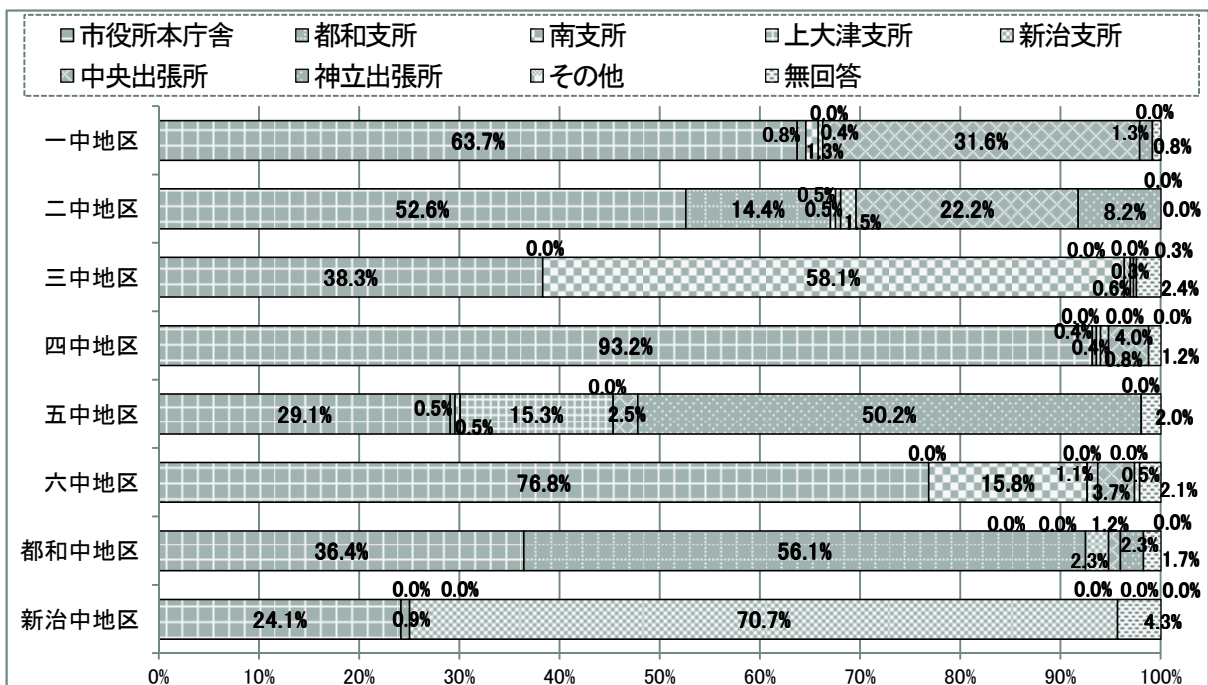
### (1) 普段利用している窓口

問 12 普段利用される市役所の窓口はどちらですか。(N=1,711 複数回答)



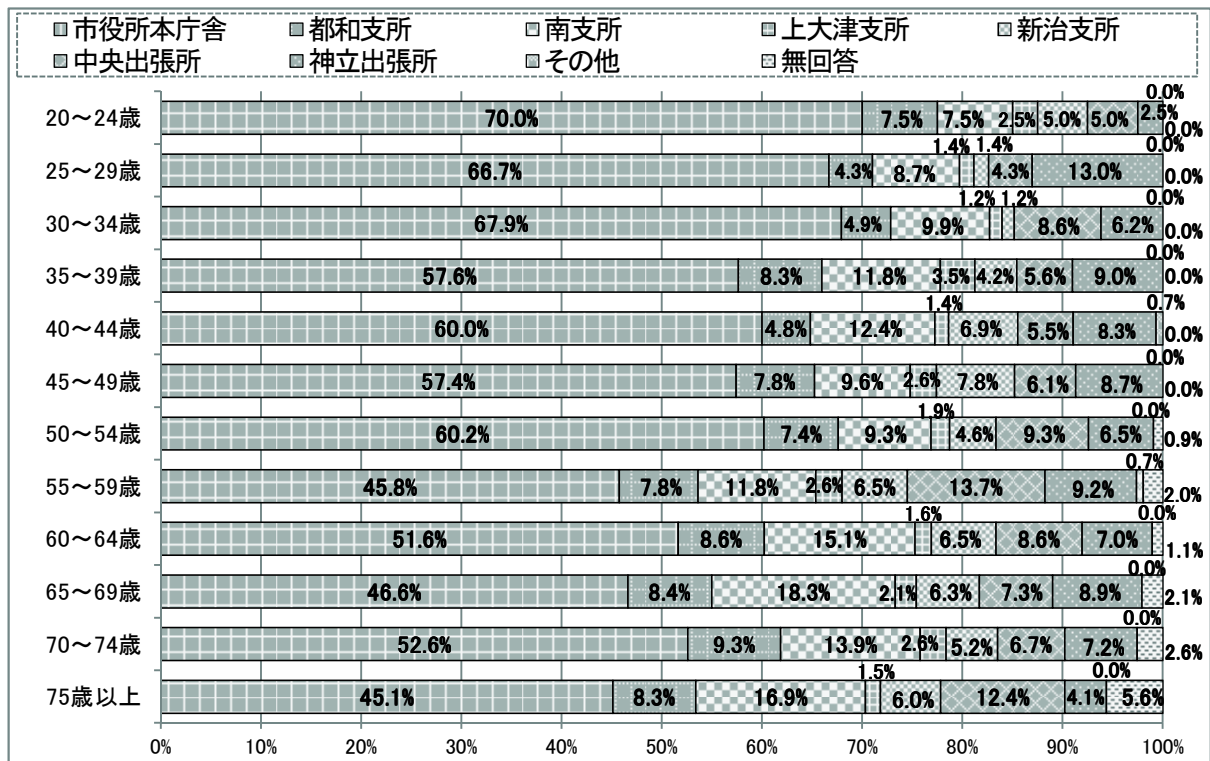
「市役所本庁舎」が5割を超え、最も多い。次に多いのは「南支所」で、続いて「中央出張所」、「都和支所」、「神立出張所」がほぼ同じ割合となっている。

### ①地区別 (N=1,691)



全体として、地区に設置されている窓口の利用が多い。

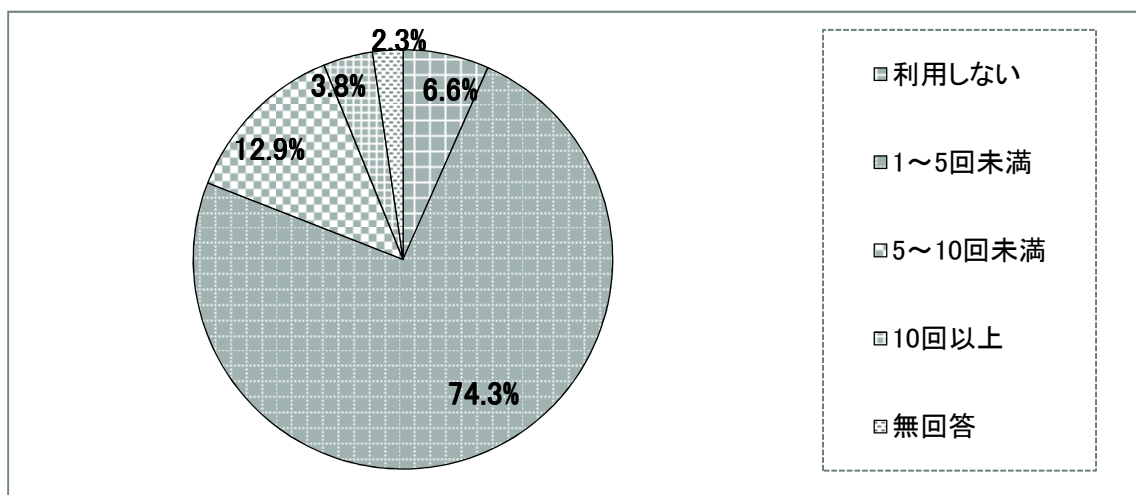
②年齢別 (N=1,692)



年齢が高くなるにつれて「市役所本庁舎」の割合が低くなり、支所・出張所を利用する割合が高くなる。

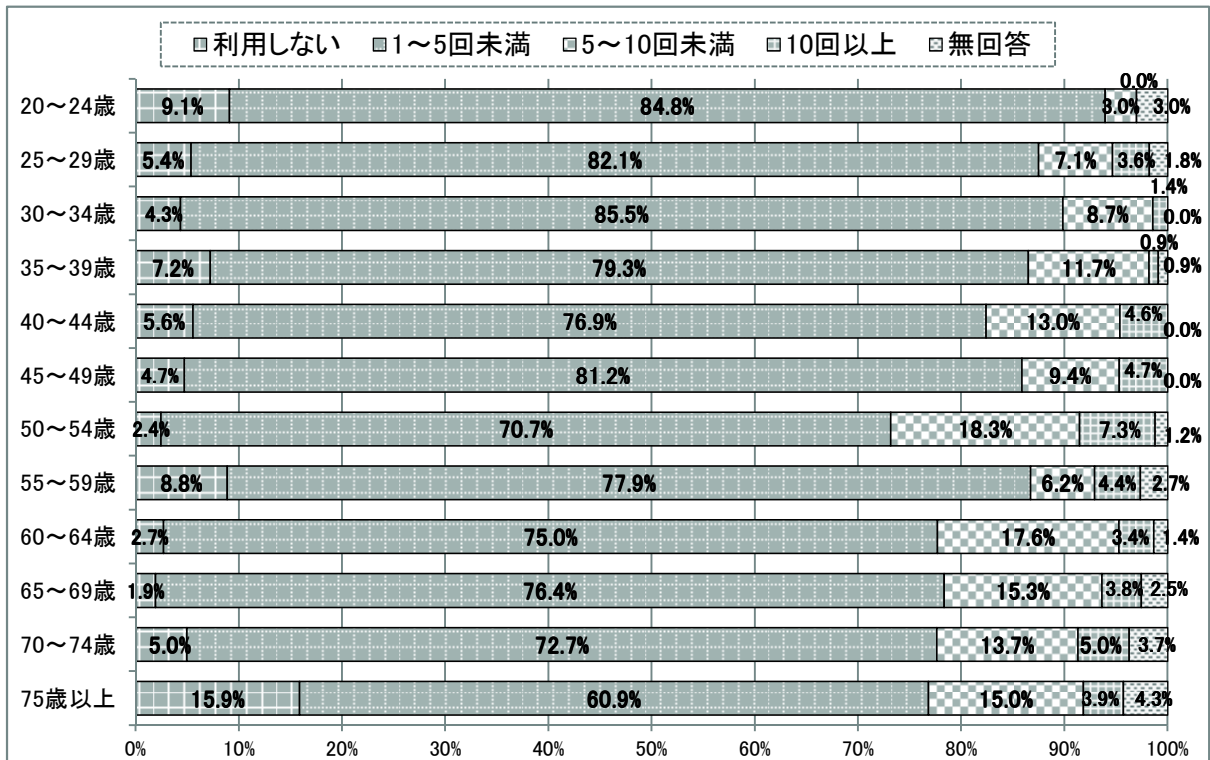
(2) 窓口の利用回数

問 13 市役所の窓口を1年に何回くらい利用されますか。(N=1,369)



「1～5回未満」が最も多く、次いで「5～10回未満」となる。

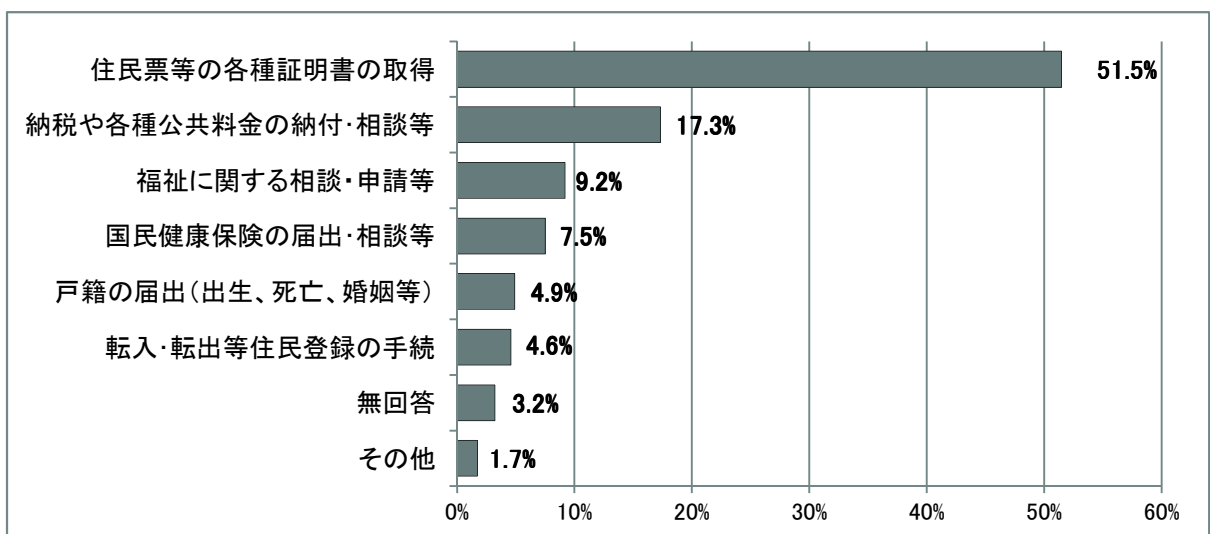
①年齢別 (N=1,356)



「利用しない」の割合が最も多いのは75歳以上である。「10回以上」の割合が大きいのは、50~54歳及び60~64歳である。

(3) 窓口を利用する際の用件

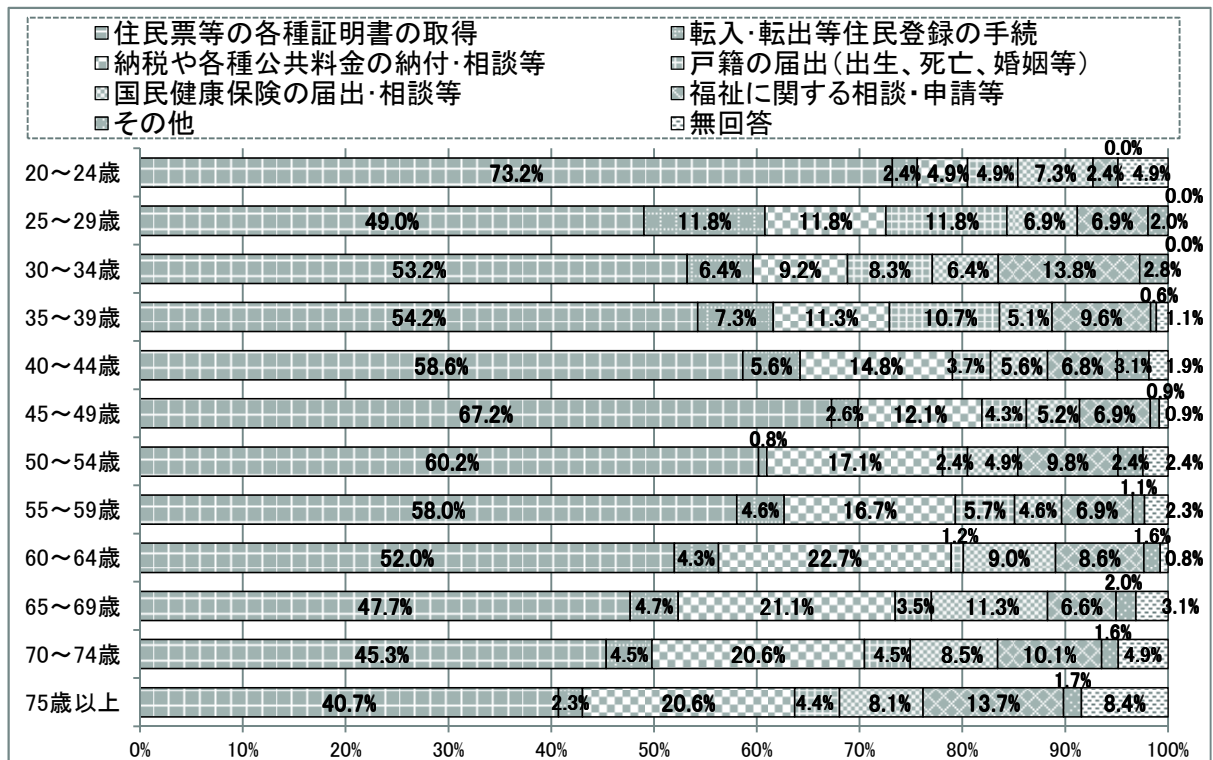
問14 どのような用事で窓口を利用されることが多いですか。(N=2,131 複数回答)



「証明書の取得」が最も多く5割を超える。次に多いのは「税」で、続いて「福祉」、「国保」の順に割合が高い。



①年齢別 (N=1,851 複数回答)



「各種証明書の取得」の割合が多いのは20～24歳と45～49歳である。

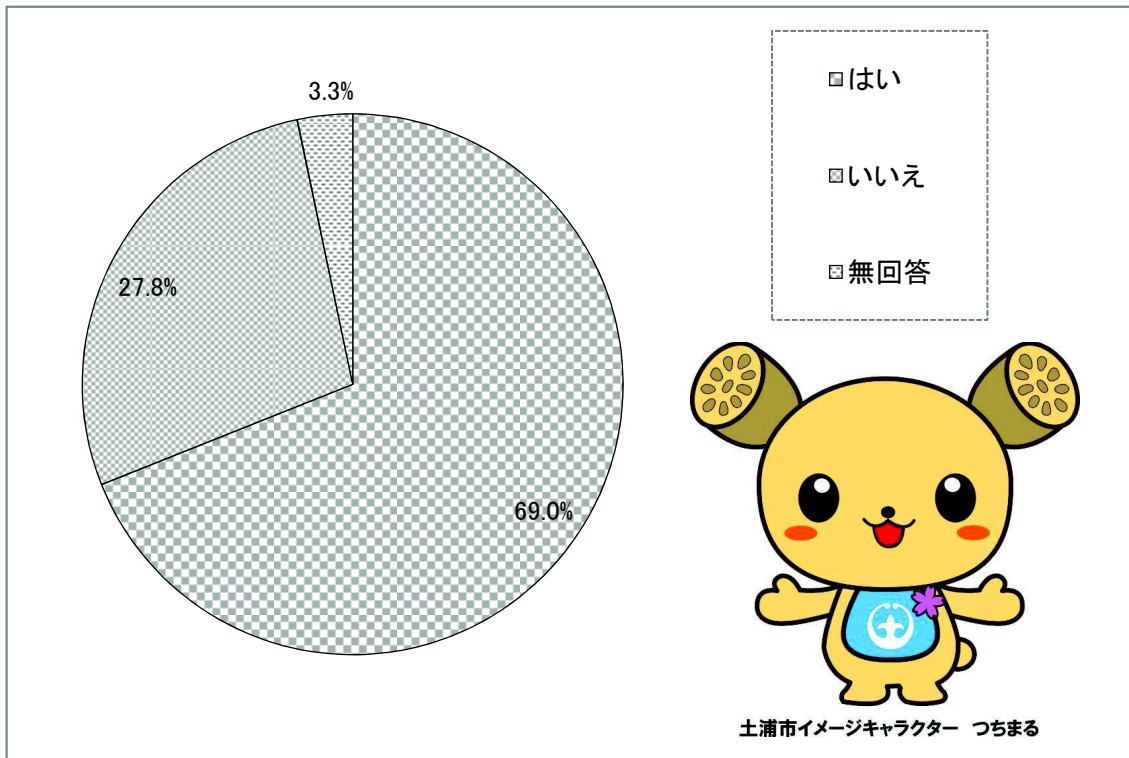
また、「住民登録の手続」は25～29歳での割合が最も多い。

「戸籍の届出」は、年齢が上がるほど割合が少なくなり、反対に「納税や各種公共料金の納付・相談等」は年齢が上がるほど割合が多い。

## V. 土浦市のイメージアップについて

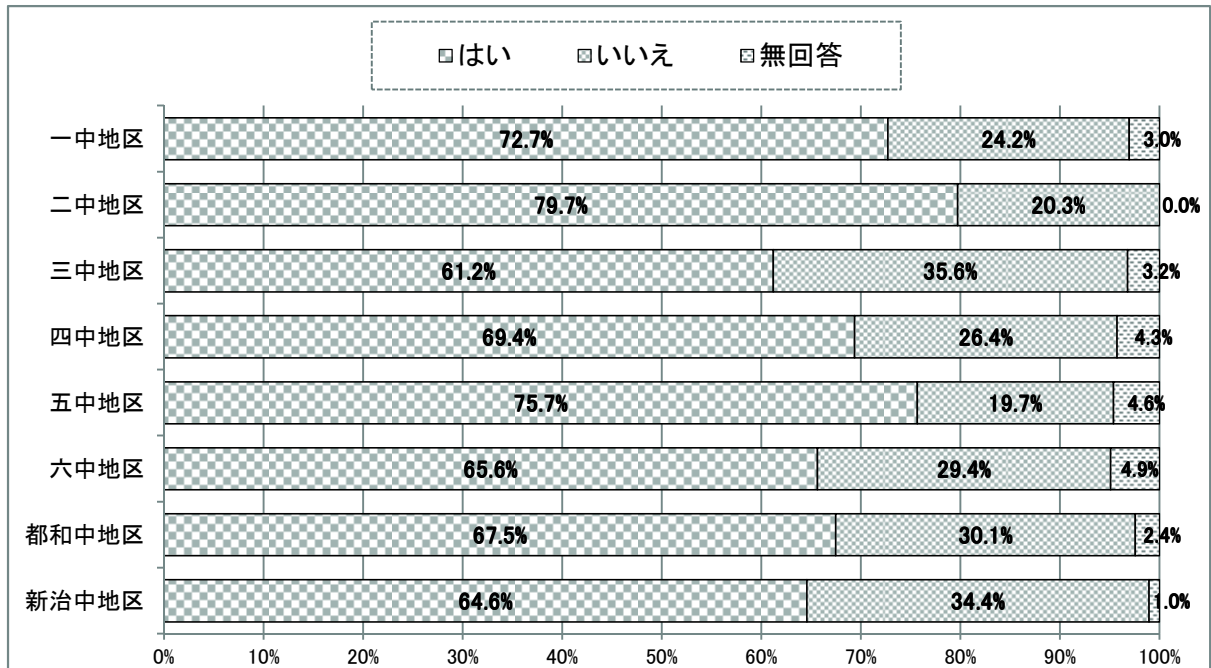
(1) 土浦市のイメージキャラクターについて

問 15 土浦市のイメージキャラクターをご存知ですか。(N=1,369)



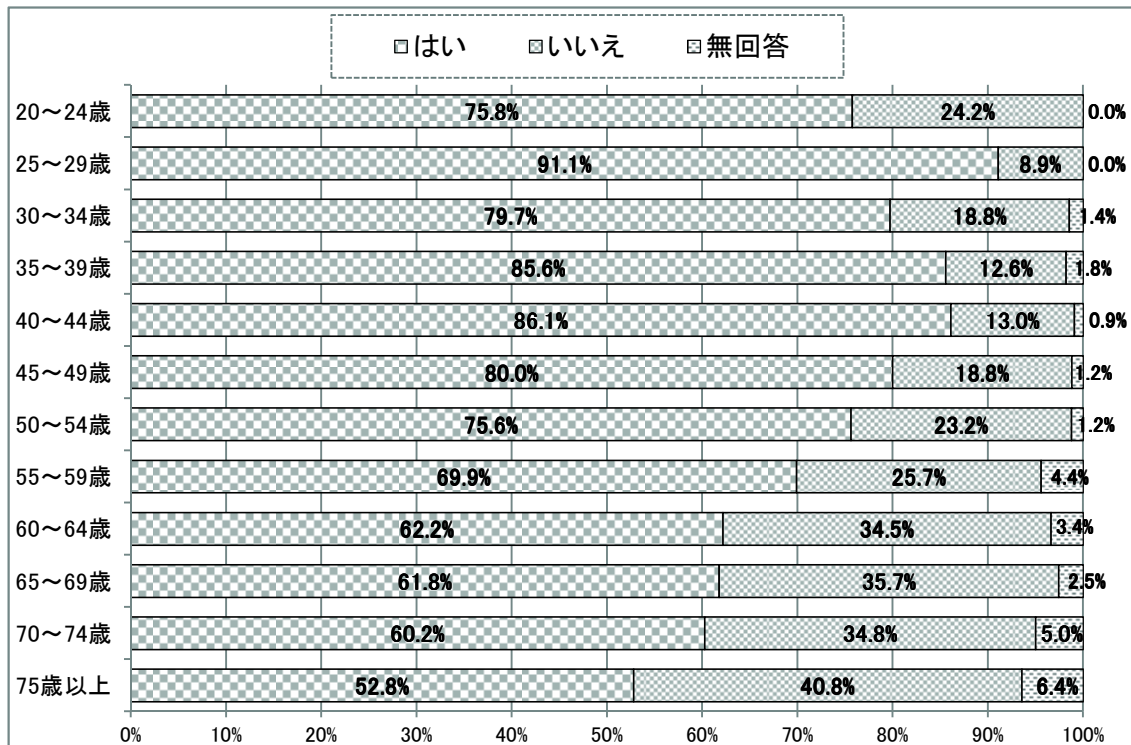
「はい」が7割近い。しかしその一方で、「いいえ」が3割弱になる。

①地区別 (N=1,355)



地区別で見ると、二中地区での認知度は高く、三中地区での認知度が低い。

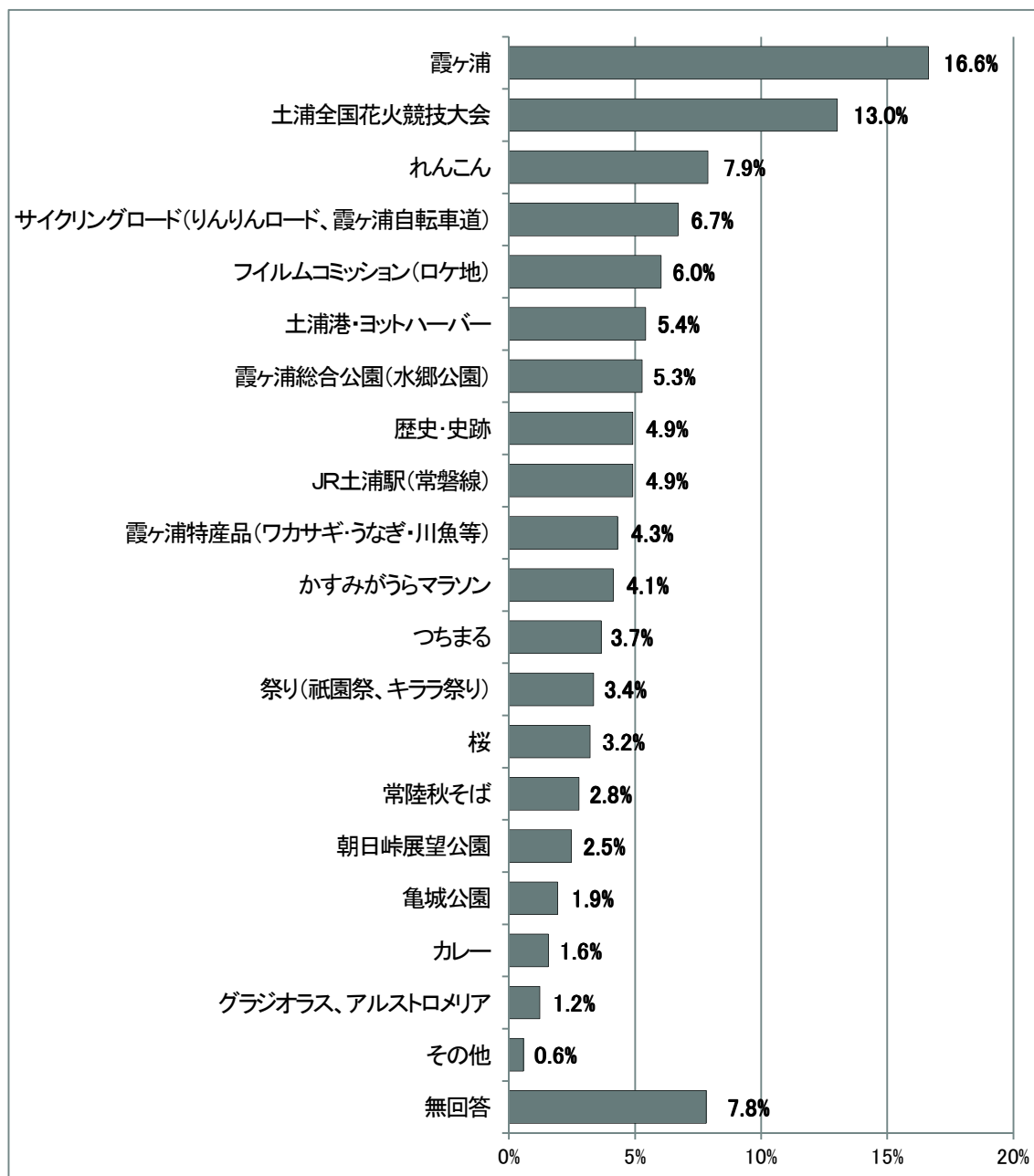
②年齢別 (N=1,356)



年齢別では、20代後半で知っている方が9割を超えており、知らない方は1割に満たなかった。しかし、年齢が上がるに従い、知らない方の割合が増え、75歳以上では、知っている方は5割にとどまっている。

## (2) 土浦市の資源

問 16 「土浦」ならではのもので、まだ活かされていないと思うもの、もっと売り込むべきだと思うものはなんですか。(N=2,952 複数回答)



本設問は、前回までは自由記載であったが、今回は前回までの回答を整理して選択肢とし、そこから3つ選ぶという方式での回答に変更した。

前回は「霞ヶ浦」が26.5%で最も多く、次に「れんこん」が16.3%、続いて「土浦全国花火競技大会」が4.7%であった。

今回も前回と同じく「霞ヶ浦」が最も多かったが割合は16.6%となり、次に「土浦全国花火競技大会」が13.0%、続いて「れんこん」が7.9%であった。

### ①地区別 (N=3,150)

順位	一中地区		二中地区		三中地区		四中地区	
1	霞ヶ浦	15.5%	霞ヶ浦	16.4%	霞ヶ浦	16.1%	霞ヶ浦	16.6%
2	土浦全国花火競技大会	12.6%	土浦全国花火競技大会	13.0%	土浦全国花火競技大会	12.4%	土浦全国花火競技大会	10.5%
3	フィルムコミッション	6.6%	土浦港・ヨットハーバー	8.0%	れんこん	6.9%	れんこん	7.4%
4	サイクリングロード	6.4%	サイクリングロード	6.8%	サイクリングロード	6.6%	霞ヶ浦総合公園	6.5%
5	土浦港・ヨットハーバー	5.5%	れんこん	5.9%	歴史・史跡	6.3%	サイクリングロード	6.3%
順位	五中地区		六中地区		都和中地区		新治中地区	
1	霞ヶ浦	14.1%	霞ヶ浦	16.3%	土浦全国花火競技大会	14.8%	霞ヶ浦	12.7%
2	土浦全国花火競技大会	9.5%	土浦全国花火競技大会	12.4%	霞ヶ浦	13.7%	土浦全国花火競技大会	12.2%
3	れんこん	9.2%	れんこん	8.9%	れんこん	8.6%	サイクリングロード	7.8%
4	フィルムコミッション	7.2%	霞ヶ浦総合公園	7.1%	サイクリングロード	6.9%	歴史・史跡	6.8%
5	つちまる	6.1%	JR 土浦駅	5.8%	霞ヶ浦総合公園	5.2%	れんこん	5.9%

上は上位5つを地区別に比較した表である。上位3つを比べると、「霞ヶ浦」・「花火大会」は全地区に入っているが、一中地区、二中地区、新治中地区では「れんこん」の代わりに地区の付近にある地域資源が入っている。

### ②年齢別 (N=3,153)

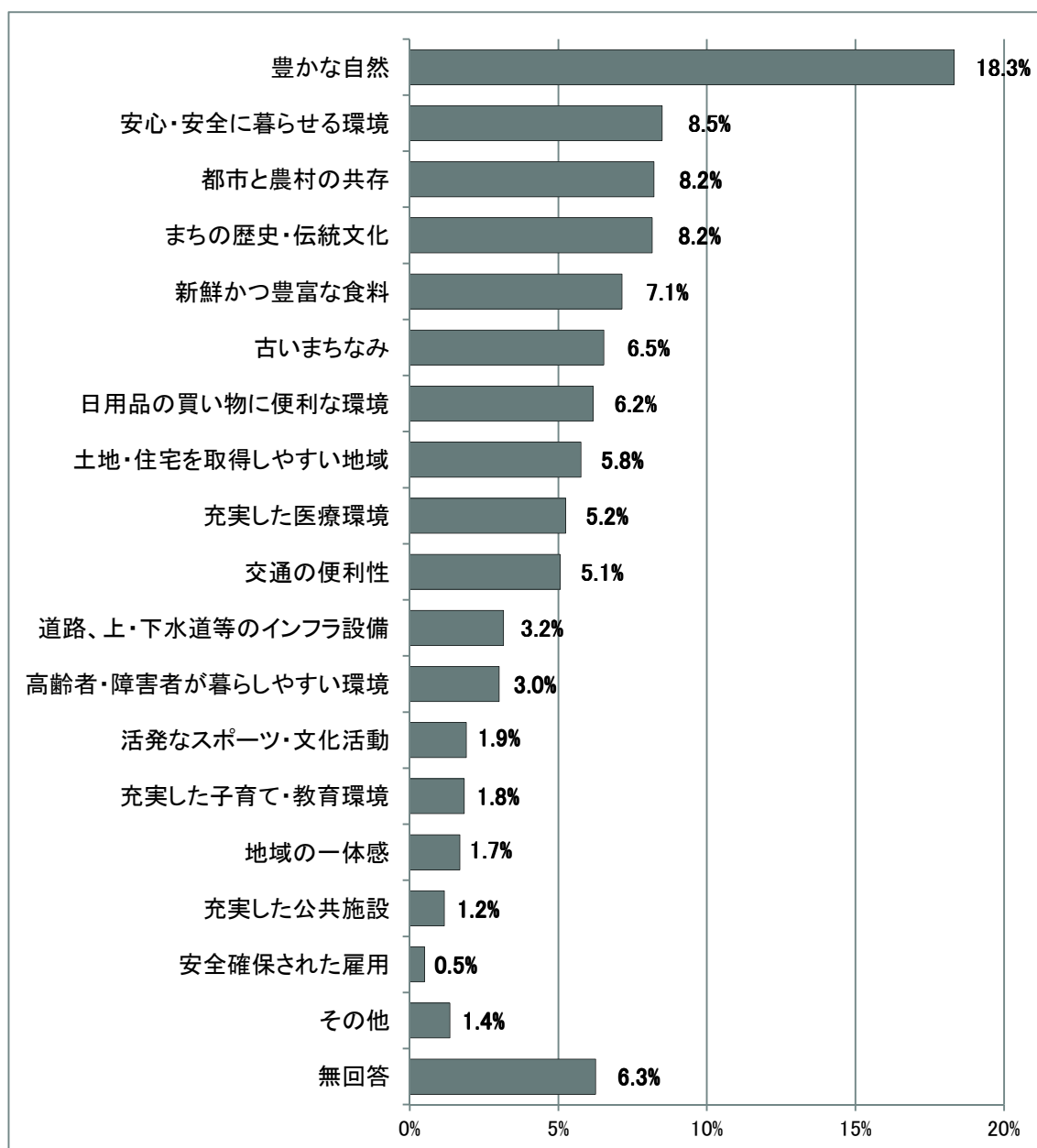
順位	20～24 歳		25～29 歳		30～34 歳		35～39 歳	
1	土浦全国花火競技大会	21.6%	土浦全国花火競技大会	16.8%	土浦全国花火競技大会	17.0%	土浦全国花火競技大会	12.3%
2	土浦港・ヨットハーバー	9.5%	れんこん	10.2%	霞ヶ浦	10.5%	霞ヶ浦	10.7%
3	霞ヶ浦	8.1%	フィルムコミッション	9.5%	れんこん	9.2%	れんこん	7.8%
4	祭り	6.8%	霞ヶ浦	6.6%	かすみがうらマラソン	5.9%	つちまる	7.8%
5	歴史・史跡	6.8%	サイクリングロード	5.8%	桜	3.9%	サイクリングロード	5.7%
順位	40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳	
1	土浦全国花火競技大会	14.0%	土浦全国花火競技大会	13.9%	霞ヶ浦	14.7%	霞ヶ浦	15.8%
2	霞ヶ浦	11.6%	霞ヶ浦	12.0%	土浦全国花火競技大会	11.4%	土浦全国花火競技大会	9.2%
3	フィルムコミッション	8.9%	フィルムコミッション	11.0%	れんこん	9.2%	フィルムコミッション	9.2%
4	れんこん	8.5%	れんこん	7.7%	サイクリングロード	7.1%	サイクリングロード	7.0%
5	サイクリングロード	5.8%	サイクリングロード	6.7%	土浦港・ヨットハーバー	7.1%	土浦港・ヨットハーバー	6.6%
順位	60～64 歳		65～69 歳		70～74 歳		75 歳以上	
1	霞ヶ浦	16.8%	霞ヶ浦	19.4%	霞ヶ浦	18.3%	霞ヶ浦	20.1%
2	サイクリングロード	9.2%	土浦全国花火競技大会	12.0%	土浦全国花火競技大会	8.6%	土浦全国花火競技大会	12.2%
3	土浦全国花火競技大会	9.0%	サイクリングロード	8.5%	霞ヶ浦総合公園	8.6%	霞ヶ浦特産品	7.7%
4	土浦港・ヨットハーバー	7.0%	歴史・史跡	6.6%	れんこん	7.5%	れんこん	6.6%
5	れんこん	6.4%	れんこん	6.4%	霞ヶ浦特産品	6.2%	霞ヶ浦総合公園	5.6%

年齢別では、20代～40代で「花火大会」が、50代以上では「霞ヶ浦」が1位となっており、世代によって、売り込むべきだと思う地域資源の優先順位が異なる。特に若い世代ほど「花火大会」割合が高くなり、高齢になるほど「霞ヶ浦」の割合が高くなる。

また、「れんこん」については、20代後半から50代前半の世代では比較的高い割合となっているが、その他の世代ではあまり高くなく、5位圏内に入っていない世代もある。

### (3) 土浦市の強み

#### 問 17 土浦市が発信できる、「強み」だと思うものは何ですか。(N=3,259 複数回答)



本設問は今回から新たに設けた質問であり、土浦市が発信すべき「土浦のいいところ」はどこか、把握するための質問である。18個の選択肢を設定し、そこからあてはまるもの全てを選ぶ方法で回答を求めた。

その結果、全体としては「豊かな自然」が18.3%と最も高く、次に「安心・安全に暮らせる環境」が8.5%、続いて「都市と農村の共存」と「まちの歴史・伝統文化」が同率で8.2%である。

### ①地区別 (N=3,227)

順位	一中地区		二中地区		三中地区		四中地区	
1	豊かな自然	16.0%	豊かな自然	17.4%	豊かな自然	17.8%	豊かな自然	16.6%
2	まちの歴史・伝統文化	9.9%	まちの歴史・伝統文化	9.6%	都市と農村の共存	9.1%	安心・安全に暮らせる環境	8.8%
3	安心・安全に暮らせる環境	9.2%	都市と農村の共存	9.3%	まちの歴史・伝統文化	8.7%	新鮮かつ豊富な食料	8.5%
4	古いまちなみ	8.1%	安心・安全に暮らせる環境	8.1%	安心・安全に暮らせる環境	7.6%	都市と農村の共存	8.3%
5	都市と農村の共存	7.2%	新鮮かつ豊富な食料	7.3%	古いまちなみ	6.6%	まちの歴史・伝統文化	7.3%
順位	五中地区		六中地区		都和中地区		新治中地区	
1	豊かな自然	20.8%	豊かな自然	18.4%	豊かな自然	18.6%	豊かな自然	26.2%
2	新鮮かつ豊富な食料	10.3%	安心・安全に暮らせる環境	11.0%	古いまちなみ	7.8%	まちの歴史・伝統文化	9.0%
3	安心・安全に暮らせる環境	10.0%	都市と農村の共存	8.2%	住宅等を取得しやすい環境	7.8%	都市と農村の共存	8.6%
4	都市と農村の共存	7.6%	まちの歴史・伝統文化	6.6%	新鮮かつ豊富な食料	7.5%	安心・安全に暮らせる環境	6.2%
5	買い物に便利な環境	7.6%	古いまちなみ	6.3%	まちの歴史・伝統文化	7.5%	新鮮かつ豊富な食料	6.2%

上は上位5つを地区別に比較した表である。上位3つを比べると、「豊かな自然」は全地区で1位となっている。全体で2位であった「安心・安全に暮らせる環境」は、都和中地区では5位圏内に入っていなかった。

### ②年齢別 (N=3,229)

順位	20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳	
1	豊かな自然	15.0%	豊かな自然	18.0%	豊かな自然	17.7%	豊かな自然	19.7%
2	まちの歴史・伝統文化	13.3%	都市と農村の共存	14.4%	古いまちなみ	9.2%	古いまちなみ	8.1%
3	安心・安全に暮らせる環境	11.7%	古いまちなみ	10.8%	新鮮かつ豊富な食料	7.7%	まちの歴史・伝統文化	8.1%
4	都市と農村の共存	10.0%	買い物に便利な環境	9.9%	都市と農村の共存	6.9%	買い物に便利な環境	6.8%
5	古いまちなみ	10.0%	まちの歴史・伝統文化	9.0%	安心・安全に暮らせる環境	6.9%	住宅等を取得しやすい地域	6.4%
順位	40～44歳		45～49歳		50～54歳		55～59歳	
1	豊かな自然	14.2%	豊かな自然	19.7%	豊かな自然	17.0%	豊かな自然	18.7%
2	都市と農村の共存	11.2%	まちの歴史・伝統文化	13.5%	安心・安全に暮らせる環境	8.5%	安心・安全に暮らせる環境	7.6%
3	まちの歴史・伝統文化	10.3%	都市と農村の共存	10.7%	買い物に便利な環境	8.0%	新鮮かつ豊富な食料	7.3%
4	住宅等を取得しやすい地域	9.4%	安心・安全に暮らせる環境	7.9%	交通の便利性	7.4%	都市と農村の共存	6.9%
5	古いまちなみ	7.3%	買い物に便利な環境	7.3%	新鮮かつ豊富な食料	7.4%	住宅等を取得しやすい地域	6.9%
順位	60～64歳		65～69歳		70～74歳		75歳以上	
1	豊かな自然	23.0%	豊かな自然	19.7%	豊かな自然	16.1%	豊かな自然	17.8%
2	新鮮かつ豊富な食料	9.9%	安心・安全に暮らせる環境	10.4%	安心・安全に暮らせる環境	9.9%	安心・安全に暮らせる環境	10.3%
3	都市と農村の共存	8.0%	まちの歴史・伝統文化	8.6%	都市と農村の共存	7.8%	都市と農村の共存	8.3%
4	安心・安全に暮らせる環境	8.0%	古いまちなみ	7.6%	新鮮かつ豊富な食料	7.8%	まちの歴史・伝統文化	7.7%
5	まちの歴史・伝統文化	8.0%	都市と農村の共存	7.3%	まちの歴史・伝統文化	6.5%	充実した医療環境	6.9%

次に年齢別に比較してみると、やはりどの世代でも「豊かな自然」が1位となっている。全体で2位であった「安心・安全に暮らせる環境」は50歳以上の世代で高い割合を占めている傾向が認められる。

また、あらゆる世代に土浦の持つ歴史や伝統文化が認識されている。

#### (4) 土浦市のイメージ

##### 問 18 土浦市にどのようなイメージをお持ちですか。(N=1,084 自由回答)

順位	キーワード	回答数	割合
1	活気がない, さびれている, 駅前が閑散としている	262	24.2%
2	住みやすい, 安心・安全な環境	74	6.8%
3	保守的, 古い, 遅れている, 田舎	65	6.0%
4	自然が豊か, 美しい, 気候が温暖	51	4.7%
5	他市(つくば市, 水戸市, 牛久市等)と比較して劣っている	48	4.4%
6	歴史があるまち, 伝統のある町, 古い町並み, 文化	41	3.8%
7	PRが下手, まちの良さを活かしていない	39	3.6%
8	まちの整備が不十分, 施設が充実していない	34	3.1%
9	災害が少ない	32	3.0%
10	税金・公共料金が高い	30	2.8%
11	知名度が低い, 存在感がない	26	2.4%
12	道路が狭い, 渋滞が多い, 歩道が整備されていない	25	2.3%
13	住民のマナーが悪い(交通, ペット, ゴミ等)	24	2.2%
14	東京に近い, 交通の便が良い	20	1.8%
14	新鮮な食料, 食べ物がおいしい, れんこん日本一	19	1.8%
14	霞ヶ浦	19	1.8%
17	自然が守られていない, 霞ヶ浦や川が汚い	16	1.5%
18	県南の商業都市, 中心都市	15	1.4%
18	花火	15	1.4%
18	治安が悪い	15	1.4%

土浦市のイメージとして自由記載により回答を求めたものを集計した結果, 上記のような結果となった。ここでは上位 20 項目を掲載している。

1 位は「活気がない, さびれている, 駅前が閑散としている」で 24.2%であり, 他の回答に比べ, 突出している。具体的な内容としては, 「駅前がさみしい」, 「市として活気がない」など多くの回答が寄せられた。

2 位は「住みやすい, 安心・安全な環境」で 6.8%であり, 買い物に便利でありながら, 都市の騒々しさが無い, 程よい田舎加減であるという点に好意的な意見が多く寄せられた。

3 位は「保守的, 古い, 遅れている, 田舎」で 6.0%であり, 「新しいことに取り組まない」, 「動きが遅い」, 「何かに特化しきれていない」, 「閉鎖的」等, 悪いイメージとして捉えられている。



## VI. 今後のまちづくり

(1) 土浦市にあったらいいと思う施設, 充実してほしい施設

**問 19 あなたが, 土浦市にあったらいいと思う施設, 増やしてほしい施設又は充実してほしい施設は何ですか。3つ以内でお答えください。(N=1,460 自由回答)**

順位	キーワード	回答数	割合
1	図書館	154	11.0%
2	プール	102	7.3%
3	公園・遊歩道(並木・花壇含む)	92	6.6%
4	病院	55	3.9%
5	その他スポーツ施設(運動場, ランニングコース等)	53	3.8%
6	リゾート・レジャー施設	45	3.2%
7	コンサートホール	38	2.7%
8	大型商業施設(ショッピングモール, アウトレット等)	36	2.6%
9	コミュニティバス, 路線バス等	33	2.4%
10	いない	32	2.3%
11	テーマパーク・遊園地	31	2.2%
11	娯楽施設	31	2.2%
13	子どもが遊べる施設(公園除く)	27	1.9%
13	高齢者交流施設	27	1.9%
13	市民会館	26	1.9%
13	百貨店・デパート	26	1.9%
17	入浴施設(温泉, 銭湯等)	24	1.7%
18	美術館	23	1.6%
18	ホテル・宿泊施設(うち国民宿舎は9)	22	1.6%
20	観光・情報施設	21	1.5%

あったらいいと思う施設, 増やしてほしい又は充実してほしい施設については, 3つ以内で自由記載により回答を求め, 集計した結果が上の表である。

ここでは, 1位から20位までを掲載している。

1位は「図書館」で11.0%となった。前回調査時は10.6%であり, 0.5ポイント上昇している。

2位は「プール」で7.3%であった。前回調査時は6.1%であり, 1.2ポイント上昇している。

3位は「公園・遊歩道(並木・花壇含む)」で6.6%であった。前回調査時は6.0%であり, 0.6ポイント上昇している。

また, 「(施設は) いない」が10位となっている。

(2) 土浦市に住んでいてよかったと思ったエピソード

問 20 「土浦市に住んでいてよかった」と思ったエピソードがありましたら、ご記入ください。(N=580 自由回答)

順位	キーワード	回答数	割合
1	災害が少ない。雪・台風が少ない	64	11.0%
2	花火大会がある	56	9.7%
3	自然が豊かで満喫できる	52	9.0%
4	住民の人柄がいい。地域の連帯感がある	37	6.4%
5	医療機関、医療サービスが充実している	33	5.7%
6	常磐線の始発駅がある。特急がとまる	21	3.6%
7	買い物が便利にできる	20	3.4%
8	お祭り・イベントが楽しい、充実している	18	3.1%
9	野菜が安い、おいしい	17	2.9%
10	子育て施策・環境が充実している	16	2.8%
11	住みやすい、のどか、安心・安全に暮らせる	14	2.4%
11	公共・商業施設が充実している	14	2.4%
13	ランドセルが無料でもらえる	12	2.1%
14	交通の便が良い	11	1.9%
14	都心に近い	11	1.9%
14	学校が多い、近い。土浦一高がある。	11	1.9%
17	霞ヶ浦がある	10	1.7%
18	行政サービスが充実している	8	1.4%
19	コミュニティバスが利用できる	6	1.2%
19	歴史、文化がある	6	1.2%
19	住宅を取得しやすい、家賃が安い	6	1.2%

市民が実感した土浦市の強みを把握するため、「土浦市に住んでいてよかったと」思ったことについて、自由記載により回答を求めた。集計した結果が上の表である。上位 20 位圏内を記載している。

1 位は「災害が少ない。雪・台風が少ない」で 11.0%であった。災害が少なという安心感や、災害が起きても被害が少ないという意見があった。

2 位は「花火大会がある」で 9.7%であった。「花火を近くで見られる」、「知人を招待できる」、「自慢できる」などの意見があった。

3 位は「自然が豊か」で 9.0%であった。「駅に着くと虫の音が聞こえてほっとする」という意見などがあった。

(3) 土浦市の市民サービスについて

**問 21 土浦市の市民サービスで「もう少し●●だったら利用しやすくなる, 利用したい」と思ったことがありましたら, ご記入ください。(N=530 自由回答)**

順位	キーワード	回答数	割合
1	キララバスに関すること	49	9.4%
2	市役所職員の市民対応, 職員数に関すること	42	7.9%
3	駐車場(公共施設に設置も含む)に関すること	40	7.5%
4	図書館に関すること	36	6.8%
5	バス路線に関すること	27	5.1%
6	子育て支援に関すること	25	4.7%
7	駅前に関すること	20	3.8%
8	市役所の開庁時間に関すること	19	3.6%
9	道路・歩道整備等に関すること	15	2.8%
10	市民サービスの内容が分からない	14	2.6%
11	スポーツ施設に関すること	12	2.3%
12	広報紙及び情報の周知方法の充実に関すること	11	2.1%
13	市役所の庁舎に関すること	10	1.9%
13	高齢者福祉に関すること	10	1.9%
15	JR 常磐線, その他電車に関すること	9	1.7%
15	このままで良い	9	1.7%
17	公民館に関すること	8	1.5%
17	医療, 福祉に関すること	8	1.5%
19	講座, 教室の実施に関すること	7	1.3%
19	公共施設, 施設の利用に関すること	7	1.3%
19	ごみ処理等に関すること	7	1.3%
19	乗り合いタクシーに関すること	7	1.3%

市民サービスの不足している点について, 自由記載で回答を求めた。集計した結果, 上位 20 位圏内を記載している。

1 位は「キララバスに関すること」と 9.2%であった。「キララバス」については, 運行ルートの拡大を求めるものが大半である。

2 位は「市役所職員の市民対応, 職員数に関すること」で 7.9%であった。窓口職員の愛想が悪く, 暗いという印象を持たれている方が大半で, 他に不親切, 勉強不足によるたらい回しについての意見が多い。

特徴的な回答として, 「市民サービスの内容がわからない」というものがあり, 「広報紙及び情報の周知方法の充実」を求める意見が多い。

#### (4) まちづくりに対する意見

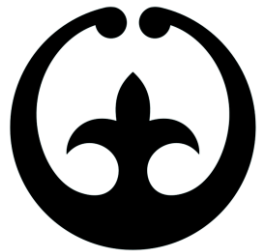
問 22 これからのまちづくりについてのアイデアや提案などがありましたら、ご記入ください。(N=724 自由回答)

順位	キーワード	回答数	割合
1	霞ヶ浦の浄化, 活用	60	8.3%
2	商店街, 商業施設の整備, 誘致, 活性化等	59	8.1%
3	観光資源・事業の充実	57	7.9%
4	中心市街地, 駅前の活性化(荒川沖駅, 神立駅含む)	56	7.7%
5	道路, 歩道の整備(渋滞の解消を含む)	51	7.0%
6	鉄道の活用(JR常磐線, TX等)	36	5.0%
7	高齢者・障害者施策の充実	31	4.3%
8	子育て施策の充実	30	4.1%
9	中心市街地, 駅前の再開発, 整備推進	29	4.0%
10	祭り・イベントの活用(花火大会含む)	28	3.9%
11	スポーツ施設・公園の整備	24	3.3%
12	PRの強化, つちまる・有名人の活用等	23	3.2%
13	路線バス, コミュニティバス, その他交通機関	22	3.0%
14	まちづくりの手法に関すること(特色ある, 市民による等)	21	2.9%
14	安心・安全の推進, 治安の向上	19	2.6%
16	駐車場の整備	18	2.5%
17	若者が集まるまち, 若者の活用	15	2.1%
17	市民サービスの向上(休日開庁, 市民応対等)	15	2.1%
19	特産品, 農産物の活用	14	1.9%
19	公共施設の充実(図書館, 博物館, 市民会館, 公民館等)	14	1.9%

まちづくりに関するアイデアや提案について、自由記載で回答を求めた。集計した結果、上位 20 位圏内を記載している。

1 位は「霞ヶ浦の浄化, 活用」で 8.3%であった。前回調査時は 5.6%であり、2.7 ポイント上昇している。霞ヶ浦の活用については、不十分であるとの意見が多かった。

2 位は「商店街, 商業施設の整備, 誘致, 活性化」で 8.1%であった。前回調査時は 2.7%であり、5.4 ポイント上昇している。特に、中心市街地の商店街活性化に意見が集まり、空き店舗の活用に関する意見やモール 505 の利活用に対する意見が寄せられた。また、イトーヨーカドー撤退による日用品の買い物に対する不安から、スーパー・小売店の充実を求める声も多い。



平成 25 年度土浦市民満足度調査報告書

平成 26 年 5 月

発行：土浦市 市長公室 政策企画課

〒300-8686 土浦市下高津 1-20-35

TEL 029-826-1111 (代)

<http://www.city.tsuchiura.lg.jp/>

---